

# 令和6年度 公共事業 事前評価調書及び継続評価調書

## 目次

1	公共事業	事前評価事業別評価地区数	.....	1
2	公共事業	事前評価箇所一覧表	.....	2
3	公共事業	事前評価調書	.....	9
4	公共事業	継続評価事業別評価地区数	.....	121
5	公共事業	継続評価調書（箇所一覧）	.....	123
6	公共事業	継続評価調書（箇所別）※ 目次	.....	137
7	公共事業	継続評価調書（箇所別）	.....	138

※ 継続評価を行うに当たり、特に必要と認めるものについては箇所別に調書を作成。



# I 事前評価

## 公共事業事前評価 事業別評価地区数

### 【農林水産部】

事業の種類	事業名	担当課	総合評価区分				
			AA	A	B	C	合計
農業農村整備事業	1 かんがい排水事業	農村計画課		1			1
	2 経営体育成基盤整備事業	〃	1	5			6
	3 農村地域防災減災事業	〃		1			1
	小計		1	7			8
治山事業	4 復旧治山事業	森林保全課	1	5			6
	5 緊急予防治山事業	〃		5			5
	6 予防治山事業	〃	1	5			6
	7 防災林造成事業	〃		1			1
	8 県単治山事業(崩壊地復旧)	〃		1			1
小計		2	17			19	
林道事業	9 林道整備事業	森林保全課		1			1
	小計			1			1
水産基盤整備事業	10 漁港整備事業	漁港漁村課		1			1
	小計			1			1
合計			3	26			29

### 【県土整備部】

事業の種類	事業名	担当課	総合評価区分				
			AA	A	B	C	合計
道路事業	11 地域連携道路整備事業(ネットワーク形成型)	道路建設課		1			1
	12 地域連携道路整備事業(地域密着型)	〃		4			4
	13 道路環境改善事業(交通安全施設整備)	道路環境課		1			1
	小計			6			6
砂防事業	14 急傾斜地崩壊対策事業	砂防災害課	1				1
	小計		1				1
合計			1	6			7

事前評価 合計		4	32			36
---------	--	---	----	--	--	----



公共事業 事前評価箇所一覧表

農林水産部 農村計画課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				事前評価結果									特記事項 (B/C)
			着手 年度	完了 予定 年度	主な事業内容	総事業費 (千円)	自然環 境等 の 状況 に 係 る 評 価 結 果	事業に関する指標からみた評価						総合 評価		
								必要性 (25)	重要性 (15)	緊急性 (20)	効率性 (20)	熟度 (20)	計 (100)		評価 結果	
かんがい排水事業	豊沢川(十二 丁目堰)	花巻市	R7	R12	頭首工 1式	1,367,000	a	21.00	7.75	10.00	14.00	12.50	65.25	b	A	1.45
経営体育成基盤整 備事業	大瀬川1期	花巻市	R7	R19	区画整理 70.2ha	3,045,000	a	25.00	7.75	16.66	12.00	18.75	80.16	a	AA	1.17
	石田南・南下 幅南部1期	奥州市	R7	R21	区画整理 100.6ha	3,046,000	a	21.25	13.00	10.00	12.00	18.75	75.00	b	A	1.35
	綾織新里	遠野市	R7	R14	区画整理 44.6ha	1,548,000	a	21.25	5.75	10.00	12.00	18.75	67.75	b	A	1.28
	小梨1期	一関市	R7	R21	区画整理 58.7ha	2,723,000	a	17.50	7.00	10.00	12.00	18.75	65.25	b	A	1.11
	興田1期	一関市	R7	R19	区画整理 23.5ha	1,409,000	a	17.50	7.00	10.00	12.00	18.75	65.25	b	A	1.23
	駒木	一戸町	R7	R12	区画整理 10.6ha	442,000	a	13.75	9.00	10.00	12.00	18.75	63.50	b	A	1.25
農村地域防災減災 事業	大堤	矢巾町	R7	R9	ため池改修 1式	301,000	a	13.50	20.00	15.00	20.00	8.75	77.25	b	A	1.47

公共事業 事前評価箇所一覧表

農林水産部森林保全課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				事前評価結果										特記事項 (B/C)
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費 (千円)	自然環境等の 状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価								総合評価	
								必要性 (20)	重要性 (10)	緊急性 (40)	効率性 (30)	熟度 (-)	計 (100)	評価結果			
復旧治山事業	生出町	久慈市	R7	R9	谷止工3基、山腹工1式	115,000	a	14	3	36	30	-	83	a	AA	6.05	
	川貫	久慈市	R7	R9	谷止工2基	75,000	a	12	3	26	30	-	71	b	A	8.32	
	繫	葛巻町	R7	R9	谷止工5基	213,000	a	10	3	36	20	-	69	b	A	1.52	
	田岡	一戸町	R7	R9	谷止工3基	90,000	a	11	5	28	25	-	69	b	A	4.00	
	緑区(2)	普代村	R7	R9	谷止工2基、山腹工1式	90,000	a	8	5	36	20	-	69	b	A	2.77	
	小谷地	野田村	R7	R10	山腹工1式	200,000	a	5	5	32	20	-	62	b	A	1.54	
緊急予防治山事業	小川	釜石市	R7	R7	谷止工1基	40,000	a	10	5	34	30	-	79	b	A	8.18	
	石立	岩泉町	R7	R9	谷止工2基	68,000	a	9	3	36	30	-	78	b	A	7.97	
	新兵エ沢	二戸市	R7	R8	谷止工1基	41,000	a	14	0	26	30	-	70	b	A	8.65	
	山大畑	奥州市	R7	R7	谷止工1基	25,000	a	5	0	28	30	-	63	b	A	7.17	
	晴間沢	九戸村	R7	R8	谷止工1基、既設堰堤工補修1基	53,000	a	12	0	24	25	-	61	b	A	5.26	

公共事業 事前評価箇所一覧表

農林水産部森林保全課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				事前評価結果										特記事項 (B/C)
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費 (千円)	自然環境等の 状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価								総合評価	
								必要性 (20)	重要性 (10)	緊急性 (40)	効率性 (30)	熟度 (-)	計 (100)	評価結果			
予防治山事業	小沢	宮古市	R7	R8	谷止工1基	41,000	a	12	3	38	30	-	83	a	AA	10.35	
	綱取	盛岡市	R7	R8	谷止工1基	60,000	a	5	5	38	25	-	73	b	A	4.16	
	渋梨	大槌町	R7	R8	谷止工1基	50,000	a	12	3	28	30	-	73	b	A	9.54	
	茂師	岩泉町	R7	R8	谷止工2基	67,000	a	7	5	34	25	-	71	b	A	3.47	
	切伏	遠野市	R7	R7	谷止工1基	36,000	a	5	3	28	30	-	66	b	A	5.71	
	下平	一戸町	R7	R8	谷止工1基	36,000	a	6	5	26	25	-	62	b	A	3.05	
防災林造成事業	刈屋	宮古市	R7	R10	谷止工3基、森林整備30ha	220,000	a	10	5	40	20	-	75	b	A	3.08	
県単治山事業 (崩壊地復旧)	城内	野田村	R7	R8	山腹工1式	28,000	a	12	5	24	30	-	71	b	A	5.85	
林道整備事業	身沢線	久慈市	R7	R13	林道改良 幅員4.0m 延長2,871m	230,000	a	23	5	5	30	3	66	b	A	2.05	

様式 2

公共事業 事前評価箇所一覧表

農林水産部 漁港漁村課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				事前評価結果										特記事項 (B/C)
			着手 年度	完了 予定 年度	主な事業内容	総事業費 (千円)	自然環 境等 の 状 況 に 係 る 評 価 結 果	事業に関する指標からみた評価							総合 評価		
								必要性 (30)	重要性 (20)	緊急性 (20)	効率性 (20)	熟度 (10)	計 (100)	評価 結果			
漁港整備事業	崎浜漁港	大船渡市 崎浜	R7	R8	物揚場147.4m、岸壁 48.4m	5,000	a	18	15	18	15	10	76	b	A	2.91	



公共事業 事前評価箇所一覧表

県土整備部 道路建設課 (国：国道、主：主要地方道、一：一般県道)

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				事前評価結果										特記事項 (B/C)
			着手 年度	完了 予定 年度	主な事業内容	総事業費 (千円)	自然環 境等 の 状況 に 係 る 評 価 結 果	事業に関する指標からみた評価							総合 評価		
								必要性 (30)	重要性 (20)	緊急性 (15)	効率性 (20)	熟度 (15)	計 (100)	評価 結果			
地域連携道路整備事業 (ネットワーク形成型)	国 455号	盛岡市 軽町	R7	R14	道路改築 L=910m	1,000,000	a	17	30	5	18	2	72	b	A	1.8 (2.6)	
地域連携道路整備事業 (地域密着型)	主 二戸九戸線	二戸市 白鳥	R7	R16	道路改築 L=1,570m	2,150,000	a	20	19	7	18	12	76	b	A	1.9 (3.3)	
地域連携道路整備事業 (地域密着型)	主 宮古岩泉線	岩泉町 猿沢	R7	R14	道路改築 L=1,160m	1,250,000	a	18	18	15	7	12	70	b	A	0.8 (1.3)	
地域連携道路整備事業 (地域密着型)	一 世田米矢作線	陸前高田市 生出	R7	R14	道路改築(突角剪 除、待避所設置) L=640m	260,000	a	14	17	12	15	12	70	b	A	1.0 (1.6)	
地域連携道路整備事業 (地域密着型)	一 佐比内彦部線	紫波町 横町	R7	R13	道路改築 L=600m	600,000	a	12	17	5	20	12	66	b	A	7.1 (10.0)	

公共事業 事前評価箇所一覧表

県土整備部 道路環境課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				事前評価結果										特記事項 (B/C)
			着手 年度	完了 予定 年度	主な事業内容	総事業費 (千円)	自然環 境等 の 状況 に 係 る 評 価 結 果	事業に関する指標からみた評価								総合 評価	
								必要性 ( 35 )	重要性 ( 10 )	緊急性 ( 20 )	効率性 ( 20 )	熟度 ( 15 )	計 (100)	評価 結果			
道路環境改善事業 (交通安全施設整備)	主 北上東和線	北上市 二子	R7	R11	歩道整備 L=160m	119,000	a	25	5	15	10	12	67	b	A	1.0	

公共事業 事前評価箇所一覧表

県土整備部砂防災害課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				事前評価結果									特記事項 (B/C)
			着手年度	完了 予定 年度	主な事業内容	総事業費 (千円)	自然環境等の 状況に係る評価 結果	事業に関する指標からみた評価							総合 評価	
								必要性 ( )	重要性 ( )	緊急性 ( )	効率性 ( )	熟度 ( )	計 (100)	評価 結果		
急傾斜地崩壊対策事業	-	二戸市 大子	R7	R10	植生工 A=2,820m2 吹付法砕工 A= 103m2	200,000	a	18	10	40	25	-	93	a	AA	4.5



公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの) 令和6年10月29日作成

事業名	かんがい排水事業	補助・単独	担当部課名	農林水産部農村計画課	
路線名等	とよさわがわ 豊沢川	地区名	じゅうにちようめせき 十二丁目堰	市町村	花巻市
事業概要	〔事業根拠法令等：土地改良法〕				
	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題 当該施設は花巻市太田地内の一級河川豊沢川に架かる平成橋上流部に位置し、木工沈床や袋詰玉石及び根固めブロック等により築造された用水受益217.8haの取水施設である。 これまでの豪雨等により、取水施設の洗堀や流出などの被害を繰り返しており、その度に災害復旧事業等により対応してきたが、令和3年に発生した豪雨により、取水がより困難な状況となり、用水の安定供給に支障をきたしている。</p> <p>○整備によって得られる効果 本事業で頭首工の整備を行うことにより、洪水被害を防止するとともに、年間を通した用水の安定供給を図る。これに伴い、施設の維持管理の労力・コスト低減と、効率的な営農への取組により、競争力のある地域農業の実現と担い手への更なる農地集積を目指す。</p> <p>(2) 事業内容 頭首工 1式</p> <p>(3) 整備目標等 いわて県民計画(2019～2028) 第2期アクションプラン—政策推進プラン—(令和5年度～令和8年度) VI 仕事・収入 37 収益力の高い「食料・木材供給基地」をつくります。 ④ 生産基盤の着実な整備 農業用排水路等の長寿命化対策着手法施設 ：【令和3年】96施設 → 【令和8年】111施設</p> <p>(4) 事業計画期間及び総事業費 ○事業計画期間：令和7年度～令和12年度 (用地着手予定年度：令和8年度、工事着手予定年度：令和9年度) ○総事業費：1,367百万円</p>				
社会経済情勢等の状況	<p>(1) 全国の状況 国では、令和3年3月に「土地改良長期計画」(計画期間：令和3～7年度)が閣議決定され、「持続的に発展する農業と多様な人が住み続けられる農村の実現に向けて」を基本理念とし、3つの政策課題が掲げられた。 その中の、政策課題Ⅰ「生産基盤の強化による農業の成長産業化」に向けてでは、担い手への農地集積・集約化や生産コストの削減を図る農地の大区画化等の基盤整備、高収益作物の導入による所得の向上などにより、農業経営の安定化や担い手の育成・確保を図っていくこととしている。 また、その中の、政策課題Ⅲ「農業・農村の強靱化」に向けてでは、農用地の湛水被害等の災害防止と水利施設・ため池の耐震化を進めることとし、基幹的農業用施設の更新や各種防災事業を実施していくこととしている。</p> <p>(2) 本県内の状況 本県の基幹的農業水利施設のほとんどが、昭和30年代以降盛んに整備され、その延長は約1,400kmに達している。今後、対策を講じなければ10年後には約半数近くが耐用年数を超過する見込みである。 このような状況の中、県では「いわて県民計画(2019～2028)」において、農業用水の安定供給に向けた農業水利施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図る保全管理を促進することとしている。</p> <p>(3) 施工地域における状況 当該施設は花巻市太田地内の一級河川豊沢川に架かる平成橋上流部に位置し、木工沈床や袋詰玉石及び根固めブロック等により築造された用水受益217.8haの取水施設である。 これまでの豪雨等により、取水施設の洗堀や流出などの被害を繰り返しており、取水が困難な状況となり、用水の安定供給に支障をきたしている。 このため、頭首工の整備を行うことで、洪水被害を防止するとともに年間を通した用水供給の安定化を図ることにより、競争力のある地域農業の実現と担い手への更なる農地集積を目指す。</p>				

自然環境等の状況

(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分

- ・岩手県自然環境保全指針による保全区分 C
- ・希少野生動植物生息の有無 無
- ・埋蔵文化財包蔵地の有無 無

(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費

環境配慮については、広域振興局で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら環境への影響が極力少なくなるよう配慮する。

自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分ごとの保全方向に沿って積極的に対応していることから「a」とした。

項目評価 a . b . c

事業計画の妥当性

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備考
必要性	水田の生産性（市町村）	特に優 (3項目以上該当)	15	15.00	①1等米比率が県平均以上（96.7%≧県平均96.0%） ②米の単収が県平均以上（556.4kg/10a≧県平均548.8kg/10a） ③経営体の水田耕地利用率が県平均以上（91%≧県平均81%） ④水田経営体のうち認定農業者の割合が県平均以上（15.3%≧12.8%）
	農地集積達成率（市町村）	55%以上 65%未満	10	6.00	花巻市62.7%
重要性	地域振興計画等との整合性	3項目 該当	5	3.75	②市町村農振計画と整合が図られている ④市町村の奨励作物を営農計画に位置付けている ⑤事業管理計画に記載されている
	中心経営体に占める認定農業者の割合（市町村）	55%以上～ 65%未満	10	4.00	花巻市61.3%
緊急性	関連事業の有無	なし	10	0.00	
	用水不足状況	80%以上	10	10.00	100%（地区唯一の用水源）
効率性	費用便益比（B/C）	1.09以上	10	10.00	総便益2,585百万円／総費用1,782百万円＝1.45
	10aあたり事業費	600千円以上 ～750千円未満	10	4.00	1,367,000千円／217.8ha＝627千円/10a
熟度	同意率	91%以上～ 94%未満	10	5.00	286人／307人＝93.2%（仮同意）
	推進組織の活動状況	非常に 積極的	5	3.75	・地区に幅広い団体が構成された推進組織がある。 ・定期的な会合がもたれ、積極的な推進活動が行われている。 （積極的）
	市町村の支援体制	積極的	5	3.75	・ガイドラインどおりの財政支援が行われる予定。 ・説明会等には、ほぼ参加し支援を行っている。 ・市町村の支援体制が明確になっている。 （積極的）
計			100	65.25	

○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。

項目評価 a . b . c

## (2) 費用便益分析

費用便益分析手法：新たな土地改良の効果算定マニュアル（2015年9月）基準年：令和6年度

区 分	金 額 ( 百 万 円 )	備 考
総費用（現在価値化）(C)	1,782 百万円	
当該事業による費用	1,179 百万円	
その他費用（関連+資産+再整備）	603 百万円	
総便益額（現在価値化）(B)	2,585 百万円	
作物生産効果	1,817 百万円	
営農経費節減効果	351 百万円	
維持管理費節減効果	▲ 1 百万円	
国産農産物安定供給効果	418 百万円	
総費用総便益比(B/C)	1.45	≧ 1.0

## (3) 関連する開発プロジェクト等の状況

・特になし。

## (4) コスト縮減対策の取り組み状況

・導水管路工について、舗装道路下への埋設を回避し、路肩や溝畔に埋設する。

## (5) 代替案の比較検討結果

本地区の農業水利施設は、洪水被害の度に補修を余儀なくされており、施設全体の劣化が進行している。そのため、施設の長寿命化を目的とした補修・補強工法の実施が困難であることから、頭首工を整備する必要がある。

また、農業水利施設の整備と合わせて、農地中間管理事業と連携した担い手への農地利用集積の促進を一体的に実施できる事業として最も費用対効果が高い事業であることから、本事業を選定するものである。

(1) 総合評価

総合評価	AA ・ <b>A</b> ・ B ・ C
------	-----------------------

(事業名)かんがい排水事業 十二丁目堰地区

着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	自然環境等の 状況に係る評価結果	事業に関する指標 からみた評価		参考 B/C
				評価点数	評価結果	
R07	R12	1,367	a	65.25	b	1.45

○総合評価に係るコメント

・当該施設は、木工沈床や袋詰玉石及び根固めブロック等により築造された用水受益217.8haの取水施設であり、これまでの豪雨等により、取水施設の洗堀や流出などの被害を繰り返しており、取水が困難な状況となり、用水の安定供給に支障をきたしている。また、これに伴い用水管理に係る労力も増大しており、担い手農家への農地集積が進み難い状況となっている。以上のことから、本事業により農業水利施設整備（頭首工の更新）を実施することで、施設の維持管理コストの低減と用水の安定供給を図るとともに、用水管理に係る労力を軽減し、担い手への農地利用集積に寄与するものである。

・「自然環境等の状況」については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」評価とし、また「事業計画の妥当性」については、評価指標の評点の合計が60点以上80点未満となっていることから「b」評価としており、総合評価を「A」とした。

・本事業の目的を達成するためには、現時点で社会経済情勢等の状況や代替案の有無等を総合的に検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、本事業の実施が妥当であると判断した。

(2) その他特記事項

特になし。

総合評価



公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの) 令和6年10月29日作成

事業名	経営体育成基盤整備事業	補助・単独	担当部課名	農林水産部 農村計画課
路線名等	—	地区名	おおせがわ 大瀬川1期	市町村 花巻市
事業概要	〔事業根拠法令等：土地改良法〕			
	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題</p> <p>本地区は、昭和40～50年代までに一部が20～30a区画に整備され、水稻を中心とした複合経営が行われているが、それ以外の区画は小区画で、農道の幅員も狭いために大型機械の導入が妨げられており、担い手への農地利用集積を阻害する要因となっている。</p> <p>また、農業用排水施設は用排水兼用の土水路であることから、安定的な用水確保に多大な維持管理労力を要しているほか、水路底が浅く農地の排水が不十分のため、水田の汎用化が困難な状況となっている。</p> <p>○整備によって得られる効果</p> <p>標準区画50～1haを中心とした区画整理を実施することにより、大型機械の導入による効率的な営農が可能となることから、整備後は農地利用集積が促進され経営規模の拡大による担い手の経営の安定化が図られる。</p> <p>また、用排水路の分離により農地の排水改良と汎用化が図られることから、高収益作物であるピーマンやアスパラガス、トマト等の作付け面積の拡大が可能となり、地域全体の収益向上が図られる。</p> <p>(2) 事業内容</p> <p>区画整理 70.2ha</p> <p>(3) 整備目標等</p> <p>いわて県民計画(2019～2028) 第2期アクションプランー政策推進プランー(令和5年度～令和8年度)</p> <p>VI 仕事・収入</p> <p>37 収益力の高い「食料・木材供給基地」をつくります。</p> <p>④ 生産基盤の着実な整備</p> <p>水田整備面積：【令和3年】15,814ha → 【令和8年】17,300ha</p> <p>(4) 事業計画期間及び総事業費</p> <p>○事業計画期間 : 令和7年度～令和19年度</p> <p>(用地着手予定年度 : 令和8年度、工事着手予定年度 : 令和9年度)</p> <p>○総事業費 : 3,045百万円</p>			
社会経済情勢等の状況	<p>(1) 全国の状況</p> <p>国では、令和3年3月に「土地改良長期計画」(計画期間：令和3～7年度)が閣議決定され、「持続的に発展する農業と多様な人が住み続けられる農村の実現に向けて」を基本理念とし、3つの政策課題が掲げられた。</p> <p>その中の、政策課題I「生産基盤の強化による農業の成長産業化」に向けてでは、担い手への農地集積・集約化や生産コストの削減を図る農地の大区画化等の基盤整備、高収益作物の導入による所得の向上などにより、農業経営の安定化や担い手の育成・確保を図っていくこととしている。</p> <p>(2) 本県内の状況</p> <p>県では、平成31年3月に公表した「いわて県民計画(2019～2028)」において、意欲と能力のある経営体を育成し農業振興を図るとともに、収益力の高い「食料供給基地」と一人ひとりにあった暮らし方ができる農村をつくるため、水田の大区画化や排水改良、農業水利施設の長寿命化対策など生産基盤の着実な整備を進めることとしている。</p> <p>(3) 施工地域における状況</p> <p>本地区では、農業従事者の高齢化及び担い手不足に対応するため、新たに設立する法人と設立済みの法人、個人担い手への農地利用集積を進めることとしている。また、各組織間での人員機械の融通を図り、作業時間の短縮、適期作業の確立等を目指すため、上部組織である協議会を設立し、さらなる経営発展に取り組むこととしている。</p> <p>また、高収益作物であるピーマンやアスパラガス、トマト等の作付に取組み、地域全体の収益向上を図りながら、持続可能な営農を展開することとしている。</p>			

自然環境等の状況	<p>(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手県自然環境保全指針による保全区分 <b>E</b></li> <li>・希少野生動植物の生息の有無 <b>有</b></li> <li>・埋蔵文化財包蔵地の有無 <b>有</b></li> </ul> <p>県レッドデータブックBランクの種が生息7遺跡（弥五郎屋敷Ⅰ遺跡、Ⅱ遺跡、林遺跡、渡遺跡、大地渡遺跡、田屋遺跡、大瀬川館衣Ⅰ遺跡）を確認</p>
	<p>(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</p> <p>事業実施に当たっては、広域振興局で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進める。</p> <p>① 動物に対する配慮 対象動物について、移動が可能なものについては隣接地の類似箇所に移動させる。</p> <p>② 植物に対する配慮 対象植物について、近傍で同種の植物が自生している場所に移植する。</p> <p>③ 埋蔵文化財への対応 岩手県教育委員会と分布調査等の協議を実施済。試掘調査等を行う予定。</p> <p>○ 自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分ごとの保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</p>
項目評価 <b>(a)</b> . b . c	

事業計画の妥当性	(1) 事業に関する指標からみた評価					
	評価指標	区分	配点	評点	備考	
	必要性	水田の生産性（市町村）	特に優 (3項目以上該当)	15	15.00	①1等米比率が県平均以上（96.7%≧県平均96.0%） ②米の単収が県平均以上（556.4kg/10a≧県平均548.8kg/10a） ③経営体の水田耕地利用率が県平均以上（91%≧県平均81%） ④水田経営体のうち認定農業者の割合が県平均以上（15.3%≧12.8%）
		地区担い手の農地集積目標	65%以上	10	10.00	全体目標 175.5ha/193.7ha=90.6%
	重要性	地域振興計画との整合性	3項目該当	5	3.75	②市町村農振計画と整合が図られている ④市町村の奨励作物を営農計画に位置付けている ⑤事業管理計画に記載されている
		中心経営体に占める認定農業者の割合（市町村）	55%以上～ 65%未満	10	4.00	花巻市61.3%
	緊急性	他事業との関連	目的を一つとする関連事業	10	6.66	国営かんがい排水事業山王海葛丸地区
		営農上の緊急性	7項目以上該当	10	10.00	①耕作道が幅員不足 ②畦畔が低く深水管理が出来ない ③排水機能の不備により湿田化 ④排水路が断面不足 ⑤用水の漏水あり ⑥用水確保が不安定 ⑦施設の維持管理費が増加傾向
	効率性	費用便益比（B/C）	1.09以上	10	10.00	総便益8,319百万円/総費用7,105百万円=1.17
		10aあたり事業費	2,200千円以上	10	2.00	3,045,000千円/70.2ha=4,338千円/10a
	熟度	同意率	99%以上	10	10.00	216人/216人=100%（仮同意）
		推進組織の活動状況	非常に積極的	5	5.00	・地区に幅広い団体が構成された推進組織があり、強力なリーダーのもと、組織の役割分担が明確化するなど体制が充実している。 ・定期的な会合がもたれ、積極的な推進活動が行われている。（非常に積極的）
市町村の支援体制		積極的	5	3.75	・ガイドライン通り、財政支援が行われている。 ・説明会等（同意取得、用地交渉、説明会等）には、ほぼ参加し支援を行っている。 ・市町村の支援体制（担当部署、担当者等）が明確になっている。（積極的）	
計			100	80.16		
○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が80点以上であることから「a」とした。						
項目評価 <b>(a)</b> . b . c						

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法：新たな土地改良の効果算定マニュアル（2015年9月）基準年：令和6年度

区 分	金 額 ( 百 万 円 )	備 考
総費用（現在価値化）(C)	7,105 百万円	
当該事業による費用	4,056 百万円	
その他費用（関連+資産+再整備）	3,049 百万円	
総便益額（現在価値化）(B)	8,319 百万円	
作物生産効果	1,764 百万円	
営農経費節減効果	4,568 百万円	
維持管理費節減効果	▲ 204 百万円	
耕作放棄防止効果	68 百万円	
水源かん養効果	1,728 百万円	
国産農産物安定供給効果	388 百万円	
非農用地等創設効果	7 百万円	
総費用総便益比(B/C)	1.17	≥ 1.0

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

- ・国営かんがい排水事業山王海葛丸地区（令和6年度～令和15年度）

(4) コスト縮減対策の取り組み状況

- ・パイプライン工について、舗装道路下への埋設を回避し、路肩や溝畔に埋設する。
- ・道路工の敷砂厚については、最小限必要な厚さ10cmとし再生砕石を使用する。

(5) 代替案の比較検討結果

本事業は、水田の大区画化や汎用化、用排水路の整備を行うことにより、大型機械の導入を可能とするなど農業の生産条件の向上を図るものである。

また、農地を団地化することにより農地集積・集約化を促進し、担い手の確保・育成を図るとともに、安定した所得確保により意欲ある経営体を支援するものである。

このように「農業生産基盤の整備」と「経営体の育成」は相互に関連しているため一体的に推進することが必要であり、本事業は「農業生産基盤の整備」と「経営体の育成」を一体的に推進する事業として最も費用対効果が高い事業であることから選定するものである。

(1) 総合評価

総合評価	AA・A・B・C
------	----------

(事業名)経営体育成基盤整備事業 大瀬川1期地区

着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	自然環境等の 状況に係る評価 結果	事業に関する指標 からみた評価		参考 B/C
				評価点数	評価結果	
R07	R19	3,045	a	80.16	a	1.17

○総合評価に係るコメント

・本地区は、稲作を中心とした水田地帯であり、本事業により、農地の区画拡大や農道、用排水路を整備し、大型機械の導入と効率的な用排水管理が可能となる。併せて農地中間管理事業を活用するなどした担い手への農地集積により、農業生産コストの低減と効率的な営農の確立に寄与するものである。また、農地の汎用化に伴い、高収益作物の新たな導入及び規模拡大が可能となり、地域全体の収益向上に資するものである。

・「自然環境等の状況」については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」評価とし、また「事業計画の妥当性」については、評価指標の評点の合計が80点以上となっていることから「a」評価としており、総合評価を「AA」とした。

・本事業の目的を達成するためには、現時点で社会経済情勢等の状況や代替案の有無等を総合的に検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、本事業の実施が妥当であると判断した。

総合  
評価

(2) その他特記事項

特になし。

公共事業 事前評価調査書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの) 令和6年10月29日作成

事業名	経営体育成基盤整備事業	補助・単独	担当部課名	農林水産部 農村計画課	
路線名等	—	地区名	いしだみなみ みなみはばなんぶ き 石田南・南下幅南部1期	市町村	奥州市
事業概要	〔事業根拠法令等：土地改良法〕				
	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題</p> <p>本地区は、昭和40年代までに一部が10a区画に整備され、水稻を中心とした複合経営が行われているが、農道の幅員も狭いために大型機械の導入が妨げられており、担い手への農地利用集積を阻害する要因となっている。</p> <p>また、農業用排水施設は用排水兼用の土水路であることから、安定的な用水確保に多大な維持管理労力を要しているほか、水路底が浅く農地の排水が不十分なため、水田の汎用化が困難な状況となっている。</p> <p>○整備によって得られる効果</p> <p>標準区画50a～1haを中心とした区画整理を実施することにより、大型機械の導入による効率的な営農が可能となることから、整備後は農地利用集積が促進され経営規模の拡大による担い手の経営の安定化が図られる。</p> <p>また、用排水路の分離により農地の排水改良と汎用化が図られることから、高収益作物であるトマトやピーマン、えだまめ等の作付け面積の拡大が可能となり、地域全体の収益向上が図られる。</p> <p>(2) 事業内容</p> <p>区画整理 100.6ha</p> <p>(3) 整備目標等</p> <p>いわて県民計画(2019～2028) 第2期アクションプラン—政策推進プラン—(令和5年度～令和8年度)</p> <p>VI 仕事・収入</p> <p>37 収益力の高い「食料・木材供給基地」をつくります。</p> <p>④ 生産基盤の着実な整備</p> <p>水田整備面積：【令和3年】15,814ha → 【令和8年】17,300ha</p> <p>(4) 事業計画期間及び総事業費</p> <p>○事業計画期間 : 令和7年度～令和21年度 (用地着手予定年度 : 令和8年度、工事着手予定年度 : 令和9年度)</p> <p>○総事業費 : 3,046百万円</p>				
社会経済情勢等の状況	<p>(1) 全国の状況</p> <p>国では、令和3年3月に「土地改良長期計画」(計画期間：令和3～7年度)が閣議決定され、「持続的に発展する農業と多様な人が住み続けられる農村の実現に向けて」を基本理念とし、3つの政策課題が掲げられた。</p> <p>その中の、政策課題I「生産基盤の強化による農業の成長産業化」に向けてでは、担い手への農地集積・集約化や生産コストの削減を図る農地の大区画化等の基盤整備、高収益作物の導入による所得の向上などにより、農業経営の安定化や担い手の育成・確保を図っていくこととしている。</p> <p>(2) 本県内の状況</p> <p>県では、平成31年3月に公表した「いわて県民計画(2019～2028)」において、意欲と能力のある経営体を育成し農業振興を図るとともに、収益力の高い「食料供給基地」と一人ひとりにあった暮らし方ができる農村をつくるため、水田の大区画化や排水改良、農業水利施設の長寿命化対策など生産基盤の着実な整備を進めることとしている。</p> <p>(3) 施工地域における状況</p> <p>本地区では、農業従事者の高齢化及び担い手不足に対応するため、新たに設立する法人への農地利用集積を進めることとしている。</p> <p>また、高収益作物であるトマトやピーマン、えだまめ等の作付けに取組み、地域全体の収益向上を図りながら、持続可能な営農を展開することとしている。</p>				

自然環境等の状況	(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分 ・岩手県自然環境保全指針による保全区分 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">E</span> ・希少野生動植物の生息の有無 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">有</span> ・埋蔵文化財包蔵地の有無 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">有</span>	県レッドデータブックBランクの種が生息 22遺跡（塚田遺跡、角塚古墳、宇南田遺跡、浅野遺跡、浅野前遺跡、鶴田Ⅰ～Ⅱ遺跡、西光田Ⅰ～Ⅲ遺跡、鶴田古墳群、西田Ⅱ遺跡、南矢中遺跡、南矢中Ⅱ遺跡、北田遺跡、寺領遺跡、石田遺跡、足袋針Ⅰ～Ⅱ遺跡、後田遺跡、大明神遺跡、一本杉遺跡）を確認				
	(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費 事業実施に当たっては、広域振興局で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進める。	① 動物に対する配慮 対象動物について、移動が可能なものについては隣接地の類似箇所に移動させる。 ② 植物に対する配慮 対象植物について、近傍で同種の植物が自生している場所に移植する。 ③ 埋蔵文化財への対応 岩手県教育委員会と分布調査等の協議を行い、一部で試掘調査実施済。今後も調査を進めていく。				
	○ 自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分ごとの保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。	項目評価 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">a</span> . b . c				
事業計画の妥当性	(1) 事業に関する指標からみた評価					
		評価指標	区分	配点	評点	備考
	必要性	水田の生産性（市町村）	優 (2項目該当)	15	11.25	②米の単収が県平均以上 (553.8kg/10a≧県平均548.8kg/10a) ③経営体の水田耕地利用率が県平均以上 (85%≧県平均81%)
		地区担い手の農地集積目標	65%以上	10	10.00	全体目標 158ha/166.5ha=94.9%
	重要性	地域振興計画との整合性	4項目以上該当	5	5.00	②市町村農振計画と整合が図られている、 ③経営基盤強化促進法と整合が図られている (育成する担い手の経営規模等が市町村目標の水準に達する計画である)、④市町村の奨励作物を営農計画に位置付けている、⑤事業管理計画に搭載されている
		中心経営体に占める認定農業者の割合(市町村)	75%以上～85%未満	10	8.00	奥州市 84.1%
	緊急性	他事業との関連	目的を一つとする関連事業	10	0	
		営農上の緊急性	7項目以上該当	10	10.00	①耕作道が幅員不足 ②畦畔が低く深水管理が出来ない ③排水機能の不備により湿田化 ④排水路が断面不足 ⑤用水の漏水あり ⑥用水確保が不安定 ⑦施設の維持管理費が増加傾向
	効率性	費用便益比 (B/C)	1.09以上	10	10.00	総便益6,315万円/総費用4,647万円=1.35
		10aあたり事業費	2,200千円以上	10	2.00	3,046,000千円/100.6ha =3,028千円/10a
熟度	同意率	99%以上	10	10.00	332人/332人=100% (仮同意)	
	推進組織の活動状況	非常に積極的	5	5.00	・地区に幅広い団体が構成された推進組織があり、強力なリーダーのもと、組織の役割分担が明確化するなど体制が充実している。 ・定期的な会合がもたれ、積極的な推進活動が行われている。 (非常に積極的)	
	市町村の支援体制	積極的	5	3.75	・ガイドライン通り、財政支援が行われている。 ・説明会等 (同意取得、用地交渉、説明会等) には、ほぼ参加し支援を行っている。 ・市町村の支援体制 (担当部署、担当者等) が明確になっている。 (積極的)	
	計		100	75.00		
	○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。					
	項目評価 a . <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">b</span> . c					

事業計画の妥当性	<b>(2) 費用便益分析</b>		
	費用便益分析手法：新たな土地改良の効果算定マニュアル（2015年9月）基準年：令和6年度		
	区 分	金 額 ( 百 万 円 )	備 考
	総費用（現在価値化）(C)	4,647 百万円	
	当該事業による費用	3,288 百万円	
	その他費用（関連+資産+再整備）	1,359 百万円	
	総便益額（現在価値化）(B)	6,315 百万円	
	作物生産効果	2,127 百万円	
	営農経費節減効果	3,763 百万円	
	維持管理費節減効果	▲ 89 百万円	
地籍確定効果	8 百万円		
国産農産物安定供給効果	506 百万円		
総費用総便益比(B/C)	1.35	≥ 1.0	
<b>(3) 関連する開発プロジェクト等の状況</b>			
該当なし			
<b>(4) コスト縮減対策の取り組み状況</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・パイプライン工について、舗装道路下への埋設を回避し、路肩や溝畔に埋設する。</li> <li>・道路工の敷砂厚については、最小限必要な厚さ10cmとし再生砕石を使用する。</li> </ul>			
<b>(5) 代替案の比較検討結果</b>			
<p>本事業は、水田の大区画化や汎用化、用排水路の整備を行うことにより、大型機械の導入を可能とするなど農業の生産条件の向上を図るものである。</p> <p>また、農地を団地化することにより農地集積・集約化を促進し、担い手の確保・育成を図るとともに、安定した所得確保により意欲ある経営体を支援するものである。</p> <p>このように「農業生産基盤の整備」と「経営体の育成」は相互に関連しているため一体的に推進することが必要であり、本事業は「農業生産基盤の整備」と「経営体の育成」を一体的に推進する事業として最も費用対効果が高い事業であることから選定するものである。</p>			

(1) 総合評価

総合評価	AA ・ A ・ B ・ C
------	----------------

(事業名)経営体育成基盤整備事業 石田南・南下幅南部1期地区

着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	自然環境等の 状況に係る評価 結果	事業に関する指標 からみた評価		参考 B/C
				評価点数	評価結果	
R07	R21	3,046	a	75.00	b	1.35

○総合評価に係るコメント

・本地区は、稲作を中心とした水田地帯であり、本事業により、農地の区画拡大や農道、用排水路を整備し、大型機械の導入と効率的な用排水管理が可能となる。併せて農地中間管理事業を活用するなどした担い手への農地集積により、農業生産コストの低減と効率的な営農の確立に寄与するものである。また、農地の汎用化に伴い、高収益作物の新たな導入及び規模拡大が可能となり、地域全体の収益向上に資するものである。

・「自然環境等の状況」については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」評価とし、また「事業計画の妥当性」については、評価指標の評点の合計が60点以上80点未満となっていることから「b」評価としており、総合評価を「A」とした。

・本事業の目的を達成するためには、現時点で社会経済情勢等の状況や代替案の有無等を総合的に検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、本事業の実施が妥当であると判断した。

総合評価

(2) その他特記事項

特になし。



公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの) 令和6年10月29日作成

事業名	経営体育成基盤整備事業		補助・単独	担当部課名	農林水産部 農村計画課
路線名等	—	地区名	あやおりにいきと綾織新里	市町村	遠野市
事業概要	〔事業根拠法令等：土地改良法〕				
	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題</p> <p>本地区は、昭和20～30年代にかけ、大部分が10a区画程度に整備され、水稻を中心とした複合経営が行われているが、地区全体が小区画で、農道の幅員も狭いために大型機械の導入が妨げられており、担い手への農地利用集積を阻害する要因となっている。</p> <p>また、農業用排水施設は用排水兼用の土水路であることから、安定的な用水確保に多大な維持管理労力を要しているほか、水路底が浅く農地の排水が不十分のため、水田の汎用化が困難な状況となっている。</p> <p>○整備によって得られる効果</p> <p>標準区画50～1haを中心とした区画整理を実施することにより、大型機械の導入による効率的な営農が可能となることから、整備後は農地利用集積が促進され経営規模の拡大による担い手の経営の安定化が図られる。</p> <p>また、用排水路の分離により農地の排水改良と汎用化が図られることから、高収益作物であるトルコギキョウやえだまめの作付け面積の拡大が可能となり、地域全体の収益向上が図られる。</p> <p>(2) 事業内容</p> <p>区画整理 44.6ha</p> <p>(3) 整備目標等</p> <p>いわて県民計画(2019～2028) 第2期アクションプランー政策推進プランー(令和5年度～令和8年度)</p> <p>VI 仕事・収入</p> <p>37 収益力の高い「食料・木材供給基地」をつくります。</p> <p>④ 生産基盤の着実な整備</p> <p>水田整備面積：【令和3年】15,814ha → 【令和8年】17,300ha</p> <p>(4) 事業計画期間及び総事業費</p> <p>○事業計画期間：令和7年度～令和14年度</p> <p>(用地着手予定年度：令和8年度、工事着手予定年度：令和9年度)</p> <p>○総事業費：1,548百万円</p>				
社会経済情勢等の状況	<p>(1) 全国の状況</p> <p>国では、令和3年3月に「土地改良長期計画」(計画期間：令和3～7年度)が閣議決定され、「持続的に発展する農業と多様な人が住み続けられる農村の実現に向けて」を基本理念とし、3つの政策課題が掲げられた。</p> <p>その中の、政策課題I「生産基盤の強化による農業の成長産業化」に向けてでは、担い手への農地集積・集約化や生産コストの削減を図る農地の大区画化等の基盤整備、高収益作物の導入による所得の向上などにより、農業経営の安定化や担い手の育成・確保を図っていくこととしている。</p> <p>(2) 本県内の状況</p> <p>県では、平成31年3月に公表した「いわて県民計画(2019～2028)」において、意欲と能力のある経営体を育成し農業振興を図るとともに、収益力の高い「食料供給基地」と一人ひとりにあった暮らし方ができる農村をつくるため、水田の大区画化や排水改良、農業水利施設の長寿命化対策など生産基盤の着実な整備を進めることとしている。</p> <p>(3) 施工地域における状況</p> <p>本地区では、農業従事者の高齢化及び担い手不足に対応するため、新たに設立する法人と設立済みの法人、個人担い手への農地利用集積を進め、生産コストの低減、持続可能な営農を展開することとしている。</p> <p>合わせて、暗渠排水を整備し水田の汎用化を進め、高収益作物であるトルコギキョウやえだまめの作付けに取組み、地域全体の収益向上を図りながら、持続可能な営農を展開することとしている。</p>				

自然環境等の状況	<p>(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手県自然環境保全指針による保全区分 <b>D</b></li> <li>・希少野生動植物の生息の有無 <b>有</b></li> <li>・埋蔵文化財包蔵地の有無 <b>有</b></li> </ul> <p>県レッドデータブックBランクの種が生息7遺跡（来迎前Ⅲ遺跡、Ⅳ遺跡、寒風Ⅰ遺跡、宮野目Ⅰ遺跡、Ⅱ遺跡、可能性あり(1)、(2)）を確認</p>
	<p>(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</p> <p>事業実施に当たっては、広域振興局で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進める。</p> <p>① 動物に対する配慮 対象動物について、移動が可能なものについては隣接地の類似箇所に移動させる。</p> <p>② 植物に対する配慮 対象植物について、近傍で同種の植物が自生している場所に移植する。</p> <p>③ 埋蔵文化財への対応 岩手県教育委員会と分布調査等の協議を実施済。試掘調査等を行う予定。</p> <p>○ 自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分ごとの保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</p>
項目評価 <b>(a)</b> . b . c	

事業計画の妥当性	(1) 事業に関する指標からみた評価					
	評価指標	区分	配点	評点	備考	
	必要性	水田の生産性（市町村）	優 (2項目該当)	15	11.25	①1等米比率が県平均以上（97.1%≧県平均96.0%） ④水田経営体のうち認定農業者の割合が県平均以上（18.1%≧12.8%）
		地区担い手の農地集積目標	65%以上	10	10.00	全体目標 43.5ha/48.6ha=89.5%
	重要性	地域振興計画との整合性	3項目該当	5	3.75	②市町村農振計画と整合が図られている ④市町村の奨励作物を営農計画に位置付けている ⑤事業管理計画に記載されている
		中心経営体に占める認定農業者の割合（市町村）	55%未満	10	2.00	遠野市42.1%
	緊急性	他事業との関連	該当なし	10	0	
		営農上の緊急性	7項目以上該当	10	10.00	①耕作道が幅員不足 ②畦畔が低く深水管理が出来ない ③排水機能の不備により湿田化 ④排水路が断面不足 ⑤用水の漏水あり ⑥用水確保が不安定 ⑦施設の維持管理費が増加傾向
	効率性	費用便益比（B/C）	1.09以上	10	10.00	総便益1,862百万円/総費用1,444百万円=1.28
		10aあたり事業費	2,200千円以上	10	2.00	1,548,000千円/44.6ha=3,471千円/10a
	熟度	同意率	99%以上	10	10.00	98人/98人=100%（仮同意）
		推進組織の活動状況	非常に積極的	5	5.00	・地区に幅広い団体が構成された推進組織があり、強力なリーダーのもと、組織の役割分担が明確化するなど体制が充実している。 ・定期的な会合がもたれ、積極的な推進活動が行われている。 （積極的）
		市町村の支援体制	積極的	5	3.75	・ガイドライン通り、財政支援が行われている。 ・説明会等（同意取得、用地交渉、説明会等）には、ほぼ参加し支援を行っている。 ・市町村の支援体制（担当部署、担当者等）が明確になっている。 （積極的）
	計			100	67.75	
	○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。					
項目評価 a . <b>(b)</b> . c						

**(2) 費用便益分析**

費用便益分析手法：新たな土地改良の効果算定マニュアル（2015年9月）基準年：令和6年度

区 分	金 額 ( 百 万 円 )	備 考
総費用（現在価値化）(C)	1,444 百万円	
当該事業による費用	1,084 百万円	
その他費用（関連+資産+再整備）	360 百万円	
総便益額（現在価値化）(B)	1,862 百万円	
作物生産効果	415 百万円	
営農経費節減効果	1,353 百万円	
維持管理費節減効果	▲ 14 百万円	
耕作放棄防止効果	4 百万円	
国産農産物安定供給効果	104 百万円	
総費用総便益比(B/C)	1.28	≥ 1.0

**(3) 関連する開発プロジェクト等の状況**

特になし。

**(4) コスト縮減対策の取り組み状況**

- ・パイプライン工について、舗装道路下への埋設を回避し、路肩や溝畔に埋設する。
- ・道路工の敷砂厚については、最小限必要な厚さ10cmとし再生砕石を使用する。

**(5) 代替案の比較検討結果**

本事業は、水田の大区画化や汎用化、用排水路の整備を行うことにより、大型機械の導入を可能とするなど農業の生産条件の向上を図るものである。

また、農地を団地化することにより農地集積・集約化を促進し、担い手の確保・育成を図るとともに、安定した所得確保により意欲ある経営体を支援するものである。

このように「農業生産基盤の整備」と「経営体の育成」は相互に関連しているため一体的に推進することが必要であり、本事業は「農業生産基盤の整備」と「経営体の育成」を一体的に推進する事業として最も費用対効果が高い事業であることから選定するものである。

(1) 総合評価

総合評価	AA ・ <b>A</b> ・ B ・ C
------	-----------------------

(事業名)経営体育成基盤整備事業 綾織新里地区

着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	自然環境等の 状況に係る評価 結果	事業に関する指標 からみた評価		参考 B/C
				評価点数	評価結果	
R07	R14	1,548	a	67.75	b	1.28

○総合評価に係るコメント

・本地区は、稲作を中心とした水田地帯であり、本事業により、農地の区画拡大や農道、用排水路を整備し、大型機械の導入と効率的な用排水管理が可能となる。併せて農地中間管理事業を活用するなどした担い手への農地集積により、農業生産コストの低減と効率的な営農の確立に寄与するものである。また、農地の汎用化に伴い、高収益作物の新たな導入及び規模拡大が可能となり、地域全体の収益向上に資するものである。

・「自然環境等の状況」については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」評価とし、また「事業計画の妥当性」については、評価指標の評点の合計が60点以上80点未満となっていることから「b」評価としており、総合評価を「A」とした。

・本事業の目的を達成するためには、現時点で社会経済情勢等の状況や代替案の有無等を総合的に検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、本事業の実施が妥当であると判断した。

総合  
評価

(2) その他特記事項

特になし。

公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの) 令和6年10月29日作成

事業名	経営体育成基盤整備事業	補助・単独	担当部課名	農林水産部 農村計画課
路線名等	—	地区名	こなし <small>き</small> 小梨1期	市町村 一関市
事業概要	〔事業根拠法令等：土地改良法〕			
	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題</p> <p>本地区は、農地が10a程度の小区画で、農道の幅員も狭いために大型機械の導入が妨げられており、担い手への農地利用集積を阻害する要因となっている。</p> <p>また、農業用排水施設は用排水兼用の土水路であることから、安定的な用水確保に多大な維持管理労力を要しているほか、水路底が浅く農地の排水が不十分なため、水田の汎用化が困難な状況となっている。</p> <p>○整備によって得られる効果</p> <p>標準区画50aを中心とした区画整理を実施することにより、大型機械の導入による効率的な営農が可能となることから、法人と個人担い手への農地利用集積が促進され、経営規模の拡大による担い手の経営の安定化が図られる。</p> <p>また、用排水路の分離により農地の排水改良と汎用化が図られることから、高収益作物であるトマト、スイートコーンの作付け面積の拡大が可能となり、地域全体の収益向上が図られる。</p> <p>(2) 事業内容</p> <p>区画整理 58.7ha</p> <p>(3) 整備目標等</p> <p>いわて県民計画(2019～2028) 第2期アクションプラン—政策推進プラン—(令和5年度～令和8年度)</p> <p>VI 仕事・収入</p> <p>37 収益力の高い「食料・木材供給基地」をつくります。</p> <p>④ 生産基盤の着実な整備</p> <p>水田整備面積：【令和3年】15,814ha → 【令和8年】17,300ha</p> <p>(4) 事業計画期間及び総事業費</p> <p>○事業計画期間 : 令和7年度～令和21年度</p> <p>(用地着手予定年度 : 令和8年度、工事着手予定年度 : 令和9年度)</p> <p>○総事業費 : 2,723百万円</p>			
社会経済情勢等の状況	<p>(1) 全国の状況</p> <p>国では、令和3年3月に「土地改良長期計画」(計画期間：令和3～7年度)が閣議決定され、「持続的に発展する農業と多様な人が住み続けられる農村の実現に向けて」を基本理念とし、3つの政策課題が掲げられた。</p> <p>その中の、政策課題I「生産基盤の強化による農業の成長産業化」に向けてでは、担い手への農地集積・集約化や生産コストの削減を図る農地の大区画化等の基盤整備、高収益作物の導入による所得の向上などにより、農業経営の安定化や担い手の育成・確保を図っていくこととしている。</p> <p>(2) 本県内の状況</p> <p>県では、平成31年3月に公表した「いわて県民計画(2019～2028)」において、意欲と能力のある経営体を育成し農業振興を図るとともに、収益力の高い「食料供給基地」と一人ひとりにあった暮らし方ができる農村をつくるため、水田の大区画化や排水改良、農業水利施設の長寿命化対策など生産基盤の着実な整備を進めることとしている。</p> <p>(3) 施工地域における状況</p> <p>本地区では、農業従事者の高齢化及び担い手不足に対応するため、設立済みの3法人と個人担い手へ農地利用集積を進め、生産コストの低減、持続可能な営農を展開することとしている。</p> <p>また、3法人は、高収益作物であるトマト、スイートコーンの生産を拡大し、地域全体の収益向上を図りながら、効率的・安定的な農業経営の確立に取り組むこととしている。</p>			

自然環境等の状況	(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分 <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手県自然環境保全指針による保全区分 <b>B</b></li> <li>・希少野生動植物の生息の有無 <b>有</b> 県レッドデータブックBランクの種が生息</li> <li>・埋蔵文化財包蔵地の有無 <b>有</b> 4遺跡（経塚遺跡、小林1遺跡、南小梨蛇王遺跡、又ヶ沢遺跡）を確認</li> </ul>
	(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費 <p>事業実施に当たっては、広域振興局で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 動物に対する配慮 対象動物について、移動が可能なものについては隣接地の類似箇所に移動させる。</li> <li>② 植物に対する配慮 対象植物について、近傍で同種の植物が自生している場所に移植する。</li> <li>③ 埋蔵文化財への対応 岩手県教育委員会と分布調査等の協議を実施済。試掘調査等を行う予定。</li> </ol> <p>○ 自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分ごとの保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</p>
項目評価 <b>(a)</b> . b . c	

事業計画の妥当性	(1) 事業に関する指標からみた評価					
		評価指標	区分	配点	評点	備考
	必要性	水田の生産性（市町村）	平均的 （1項目該当）	15	7.50	①1等米比率が県平均以上
		地区担い手の農地集積目標	65%以上	10	10.00	全体目標 168.3ha/170.7ha=98.6%
	重要性	地域振興計画との整合性	4項目以上 該当	5	5.00	①市町村発展計画に記載されている ②市町村農振計画と整合が図られている ③市町村の奨励作物を営農計画に位置付けている ④事業管理計画に記載されている
		中心経営体に占める認定農業者の割合（市町村）	55%未満	10	2.00	一関市48.4%
	緊急性	他事業との関連	該当なし	10	0	
		営農上の緊急性	7項目以上 該当	10	10.00	①耕作道が幅員不足 ②畦畔が低く深水管理が出来ない ③排水機能の不備により湿田化 ④排水路が断面不足 ⑤用水の漏水あり ⑥用水確保が不安定 ⑦施設の維持管理費が増加傾向
	効率性	費用便益比（B/C）	1.09以上	10	10.00	総便益6,222百万円/総費用5,580百万円=1.11
		10aあたり事業費	2,200千円以上	10	2.00	2,723,000千円/58.7ha=4,639千円/10a
	熟度	同意率	99%以上	10	10.00	343人/343人=100%（仮同意）
		推進組織の活動状況	非常に積極的	5	5.00	・地区に幅広い団体が構成された推進組織があり、強力なリーダーのもと組織の役割分担が明確化され体制が充実している。 ・定期的な会合がもたれ、積極的な推進活動が行われている。 （非常に積極的）
		市町村の支援体制	積極的	5	3.75	・ガイドライン通り、財政支援が行われている。 ・説明会等（同意取得、用地交渉、説明会等）には、ほぼ参加し支援を行っている。 ・市町村の支援体制（担当部署、担当者等）が明確になっている。 （積極的）
	計			100	65.25	
	○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。					
項目評価 a . <b>(b)</b> . c						

**(2) 費用便益分析**

費用便益分析手法：新たな土地改良の効果算定マニュアル（2015年9月）基準年：令和6年度

区 分	金 額 ( 百 万 円 )	備 考
総費用（現在価値化）(C)	5,580 百万円	
当該事業による費用	5,093 百万円	
その他費用（関連+資産+再整備）	487 百万円	
総便益額（現在価値化）(B)	6,222 百万円	
作物生産効果	884 百万円	
営農経費節減効果	5,351 百万円	
維持管理費節減効果	▲ 82 百万円	
耕作放棄防止効果	11 百万円	
国産農産物安定供給効果	58 百万円	
総費用総便益比(B/C)	1.11	≥ 1.0

**(3) 関連する開発プロジェクト等の状況**

該当なし

**(4) コスト縮減対策の取り組み状況**

- ・パイプライン工について、舗装道路下への埋設を回避し、路肩や溝畔に埋設する。
- ・道路工の敷砂利厚については、最小限必要な厚さ10cmとし再生砕石を使用する。

**(5) 代替案の比較検討結果**

本事業は、水田の大区画化や汎用化、用排水路の整備を行うことにより、大型機械の導入を可能とするなど農業の生産条件の向上を図るものである。

また、農地を団地化することにより農地集積・集約化を促進し、担い手の確保・育成を図るとともに、安定した所得確保により意欲ある経営体を支援するものである。

このように「農業生産基盤の整備」と「経営体の育成」は相互に関連しているため一体的に推進することが必要であり、本事業は「農業生産基盤の整備」と「経営体の育成」を一体的に推進する事業として最も費用対効果が高い事業であることから選定するものである。

(1) 総合評価

総合評価	AA ・ <b>A</b> ・ B ・ C
------	-----------------------

(事業名)経営体育成基盤整備事業 小梨1期地区

着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	自然環境等の 状況に係る評価 結果	事業に関する指標 からみた評価		参考 B/C
				評価点数	評価結果	
R07	R21	2,723	a	65.25	b	1.11

○総合評価に係るコメント

・本地区は、稲作を中心とした水田地帯であり、本事業により、農地の区画拡大や農道、用排水路を整備し、大型機械の導入と効率的な用排水管理が可能となる。併せて農地中間管理事業を活用するなどした担い手への農地集積により、農業生産コストの低減と効率的な営農の確立に寄与するものである。また、農地の汎用化に伴い、高収益作物の規模拡大が可能となり、地域全体の収益向上に資するものである。

・「自然環境等の状況」については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」評価とし、また「事業計画の妥当性」については、評価指標の評点の合計が60点以上80点未満となっていることから「b」評価としており、a評価とb評価で構成されていることから、総合評価を「A」とした。

・本事業の目的を達成するためには、現時点で社会経済情勢等の状況や代替案の有無等を総合的に検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、本事業の実施が妥当であると判断した。

総合  
評価

(2) その他特記事項

特になし。



公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの) 令和6年10月29日作成

事業名	経営体育成基盤整備事業	補助・単独	担当部課名	農林水産部 農村計画課
路線名等	—	地区名	おきたき 興田1期	市町村 一関市
事業概要	〔事業根拠法令等：土地改良法〕			
	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題</p> <p>本地区は、農地が10a程度の小区画で、農道の幅員も狭いために大型機械の導入が妨げられており、担い手への農地利用集積を阻害する要因となっている。</p> <p>また、農業用排水施設は用排水兼用の土水路であることから、安定的な用水確保に多大な維持管理労力を要しているほか、水路底が浅く農地の排水が不十分なため、水田の汎用化が困難な状況となっている。</p> <p>○整備によって得られる効果</p> <p>標準区画50aを中心とした区画整理を実施することにより、大型機械の導入による効率的な営農が可能となることから、法人と個人担い手への農地利用集積が促進され、経営規模の拡大による担い手の経営の安定化が図られる。</p> <p>また、用排水路の分離により農地の排水改良と汎用化が図られることから、高収益作物であるトマト、はくさいの作付け面積の拡大が可能となり、地域全体の収益向上が図られる。</p> <p>(2) 事業内容</p> <p>区画整理 23.5ha</p> <p>(3) 整備目標等</p> <p>いわて県民計画(2019～2028) 第2期アクションプランー政策推進プランー(令和5年度～令和8年度)</p> <p>VI 仕事・収入</p> <p>37 収益力の高い「食料・木材供給基地」をつくります。</p> <p>④ 生産基盤の着実な整備</p> <p>水田整備面積：【令和3年】15,814ha → 【令和8年】17,300ha</p> <p>(4) 事業計画期間及び総事業費</p> <p>○事業計画期間：令和7年度～令和19年度</p> <p>(用地着手予定年度：令和8年度、工事着手予定年度：令和9年度)</p> <p>○総事業費：1,409百万円</p>			
社会経済情勢等の状況	<p>(1) 全国の状況</p> <p>国では、令和3年3月に「土地改良長期計画」(計画期間：令和3～7年度)が閣議決定され、「持続的に発展する農業と多様な人が住み続けられる農村の実現に向けて」を基本理念とし、3つの政策課題が掲げられた。</p> <p>その中の、政策課題I「生産基盤の強化による農業の成長産業化」に向けてでは、担い手への農地集積・集約化や生産コストの削減を図る農地の大区画化等の基盤整備、高収益作物の導入による所得の向上などにより、農業経営の安定化や担い手の育成・確保を図っていくこととしている。</p> <p>(2) 本県内の状況</p> <p>県では、平成31年3月に公表した「いわて県民計画(2019～2028)」において、意欲と能力のある経営体を育成し農業振興を図るとともに、収益力の高い「食料供給基地」と一人ひとりにあった暮らし方ができる農村をつくるため、水田の大区画化や排水改良、農業水利施設の長寿命化対策など生産基盤の着実な整備を進めることとしている。</p> <p>(3) 施工地域における状況</p> <p>本地区では、農業従事者の高齢化及び担い手不足に対応するため、設立済みの法人と個人担い手へ農地利用集積を進め、生産コストの低減、持続可能な営農を展開することとしている。</p> <p>また、法人は、高収益作物であるトマト、はくさいの生産を拡大し、地域全体の収益向上を図りながら、効率的・安定的な農業経営の確立に取り組むこととしている。</p>			

自然環境等の状況	<p>(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手県自然環境保全指針による保全区分 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">C</span></li> <li>・希少野生動植物の生息の有無 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">有</span> 県レッドデータブックBランクの種が生息</li> <li>・埋蔵文化財包蔵地の有無 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">有</span> 8遺跡（天狗田遺跡、小和太郎遺跡、可能性あり6か所）を確認</li> </ul>
	<p>(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</p> <p>事業実施に当たっては、広域振興局で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進める。</p> <p>① 動物に対する配慮 対象動物について、移動が可能なものについては隣接地の類似箇所に移動させる。</p> <p>② 植物に対する配慮 対象植物について、近傍で同種の植物が自生している場所に移植する。</p> <p>③ 埋蔵文化財への対応 岩手県教育委員会と分布調査等の協議を実施済。試掘調査等を行う予定。</p> <p>○ <u>自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分ごとの保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</u></p>
項目評価 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">a</span> . b . c	

事業計画の妥当性	(1) 事業に関する指標からみた評価					
	評価指標	区分	配点	評点	備考	
	必要性	水田の生産性（市町村）	平均的（1項目該当）	15	7.50	①1等米比率が県平均以上
		地区担い手の農地集積目標	65%以上	10	10.00	全体目標 89.4ha/92.4ha=96.8%
	重要性	地域振興計画との整合性	4項目以上該当	5	5.00	①市町村発展計画に登載されている ②市町村農振計画と整合が図られている ③市町村の奨励作物を営農計画に位置付けている ④事業管理計画に登載されている
		中心経営体に占める認定農業者の割合（市町村）	55%未満	10	2.00	一関市48.4%
	緊急性	他事業との関連	該当なし	10	0	
		営農上の緊急性	7項目以上該当	10	10.00	①耕作道が幅員不足 ②畦畔が低く深水管理が出来ない ③排水機能の不備により湿田化 ④排水路が断面不足 ⑤用水の漏水あり ⑥用水確保が不安定 ⑦施設の維持管理費が増加傾向
	効率性	費用便益比（B/C）	1.09以上	10	10.00	総便益3,450百万円/総費用2,788百万円=1.23
		10aあたり事業費	2,200千円以上	10	2.00	1,409,000千円/23.5ha=5,996千円/10a
	熟度	同意率	99%以上	10	10.00	260人/260人=100%（仮同意）
		推進組織の活動状況	非常に積極的	5	5.00	・地区に幅広い団体で構成された推進組織があり、強力なリーダーのもと組織の役割分担が明確化され体制が充実している。 ・定期的な会合がもたれ、積極的な推進活動が行われている。 （非常に積極的）
市町村の支援体制		積極的	5	3.75	・ガイドライン通り、財政支援が行われている。 ・説明会等（同意取得、用地交渉、説明会等）には、ほぼ参加し支援を行っている。 ・市町村の支援体制（担当部署、担当者等）が明確になっている。 （積極的）	
計			100	65.25		
○ <u>事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。</u>						
項目評価 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">a</span> . <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">b</span> . c						

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法：新たな土地改良の効果算定マニュアル（2015年9月）基準年：令和6年度

区 分	金 額 ( 百 万 円 )	備 考
総費用（現在価値化）(C)	2,788 百万円	
当該事業による費用	2,641 百万円	
その他費用（関連+資産+再整備）	147 百万円	
総便益額（現在価値化）(B)	3,450 百万円	
作物生産効果	712 百万円	
営農経費節減効果	2,582 百万円	
維持管理費節減効果	▲ 52 百万円	
耕作放棄防止効果	14 百万円	
国産農産物安定供給効果	194 百万円	
総費用総便益比(B/C)	1.23	≥ 1.0

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

該当なし

(4) コスト縮減対策の取り組み状況

- ・パイプライン工について、舗装道路下への埋設を回避し、路肩や溝畔に埋設する。
- ・道路工の敷砂利厚については、最小限必要な厚さ10cmとし再生砕石を使用する。

(5) 代替案の比較検討結果

本事業は、水田の大区画化や汎用化、用排水路の整備を行うことにより、大型機械の導入を可能とするなど農業の生産条件の向上を図るものである。

また、農地を団地化することにより農地集積・集約化を促進し、担い手の確保・育成を図るとともに、安定した所得確保により意欲ある経営体を支援するものである。

このように「農業生産基盤の整備」と「経営体の育成」は相互に関連しているため一体的に推進することが必要であり、本事業は「農業生産基盤の整備」と「経営体の育成」を一体的に推進する事業として最も費用対効果が高い事業であることから選定するものである。

(1) 総合評価

総合評価	AA ・ <b>A</b> ・ B ・ C
------	-----------------------

(事業名)経営体育成基盤整備事業 興田1期地区

着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	自然環境等の 状況に係る評価 結果	事業に関する指標 からみた評価		参考 B/C
				評価点数	評価結果	
R07	R19	1,409	a	65.25	b	1.23

総合評価

○総合評価に係るコメント

・本地区は、稲作を中心とした水田地帯であり、本事業により、農地の区画拡大や農道、用排水路を整備し、大型機械の導入と効率的な用排水管理が可能となる。併せて農地中間管理事業を活用するなどした担い手への農地集積により、農業生産コストの低減と効率的な営農の確立に寄与するものである。また、農地の汎用化に伴い、高収益作物の新たな導入及び規模拡大が可能となり、地域全体の収益向上に資するものである。

・「自然環境等の状況」については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」評価とし、また「事業計画の妥当性」については、評価指標の評点の合計が60点以上80点未満となっていることから「b」評価としており、a評価とb評価で構成されていることから、総合評価を「A」とした。

・本事業の目的を達成するためには、現時点で社会経済情勢等の状況や代替案の有無等を総合的に検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、本事業の実施が妥当であると判断した。

(2) その他特記事項

特になし。

公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの) 令和6年10月29日作成

事業名	経営体育成基盤整備事業	補助・単独	担当部課名	農林水産部 農村計画課	
路線名等	—	地区名	こまき 駒木	市町村	一戸町
事業概要	〔事業根拠法令等：土地改良法〕				
	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題</p> <p>本地区は、農地が10a程度の小区画で、農道の幅員も狭いために大型機械の導入が妨げられており、担い手への農地利用集積を阻害する要因となっている。</p> <p>また、農業用排水施設は用排水兼用の土水路であることから、安定的な用水確保に多大な維持管理労力を要しているほか、水路底が浅く農地の排水が不十分なため、水田の汎用化が困難な状況となっている。</p> <p>○整備によって得られる効果</p> <p>標準区画50aを中心とした区画整理を実施することにより、大型機械の導入による効率的な営農が可能となることから、法人と個人担い手への農地利用集積が促進され、経営規模の拡大による担い手の経営の安定化が図られる。</p> <p>また、用排水路の分離により農地の排水改良と汎用化が図られることから、高収益作物であるりんどうの作付け面積の拡大が可能となり、地域全体の収益向上が図られる。</p>				
社会経済情勢等の状況	<p>(2) 事業内容</p> <p>区画整理 10.6ha</p> <p>(3) 整備目標等</p> <p>いわて県民計画(2019～2028) 第2期アクションプランー政策推進プランー(令和5年度～令和8年度)</p> <p>VI 仕事・収入</p> <p>37 収益力の高い「食料・木材供給基地」をつくります。</p> <p>④ 生産基盤の着実な整備</p> <p>水田整備面積：【令和3年】15,814ha → 【令和8年】17,300ha</p> <p>(4) 事業計画期間及び総事業費</p> <p>○事業計画期間 : 令和7年度～令和12年度</p> <p>(用地着手予定年度 : 令和8年度、工事着手予定年度 : 令和9年度)</p> <p>○総事業費 : 442百万円</p>				
	<p>(1) 全国の状況</p> <p>国では、令和3年3月に「土地改良長期計画」(計画期間：令和3～7年度)が閣議決定され、「持続的に発展する農業と多様な人が住み続けられる農村の実現に向けて」を基本理念とし、3つの政策課題が掲げられた。</p> <p>その中の、政策課題I「生産基盤の強化による農業の成長産業化」に向けてでは、担い手への農地集積・集約化や生産コストの削減を図る農地の大区画化等の基盤整備、高収益作物の導入による所得の向上などにより、農業経営の安定化や担い手の育成・確保を図っていくこととしている。</p> <p>(2) 本県内の状況</p> <p>県では、平成31年3月に公表した「いわて県民計画(2019～2028)」において、意欲と能力のある経営体を育成し農業振興を図るとともに、収益力の高い「食料供給基地」と一人ひとりにあった暮らし方ができる農村をつくるため、水田の大区画化や排水改良、農業水利施設の長寿命化対策など生産基盤の着実な整備を進めることとしている。</p> <p>(3) 施工地域における状況</p> <p>本地区では、農業従事者の高齢化及び担い手不足に対応するため、個人担い手へ農地利用集積を進め、生産コストの低減、持続可能な営農を展開することとしている。</p> <p>また、個人担い手は、高収益作物であるりんどうの生産を拡大し、地域全体の収益向上を図りながら、効率的・安定的な農業経営の確立に取り組むこととしている。</p>				

自然環境等の状況	(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分 <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手県自然環境保全指針による保全区分 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">C</span></li> <li>・希少野生動植物の生息の有無 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">無</span></li> <li>・埋蔵文化財包蔵地の有無 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">有</span></li> </ul> 3遺跡（駒木遺跡、可能性あり2箇所）を確認
	(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費 <p>事業実施に当たっては、広域振興局で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 動物に対する配慮 対象動物について、移動が可能なものについては隣接地の類似箇所に移動させる。</li> <li>② 植物に対する配慮 対象植物について、近傍で同種の植物が自生している場所に移植する。</li> <li>③ 埋蔵文化財への対応 岩手県教育委員会と分布調査等の協議を実施済。試掘調査等を行う予定。</li> </ol> ○ <u>自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分ごとの保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</u>
項目評価 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">a</span> . b . c	

事業計画の妥当性	(1) 事業に関する指標からみた評価					
		評価指標	区分	配点	評点	備考
	必要性	水田の生産性（市町村）	劣 （該当なし）	15	3.75	
		地区担い手の農地集積目標	65%以上	10	10.00	9.7ha/10.9ha=89.0%
	重要性	地域振興計画との整合性	4項目以上 該当	5	5.00	①市町村発展計画に登載されている ②市町村農振計画と整合が図られている ③市町村の奨励作物を営農計画に位置付けている ④事業管理計画に登載されている
		中心経営体に占める認定農業者の割合（市町村）	55%以上 65%未満	10	4.00	一戸町63.1%
	緊急性	他事業との関連	該当なし	10	0	
		営農上の緊急性	7項目以上 該当	10	10.00	①耕作道が幅員不足 ②畦畔が低く深水管理が出来ない ③排水機能の不備により湿田化 ④排水路が断面不足 ⑤用水の漏水あり ⑥用水確保が不安定 ⑦施設の維持管理費が増加傾向
	効率性	費用便益比（B/C）	1.09以上	10	10.00	総便益428百万円/総費用342百万円=1.25
		10aあたり事業費	2,200千円以上	10	2.00	442,000千円/10.6ha=4,170千円/10a
	熟度	同意率	99%以上	10	10.00	35人/35人=100%（仮同意）
		推進組織の活動状況	非常に積極的	5	5.00	・地区に幅広い団体で構成された推進組織があり、強力なリーダーのもと組織の役割分担が明確化され体制が充実している。 ・定期的な会合がもたれ、積極的な推進活動が行われている。 （非常に積極的）
市町村の支援体制		積極的	5	3.75	・ガイドライン通り、財政支援が行われている。 ・説明会等（同意取得、用地交渉、説明会等）には、ほぼ参加し支援を行っている。 ・市町村の支援体制（担当部署、担当者等）が明確になっている。 （積極的）	
計			100	63.50		
○ <u>事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。</u>						
項目評価 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">a</span> . <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">b</span> . c						

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法：新たな土地改良の効果算定マニュアル（2015年9月）基準年：令和6年度

区 分	金 額 ( 百 万 円 )	備 考
総費用（現在価値化）(C)	342 百万円	
当該事業による費用	305 百万円	
その他費用（関連+資産+再整備）	37 百万円	
総便益額（現在価値化）(B)	428 百万円	
作物生産効果	114 百万円	
営農経費節減効果	289 百万円	
維持管理費節減効果	▲ 3 百万円	
耕作放棄防止効果	5 百万円	
国産農産物安定供給効果	23 百万円	
総費用総便益比(B/C)	1.25	≥ 1.0

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

該当なし

(4) コスト縮減対策の取り組み状況

- ・パイプライン工について、舗装道路下への埋設を回避し、路肩や溝畔に埋設する。
- ・道路工の敷砂利厚については、最小限必要な厚さ10cmとし再生砕石を使用する。

(5) 代替案の比較検討結果

本事業は、水田の大区画化や汎用化、用排水路の整備を行うことにより、大型機械の導入を可能とするなど農業の生産条件の向上を図るものである。

また、農地を団地化することにより農地集積・集約化を促進し、担い手の確保・育成を図るとともに、安定した所得確保により意欲ある経営体を支援するものである。

このように「農業生産基盤の整備」と「経営体の育成」は相互に関連しているため一体的に推進することが必要であり、本事業は「農業生産基盤の整備」と「経営体の育成」を一体的に推進する事業として最も費用対効果が高い事業であることから選定するものである。

(1) 総合評価

総合評価	AA ・ <b>A</b> ・ B ・ C
------	-----------------------

(事業名)経営体育成基盤整備事業 駒木地区

着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	自然環境等の 状況に係る評 価結果	事業に関する指標 からみた評価		参考 B/C
				評価点数	評価結果	
R07	R12	442	a	63.50	b	1.25

○総合評価に係るコメント

・本地区は、稲作を中心とした水田地帯であり、本事業により、農地の区画拡大や農道、用排水路を整備し、大型機械の導入と効率的な用排水管理が可能となる。併せて農地中間管理事業を活用するなどした担い手への農地集積により、農業生産コストの低減と効率的な営農の確立に寄与するものである。また、農地の汎用化に伴い、高収益作物の規模拡大が可能となり、地域全体の収益向上に資するものである。

・「自然環境等の状況」については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」評価とし、また「事業計画の妥当性」については、評価指標の評点の合計が60点以上80点未満となっていることから「b」評価としており、a評価とb評価で構成されていることから、総合評価を「A」とした。

・本事業の目的を達成するためには、現時点で社会経済情勢等の状況や代替案の有無等を総合的に検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、本事業の実施が妥当であると判断した。

総  
合  
評  
価

(2) その他特記事項

特になし。



公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの)

令和6年10月29日作成

事業名	農村地域防災減災事業	(補助)・単独	担当部課名	農林水産部 農村計画課
路線名等	-	地区名	おおつつみ 大堤	市町村 矢巾町
事業概要	〔事業根拠法令等：土地改良法〕			
	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題 本ため池は、下流域の農地186.2haの取水源であるが、令和2～3年に耐震性能照査を実施した結果、レベル1地震動に対する安全性が確保されておらず、地震動による決壊の恐れが判明した。近年特に頻発化している異常気象により、農業被害のみならず、人命、多くの施設及び財産等に甚大な被害が発生する危険にさらされている。</p> <p>○整備によって得られる効果 堤体等の整備を行うことにより、農地・農業用施設及び民家への被害を未然に防止することができ、農業用水の安定供給により農業の持続的発展に大きく寄与する。</p> <p>(2) 事業内容 ため池改修 1式</p> <p>(3) 整備目標等 いわて県民計画(2019～2028)第2期アクションプランー政策推進プランー(令和5年度～令和8年度) VI 仕事・収入 39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります ③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進 農業用ため池の機能診断実施箇所数 【令和3年】113箇所 → 【令和8年】163箇所</p> <p>(4) 事業計画期間及び総事業費 ○事業計画期間 : 令和7年度～令和9年度 (用地着手予定年度：令和7年度、工事着手予定年度：令和8年度) ○総事業費 : 301百万円</p>			
社会経済情勢等の状況	<p>(1) 全国の状況 国では、令和3年3月に「土地改良長期計画」(計画期間：令和3～7年度)が閣議決定され、「持続的に発展する農業と多様な人が住み続けられる農村の実現に向けて」を基本理念とし、3つの政策課題が掲げられた。 その中の、政策課題Ⅲ「農業・農村の強靱化」に向けてでは、農用地の湛水被害等の災害防止と水利施設・ため池の耐震化を進めることとし、基幹的農業用施設の更新や各種防災事業を実施していくこととしている。 また、令和2年10月に、防災重点農業用ため池の決壊による水害その他の災害から国民の生命及び財産を保護するため「防災重点農業ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」が施行されたところである。</p>			
	<p>(2) 本県内の状況 県では、平成31年3月に公表した「いわて県民計画(2019～2028)」において、台風等による被害が頻発する中、自然災害等に強い農山漁村づくりを推進していくため、農業水利施設や治山施設、海岸保全施設、漁港施設の着実な整備と、ハザードマップの作成支援などの市町村や地域住民と連携した防災・減災対策を推進することとしている。 また、令和3年3月、国が定める「防災工事等基本指針」に基づき「防災重点農業用ため池」を指定し、「防災工事等推進計画(R3～R12)」を策定、劣化状況調査及び耐震・豪雨耐性評価を進めるとともに、補強対策が必要なため池の防災工事をすすめて、国土強靱化に寄与することとしている。</p>			
	<p>(3) 施工地域における状況 本ため池は、令和2～3年に耐震性能照査を実施した結果、レベル1地震動に対する安全性が確保されておらず、地震動による決壊の恐れが判明した。近年多発する異常気象による農業被害のほか、施設や人命、財産等への被害も懸念され、早期改修を望まれているものである。</p>			

自然環境等の状況

(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分

- ・岩手県自然環境保全指針による保全区分 **B**
- ・希少野生動植物の生息の有無 **有** 県レッドデータブックDランクの種が生息
- ・埋蔵文化財包蔵地の有無 **無**

(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費

事業実施に当たっては、広域振興局で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進める。

- ① 動物に対する配慮  
今後対象動物が確認された場合、移動が可能なものについては近隣の類似箇所に移動させる。
- ② 植物に対する配慮  
今後対象植物が確認された場合、近隣で同種の植物が自生している場所に移植する。

○ 自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分ごとの保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。

項目評価 **a** . b . c

事業計画の妥当性

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備考
必要性	受益面積	0.5以上～0.75未満	10	6.00	受益面積186.2ha/事業費301百万円=0.62
	被害想定額	1.3以上～1.6未満	10	7.50	想定被害額425百万円/事業費301百万円=1.41
重要性	公共、保全施設の有無	3以上	10	10.00	県道、町道橋、屯所、公民館あり
	岩手県地域防災計画との整合性	有る	10	10.00	「岩手県地域防災計画」第2章災害予防計画、第13節風水害予防計画に掲載有
緊急性	関連事業の有無	なし	10	0.00	なし
	施設危険度	大	20	15.00	【地震時】常時満水位後法0.76<1.2…NG
効率性	費用便益比	1.09以上	20	20.00	総便益1,244百万円/総費用844百万円=1.47
熟度	同意率	99%以上	5	5.00	ため池特措法に基づく防災重点農業用ため池の防災工事のため非申請により実施することについて地元調整済である。
	市町村の支援体制	積極的	5	3.75	・ガイドライン通りに負担している。 ・説明会に参加し支援を行っている。 ・支援体制が明確になっている。 (積極的)
計			100	77.25	

○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。

項目評価 a . **b** . c

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法:新たな土地改良の効果算定マニュアル(2015年9月)

基準年:令和6年度

区 分	金 額 ( 百 万 円 )	備 考
総費用(現在価値化)(C)	844 百万円	
当該事業による費用	254 百万円	
その他費用(関連+資産+再整備)	590 百万円	
総便益額(現在価値化)(B)	1,244 百万円	
作物生産効果	841 百万円	
営農経費節減効果	▲ 157 百万円	
維持管理費節減効果	▲ 8 百万円	
災害防止効果(農業資産)	16 百万円	
災害防止効果(一般資産)	198 百万円	
災害防止効果(公共資産)	148 百万円	
国産農産物安定供給効果	206 百万円	
総費用総便益比(B/C)	1.47	≥ 1.0

事業  
計  
画  
の  
妥  
当  
性

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

特になし。

(4) コスト削減対策の取り組み状況

ため池改修の工法選定において、施工性と経済性に優れる地盤改良工法(中層混合処理方法)を採用する。

(5) 代替案の比較検討結果

地域の営農に必要な用水源を確保しながら、災害を未然に防止する手法は、既存堤体を改修する以外にない。

なお、新たにため池を整備することは、本計画と比較して経済面で劣っている点や事業の長期化を招くため、現計画が適当であると判断した。

(1) 総合評価

総合評価	AA ・ <u>A</u> ・ B ・ C
------	-----------------------

(事業名)農村地域防災減災事業 大堤地区

着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	自然環境等の 状況に係る評 価結果	事業に関する指標 からみた評価		参考 B/C
				評価点数	評価結果	
R07	R09	301	a	77.25	b	1.47

○総合評価に係るコメント

総合評価

・本ため池が決壊した場合には、流域の農地・農業用施設のみならず人家等に被害を及ぼす危険性があることから、早急な対策の実施が求められている。

・「自然環境等の状況」については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」評価、また「事業計画の妥当性」については、評価指標の評定の合計が60点以上80点未満となっていることから「b」評価としており、総合評価を「A」とした。

・本事業の目的を達成するためには、現時点で社会経済情勢等の状況や代替案を検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、本事業の実施が妥当であると判断したものである。

(2) その他特記事項

特になし。

事業名	復旧治山事業	補助・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課											
路線名等		地区名	おいでまち生出町	市町村	久慈市										
事業概要	[事業根拠法令等：森林法第41条]														
	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題 当地区は、久慈市の西部、久慈・閉伊川流域に位置している。令和4年8月の豪雨により、山腹崩壊及び溪岸侵食を起し、道路等に土砂が流出したため、山腹及び荒廃溪流の復旧整備を図る必要がある。</p> <p>○整備によって得られる効果 本事業で土砂の生産、流出を防止するために山腹工及び溪間工を施工することにより、下流域の人家や道路の保全が図られる。</p>														
	<p>(2) 事業内容</p> <p>谷止工3基、山腹工1式</p>														
	<p>(3) 整備目標等</p> <p>いわて県民計画（2019～2028） 第2期アクションプラン-政策推進プラン-（令和5年度～令和8年度） VI 仕事・収入 39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります ③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進 山地災害防止機能が確保された集落数（集落）[累計] 現状値： 995集落（令和3年） 目標値：1,020集落（令和8年）</p>														
社会経済情勢等の状況	<p>(4) 事業計画期間及び総事業費</p> <p>○事業計画期間：令和7年度～令和9年度 (用地着手予定年度：令和7年度、工事着手予定年度：令和8年度) ○総事業費：115 百万円</p>														
	<p>(1) 全国の状況</p> <p>治山事業は、森林の維持造成を通じて、山地災害から国民の生命・財産を保全するとともに、水源の涵養、生活環境の保全・形成等を図る重要な国土保全政策の一つとされている。</p>														
	<p>(2) 本県内の状況</p> <p>治山事業（治山等激甚災害対策特別緊急、山地治山総合対策、流域保全総合治山等、予防治山等）及び県単治山（崩壊地復旧）事業は、荒廃山地、荒廃危険山地等の復旧・整備等を行う事業であり、令和5年度は、本県内54箇所を実施している。</p>														
	<p>(3) 施工地域における状況</p> <p>地区住民からは、土砂災害の恐怖から解放され、安全な生活が営めるよう、早期の対策を強く要望されている。</p> <p>(参考) 予算の動向 令和6年度当初予算の対前年比（当初予算対比）は、1.02となっており、計画的に事業対象箇所を整備することとしている。</p> <p>過去3年間の県当初予算（治山事業費）の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費（百万円）</td> <td>1,197</td> <td>1,309</td> <td>1,338</td> </tr> <tr> <td>対前年比</td> <td>1.00</td> <td>1.09</td> <td>1.02</td> </tr> </tbody> </table>				年度	R4	R5	R6	事業費（百万円）	1,197	1,309	1,338	対前年比	1.00	1.09
年度	R4	R5	R6												
事業費（百万円）	1,197	1,309	1,338												
対前年比	1.00	1.09	1.02												

自然環境等の状況

(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分

- ・自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定状況：無
- ・埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況：無
- ・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分：E  
     生物的環境の評価：1  
     地形・地質、自然環境の評価：1  
     植生及び県レッドデータブック掲載種の状況：無
- ・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会等における確認の有無：無  
     希少野生動植物の生息の確認状況：有

(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費

- ・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、関係機関との協議並びに現地調査を実施し、環境に配慮した事業を進めることとしている。

○ 自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。

項目評価 (a) . b . c

事業計画の妥当性

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備考	
必要性 (20点)	(1)保全対象 ①人家戸数(8点)	・10戸～19戸	8	6	16戸	
	②公共施設(4点)	・1箇所	4	2	自動車学校	
	③道路等(4点)	・国道、県道、鉄道	4	4	国道	
	④河川(4点)	・2級河川	4	2	久慈川	
重要性 (10点)	(1)災害履歴(5点)	・あり	5	3	令和4年8月豪雨	
	(2)他事業との連携(5点)		5	0	該当なし	
緊急性 (40点)	主に山腹工の場合	(1)山腹崩壊危険度 ①山腹の状況(16点)	・亀裂、陥没等あり	16	12	亀裂あり
		②森林の状況(6点)	・幼・老齢林、疎林	6	4	老齢林
		③斜面の傾斜(6点)	・25度～29度	6	4	斜面勾配25度
		④断層等の有無(6点)		6	0	該当なし
		⑤落石の危険性(6点)	・あり	6	4	落石あり
	主に溪間工の場合	(1)崩壊土砂流出危険度 ①山腹崩壊危険度評点(16点)	・20点以上(A)	16	16	山腹崩壊危険度①～⑤の合計点で判定
		②荒廃発生源直下の溪床勾配(8点)	・9度～13度	8	6	溪床勾配12度
		③平均溪床勾配(8点)	・5度～10度	8	6	平均溪床勾配5度
④溪流の荒廃(8点)		・著しい	8	8		
効率性 (30点)	(1)経済性 ・費用便益比(B/C)(20点)	・5以上	20	20	B/C=6.05	
	(2)早期効果度 ・工事期間(10点)	・事業年数が5年以下	10	10	事業期間3年	
計(100点)			100	83		

○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が、80点以上であることから「a」とした。

項目評価 (a) . b . c

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法:林野公共事業における事業評価の手法について(令和6年5月)

基準年:令和6年

区 分		金 額 ( 百 万 円 )	備 考
費用項目	事業費	95.540	
	総費用(C)	95.540	
便益項目	災害防止便益	577.770	
	総便益(B)	577.770	
費用便益比(B/C)		6.05	

事業計画の妥当性

※費用便益分析において地域特性等考慮すべき特記事項

無

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

無

(4) コスト削減対策の取り組み状況

谷止工及び山腹工は、地形や周辺の環境等を考慮し、比較検討により経済的な工法で施工する。

(5) 代替案の比較検討結果

本計画は、荒廃溪流及び山腹崩壊の状況に応じ、必要最低規模かつ最適な構造の谷止工及び山腹工を配置することにより、保安林機能を維持・増進させ、保全対象施設等の保全を図るものであることから、代替案は想定しがたい。

(1) 総合評価

総合評価	AA・A・B・C
------	----------

(事業名) 復旧治山事業 生出町

着手年度	完了予定年度	事業費(百万円)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価		参考B/C
				評価点数	評価結果	
令和7年	令和9年	115	a	83	a	6.05

○総合評価に係るコメント

- ・「自然環境等の状況」 : a
- ・「事業に関する指標から見た評価」 : a

当該事業は、地域の保全を図る上で重要な事業であり、事業実施に当たっては、コスト削減・環境等に配慮するものであること、また、地元住民からの強い要望があり、総合評価が「AA」評価であることから、新規事業として着手することが妥当と判断される。

総合評価

(2) その他特記事項

無



(事業計画期間5年未満かつ総事業費が1億円未満のもの)

令和6年10月8日作成

事業名	復旧治山事業	(補助)・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課	
路線名等		地区名	かわぬき川貫	市町村	久慈市
事業概要	[事業根拠法令等：森林法第41条]				
	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題 当地区は、久慈市の西部、久慈川流域に位置している。令和5年8月の台風第7号により、既設堰堤上流への土砂堆積が確認されたため、被災箇所の早期復旧を図る必要がある。</p> <p>○整備によって得られる効果 本事業で土砂の生産、流出を防止するために溪間工を施工することにより、下流域の人家や道路の保全が図られる。</p>				
	<p>(2) 事業内容</p> <p>谷止工2基</p>				
	<p>(3) 整備目標等</p> <p>いわて県民計画（2019～2028） 第2期アクションプラン-政策推進プラン-（令和5年度～令和8年度） VI 仕事・収入 39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります ③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進 山地災害防止機能が確保された集落数（集落）[累計] 現状値： 995集落（令和3年） 目標値：1,020集落（令和8年）</p>				
自然環境等の状況	<p>(4) 事業計画期間及び総事業費</p> <p>○事業計画期間： 令和7年度～令和9年度 (用地着手予定年度： 令和7年度、工事着手予定年度： 令和8年度) ○総事業費： 75 百万円</p>				
	<p>(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定状況：無</li> <li>・埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況：無</li> <li>・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分：B 生物的環境の評価:4 地形・地質、自然環境の評価:1 植生及び県レッドデータブック掲載種の状況:無</li> <li>・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会等における確認の有無:無 希少野生動植物の生息の確認状況:無</li> </ul> <p>(2) 環境配慮事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、関係機関との協議並びに現地調査を実施し、環境に配慮した事業を進めることとしている。</li> </ul> <p>○ <u>自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</u></p>				
		項目評価 (a) . b . c			

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備考	
必要性 (20点)	(1) 保全対象	・ 10戸～19戸	8	6	19戸	
	①人家戸数(8点)					
	②公共施設(4点)	・ 1箇所	4	2	公民館	
	③道路等(4点)	・ 市町村道	4	2	市道	
重要性 (10点)	④河川(4点)	・ 2級河川	4	2	久慈川	
	(1) 災害履歴(5点)	・ あり	5	3	令和5年台風第7号	
緊急性 (40点)	(2) 他事業との連携(5点)		5	0	該当なし	
	主に山腹工の場合	(1) 山腹崩壊危険度		16	0	該当なし
		①山腹の状況(16点)				
		②森林の状況(6点)	・ 幼・老齢林、疎林	6	4	老齢林
		③斜面の傾斜(6点)	・ 25度～29度	6	4	斜面勾配26度
		④断層等の有無(6点)		6	0	該当なし
	主に溪間工の場合	⑤落石の危険性(6点)		6	0	該当なし
		(1) 崩壊土砂流出危険度	・ 12点未満(C)	16	8	山腹崩壊危険度①～⑤の合計点で判定
		①山腹崩壊危険度評点(16点)				
		②荒廃発生源直下の溪床勾配(8点)	・ 9度～13度	8	6	溪床勾配10度
③平均溪床勾配(8点)		・ 5度～10度	8	6	平均溪床勾配10度	
④溪流の荒廃(8点)	・ あり	8	6	荒廃あり		
効率性 (30点)	(1) 経済性 ・ 費用便益比(B/C)(20点)	・ 5以上	20	20	B/C=8.32	
	(2) 早期効果度 ・ 工事期間(10点)	・ 事業年数が5年以下	10	10	事業期間3年	
計(100点)			100	71		

○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。

項目評価	a	・	(b)	・	c
------	---	---	-----	---	---

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法: 林野公共事業における事業評価の手法について(令和6年5月)

基準年: 令和6年

区分		金額 (百万円)	備考
費用項目	事業費	62.225	
	総費用(C)	62.225	
便益項目	災害防止便益	517.538	
	総便益(B)	517.538	
費用便益比(B/C)		8.32	

総合評価

総合評価	AA	・	(A)	・	B	・	C
------	----	---	-----	---	---	---	---

事業名	復旧治山事業	補助・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課											
路線名等	地区名	つなぎ 繋	市町村	葛巻町											
事業概要	〔事業根拠法令等：森林法第41条〕														
	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題 当地区は、葛巻町の中部、馬淵川上流流域に位置している。令和4年8月の豪雨により、溪岸侵食を起し、人家等に土砂が流出したため、荒廃溪流の復旧整備を図る必要がある。</p> <p>○整備によって得られる効果 本事業で土砂の生産、流出を防止するために溪間工を施工することにより、下流域の人家や道路の保全が図られる。</p>														
	<p>(2) 事業内容</p> <p>谷止工5基</p>														
	<p>(3) 整備目標等</p> <p>いわて県民計画（2019～2028） 第2期アクションプラン-政策推進プラン-（令和5年度～令和8年度） VI 仕事・収入 39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります ③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進 山地災害防止機能が確保された集落数（集落）〔累計〕 現状値： 995集落（令和3年） 目標値：1,020集落（令和8年）</p>														
社会経済情勢等の状況	<p>(4) 事業計画期間及び総事業費</p> <p>○事業計画期間： 令和7年度～令和9年度 （用地着手予定年度： 令和-年度、工事着手予定年度： 令和7年度） ○総事業費： 213 百万円</p>														
	<p>(1) 全国の状況</p> <p>治山事業は、森林の維持造成を通じて、山地災害から国民の生命・財産を保全するとともに、水源の涵養、生活環境の保全・形成等を図る重要な国土保全政策の一つとされている。</p>														
	<p>(2) 本県内の状況</p> <p>治山事業（治山等激甚災害対策特別緊急、山地治山総合対策、流域保全総合治山等、予防治山等）及び県単治山（崩壊地復旧）事業は、荒廃山地、荒廃危険山地等の復旧・整備等を行う事業であり、令和5年度は、本県内54箇所を実施している。</p>														
	<p>(3) 施工地域における状況</p> <p>地区住民からは、土砂災害の恐怖から解放され、安全な生活が営めるよう、早期の対策を強く要望されている。</p> <p>(参考) 予算の動向</p> <p>令和6年度当初予算の対前年比（当初予算対比）は、1.02となっており、計画的に事業対象箇所を整備することとしている。</p> <p>過去3年間の県当初予算（治山事業費）の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費（百万円）</td> <td>1,197</td> <td>1,309</td> <td>1,338</td> </tr> <tr> <td>対前年比</td> <td>1.00</td> <td>1.09</td> <td>1.02</td> </tr> </tbody> </table>				年度	R4	R5	R6	事業費（百万円）	1,197	1,309	1,338	対前年比	1.00	1.09
年度	R4	R5	R6												
事業費（百万円）	1,197	1,309	1,338												
対前年比	1.00	1.09	1.02												

自然環境等の状況

(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分

- ・自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定状況：無
- ・埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況：無
- ・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分：B  
 生物的環境の評価：3  
 地形・地質、自然環境の評価：4  
 植生及び県レッドデータブック掲載種の状況：有
- ・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会等における確認の有無：無  
 希少野生動植物の生息の確認状況：無

(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費

- ・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、関係機関との協議並びに現地調査を実施し、環境に配慮した事業を進めることとしている。

○ 自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。

項目評価 a . b . c

事業計画の妥当性

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備考	
必要性 (20点)	(1)保全対象 ①人家戸数(8点)	・5戸～9戸	8	4	6戸	
	②公共施設(4点)		4	0	該当なし	
	③道路等(4点)	・市町村道	4	2	町道	
	④河川(4点)	・1級河川	4	4	山形川	
重要性 (10点)	(1)災害履歴(5点)	・あり	5	3	令和4年8月豪雨	
	(2)他事業との連携(5点)		5	0	該当なし	
緊急性 (40点)	主に山腹工の場合	(1)山腹崩壊危険度 ①山腹の状況(16点)		16	0	該当なし
		②森林の状況(6点)	・幼・老齢林、疎林	6	4	老齢林
		③斜面の傾斜(6点)	・30度以上	6	6	斜面勾配35度
		④断層等の有無(6点)		6	0	該当なし
		⑤落石の危険性(6点)	・あり	6	4	落石あり
	主に溪間工の場合	(1)崩壊土砂流出危険度 ①山腹崩壊危険度評点(16点)	・12点～19点(B)	16	12	山腹崩壊危険度①～⑤の合計点で判定
		②荒廃発生源直下の溪床勾配(8点)	・14度以上	8	8	溪床勾配28度
		③平均溪床勾配(8点)	・11度以上	8	8	平均溪床勾配22度
④溪流の荒廃(8点)	・著しい	8	8			
効率性 (30点)	(1)経済性 ・費用便益比(B/C)(20点)	・1以上～3未満	20	10	B/C=1.52	
	(2)早期効果度 ・工事期間(10点)	・事業年数が5年以下	10	10	事業期間3年	
計(100点)			100	69		

○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。

項目評価 a . b . c

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法:林野公共事業における事業評価の手法について(令和6年5月)

基準年:令和6年

区 分		金 額 ( 百 万 円 )	備 考
費用項目	事業費	178.125	
	総費用(C)	178.125	
便益項目	災害防止便益	270.768	
	総便益(B)	270.768	
費用便益比(B/C)		1.52	

事業計画の妥当性

※費用便益分析において地域特性等考慮すべき特記事項

無

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

無

(4) コスト削減対策の取り組み状況

谷止工は、地形や周辺の環境等を考慮し、比較検討により経済的な工法で施工する。

(5) 代替案の比較検討結果

本計画は、荒廃溪流の状況に応じ、必要最低規模かつ最適な構造の谷止工を配置することにより、保安林機能を維持・増進させ、保全対象施設等の保全を図るものであることから、代替案は想定しがたい。

(1) 総合評価

総合評価	AA ・ A ・ B ・ C
------	----------------

(事業名) 復旧治山事業 繫

着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価		参考 B/C
				評価点数	評価結果	
令和7年	令和9年	213	a	69	b	1.52

○総合評価に係るコメント

- ・「自然環境等の状況」 : a
- ・「事業に関する指標から見た評価」 : b

当該事業は、地域の保全を図る上で重要な事業であり、事業実施に当たっては、コスト縮減・環境等に配慮するものであること、また、地元住民からの強い要望があり、総合評価が「A」評価であることから、新規事業として着手することが妥当と判断される。

総合評価

(2) その他特記事項

無

(事業計画期間5年未満かつ総事業費が1億円未満のもの)

令和6年10月8日作成

事業名	復旧治山事業	(補助)・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課			
路線名等		地区名	たのわか田岡	市町村	一戸町		
事業概要	[事業根拠法令等：森林法第41条]						
	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題 当地区は、一戸町の南部に位置している。令和4年8月の豪雨等により溪岸浸食を起こし溪流内に不安定土砂が多く見られることから、今後の大雨等により災害が発生する危険性があるため、早期対策が必要である。</p> <p>○整備によって得られる効果 本事業で土砂の生産、流出を防止するために溪間工を施工することにより、下流域の人家や道路の保全が図られる。</p>						
	<p>(2) 事業内容</p> <p>谷止工3基</p>						
	<p>(3) 整備目標等</p> <p>いわて県民計画(2019~2028) 第2期アクションプラン-政策推進プラン- (令和5年度~令和8年度) VI 仕事・収入 39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります ③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進 山地災害防止機能が確保された集落数(集落)[累計] 現状値：995集落(令和3年) 目標値：1,020集落(令和8年)</p>						
<p>(4) 事業計画期間及び総事業費</p> <p>○事業計画期間：令和7年度~令和9年度 (用地着手予定年度：令和7年度、工事着手予定年度：令和7年度) ○総事業費：90百万円</p>							
自然環境等の状況	<p>(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定状況：無</li> <li>・埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況：有</li> <li>・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分：A 生物的環境の評価：1 地形・地質、自然環境の評価：2 植生及び県レッドデータブック掲載種の状況：無</li> <li>・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会等における確認の有無：無 希少野生動植物の生息の確認状況：無</li> </ul>						
	<p>(2) 環境配慮事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・埋蔵文化財が確認されているため、県教育委員会と協議して進めることとしている。</li> <li>・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、関係機関との協議並びに現地調査を実施し、環境に配慮した事業を進めることとしている。</li> </ul> <p>○ <u>自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</u></p>						
<table border="1" style="margin-left: auto;"> <tr> <td>項目評価</td> <td style="text-align: center;">a</td> <td style="text-align: center;">b</td> <td style="text-align: center;">c</td> </tr> </table>				項目評価	a	b	c
項目評価	a	b	c				

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備考	
必要性 (20点)	(1) 保全対象	・ 10戸～19戸	8	6	10戸	
	①人家戸数(8点)					
	②公共施設(4点)		4	0	該当なし	
	③道路等(4点)	・ その他道路	4	1	町道	
	④河川(4点)	・ 1級河川	4	4	平糠川	
重要性 (10点)	(1) 災害履歴(5点)	・ 著しい	5	5	令和4年8月豪雨	
	(2) 他事業との連携(5点)		5	0	該当なし	
緊急性 (40点)	主に山腹工の場合	(1) 山腹崩壊危険度		16	0	該当なし
		①山腹の状況(16点)				
		②森林の状況(6点)	・ 幼・老齢林、疎林	6	4	老齢林
		③斜面の傾斜(6点)	・ 30度以上	6	6	斜面勾配30度
		④断層等の有無(6点)		6	0	該当なし
		⑤落石の危険性(6点)		6	0	該当なし
	主に溪間工の場合	(1) 崩壊土砂流出危険度	・ 12点未満(C)	16	8	山腹崩壊危険度①～⑤の合計点で判定
		①山腹崩壊危険度評点(16点)				
②荒廃発生源直下の溪床勾配(8点)		・ 9度～13度	8	6	溪床勾配10度	
③平均溪床勾配(8点)		・ 5度～10度	8	6	平均溪床勾配6度	
	④溪流の荒廃(8点)	・ 著しい	8	8		
効率性 (30点)	(1) 経済性 ・ 費用便益比(B/C)(20点)	・ 3以上～5未満	20	15	B/C=4.00	
	(2) 早期効果度 ・ 工事期間(10点)	・ 事業年数が5年以下	10	10	事業期間3年	
計(100点)			100	69		

○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。

項目評価	a	・	(b)	・	c
------	---	---	-----	---	---

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法: 林野公共事業における事業評価の手法について(令和6年5月)

基準年: 令和6年

区 分		金 額 ( 百 万 円 )	備 考
費用項目	事業費	75.783	
	総費用(C)	75.783	
便益項目	災害防止便益	303.164	
	総便益(B)	303.164	
費用便益比(B/C)		4.00	

総合評価

総合評価	AA	・	(A)	・	B	・	C
------	----	---	-----	---	---	---	---



(事業計画期間5年未満かつ総事業費が1億円未満のもの)

令和6年10月8日作成

事業名	復旧治山事業	(補助)・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課
路線名等		地区名	みどり緑区(2)	市町村
				普代村
事業概要	[事業根拠法令等：森林法第41条]			
	(1) 事業目的			
	○解決すべき課題 当地区は、普代村の中心部に位置している。令和5年8月の台風第7号により、溪岸侵食及び山腹崩壊を起こし、人家等に土砂が流出したため、荒廃溪流の復旧整備を図る必要がある。 ○整備によって得られる効果 本事業で土砂の生産、流出を防止するために溪間工を施工することにより、下流域の人家や道路の保全が図られる。			
	(2) 事業内容			
谷止工2基, 山腹工1式				
(3) 整備目標等				
いわて県民計画(2019~2028) 第2期アクションプラン-政策推進プラン- (令和5年度~令和8年度) VI 仕事・収入 39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります ③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進 山地災害防止機能が確保された集落数(集落)[累計] 現状値：995集落(令和3年) 目標値：1,020集落(令和8年)				
(4) 事業計画期間及び総事業費				
○事業計画期間：令和7年度~令和9年度 (用地着手予定年度：令和-年度、工事着手予定年度：令和7年度) ○総事業費：90百万円				
自然環境等の状況	(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分			
	・自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定状況：無 ・埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況：無 ・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分：B 生物的環境の評価：4 地形・地質、自然環境の評価：4 植生及び県レッドデータブック掲載種の状況：無 ・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会等における確認の有無：無 希少野生動植物の生息の確認状況：無			
(2) 環境配慮事項				
・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、関係機関との協議並びに現地調査を実施し、環境に配慮した事業を進めることとしている。				
○ <u>自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</u>				
項目評価 (a) . b . c				

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備考	
必要性 (20点)	(1) 保全対象	・ 5戸～ 9戸	8	4	5戸	
	①人家戸数(8点)		4	0	該当なし	
	②公共施設(4点)		4	2	村道	
	④河川(4点)	・ 2級河川	4	2	普代川	
重要性 (10点)	(1) 災害履歴(5点)	・ 著しい	5	5	令和5年台風第7号	
	(2) 他事業との連携(5点)		5	0	該当なし	
緊急性 (40点)	主に山腹工の場合	(1) 山腹崩壊危険度	・ 明瞭な亀裂、陥没、異常な地下水等あり	16	16	明瞭な亀裂あり
		①山腹の状況(16点)		6	2	普通林
		②森林の状況(6点)	・ その他	6	4	斜面勾配26度
		③斜面の傾斜(6点)	・ 2.5度～2.9度	6	0	該当なし
		④断層等の有無(6点)		6	4	落石あり
	主に溪間工の場合	(1) 崩壊土砂流出危険度	・ 2.0点以上(A)	16	16	山腹崩壊危険度①～⑤の合計点で判定
		①山腹崩壊危険度評点(16点)	・ 9度～1.3度	8	6	溪床勾配11度
		②荒廃発生源直下の溪床勾配(8点)	・ 5度～1.0度	8	6	平均溪床勾配8度
③平均溪床勾配(8点)		・ 著しい	8	8		
効率性 (30点)	(1) 経済性 ・ 費用便益比(B/C)(20点)	・ 1以上～3未満	20	10	B/C=2.77	
	(2) 早期効果度 ・ 工事期間(10点)	・ 事業年数が5年以下	10	10	事業期間3年	
計(100点)			100	69		

○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。

項目評価	a	・	(b)	・	c
------	---	---	-----	---	---

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法: 林野公共事業における事業評価の手法について(令和6年5月)

基準年: 令和6年

区分	金額 (百万円)	備考
費用項目	事業費	75.349
	総費用(C)	75.349
便益項目	災害防止便益	208.816
	総便益(B)	208.816
費用便益比(B/C)	2.77	

総合評価

総合評価	AA	・	(A)	・	B	・	C
------	----	---	-----	---	---	---	---

事業名	復旧治山事業	補助・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課	
路線名等		地区名	こやち小谷地	市町村	野田村

〔事業根拠法令等：森林法第41条〕

**(1) 事業目的**

○解決すべき課題  
 当地区は、野田村の東部、久慈・閉伊川流域に位置している。令和5年2月に山腹崩壊が発生し、野田漁港や道路に土砂が流出したため、山腹の復旧整備を図る必要がある。

○整備によって得られる効果  
 本事業で土砂の生産、流出を防止するために山腹工を施工することにより、下流域の漁港の保全が図られる。

**(2) 事業内容**

山腹工1式

**(3) 整備目標等**

いわて県民計画（2019～2028）  
 第2期アクションプラン-政策推進プラン-（令和5年度～令和8年度）  
 VI 仕事・収入  
 39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります  
 ③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進  
 山地災害防止機能が確保された集落数（集落）〔累計〕  
 現状値： 995集落（令和3年）  
 目標値：1,020集落（令和8年）

**(4) 事業計画期間及び総事業費**

○事業計画期間： 令和7年度～令和10年度  
 （用地着手予定年度：令和7年度、工事着手予定年度：令和8年度）  
 ○総事業費： 200 百万円

**(1) 全国の状況**

治山事業は、森林の維持造成を通じて、山地災害から国民の生命・財産を保全するとともに、水源の涵養、生活環境の保全・形成等を図る重要な国土保全政策の一つとされている。

**(2) 本県内の状況**

治山事業（治山等激甚災害対策特別緊急、山地治山総合対策、流域保全総合治山等、予防治山等）及び県単治山（崩壊地復旧）事業は、荒廃山地、荒廃危険山地等の復旧・整備等を行う事業であり、令和5年度は、本県内54箇所を実施している。

**(3) 施工地域における状況**

地区住民からは、土砂災害の恐怖から解放され、安全な生活が営めるよう、早期の対策を強く要望されている。

**(参考) 予算の動向**

令和6年度当初予算の対前年比（当初予算対比）は、1.02となっており、計画的に事業対象箇所を整備することとしている。

過去3年間の県当初予算（治山事業費）の状況

年度	R4	R5	R6
事業費（百万円）	1,197	1,309	1,338
対前年比	1.00	1.09	1.02

自然環境等の状況

(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分

- ・自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定状況：無
- ・埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況：無
- ・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分：C  
 生物的環境の評価：1  
 地形・地質、自然環境の評価：1  
 植生及び県レッドデータブック掲載種の状況：無
- ・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会等における確認の有無：無  
 希少野生動植物の生息の確認状況：無

(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費

- ・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、関係機関との協議並びに現地調査を実施し、環境に配慮した事業を進めることとしている。

○ 自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。

項目評価 a . b . c

事業計画の妥当性

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備考	
必要性 (20点)	(1) 保全対象		8	0	該当なし	
	① 人家戸数 (8点)					
	② 公共施設 (4点)	・ 1 箇所	4	2	野田漁港	
	③ 道路等 (4点)	・ その他道路	4	1	臨港道路	
重要性 (10点)	(1) 災害履歴 (5点)	・ 著しい	5	5	令和5年2月	
	(2) 他事業との連携 (5点)		5	0	該当なし	
緊急性 (40点)	主に山腹工の場合	(1) 山腹崩壊危険度	・ 明瞭な亀裂、陥没、異常な地下水等あり	16	16	明瞭な亀裂あり
		① 山腹の状況 (16点)				
		② 森林の状況 (6点)	・ 無立木地	6	6	無立木地
		③ 斜面の傾斜 (6点)	・ 25度～29度	6	4	斜面勾配25度
		④ 断層等の有無 (6点)		6	0	該当なし
	⑤ 落石の危険性 (6点)	・ 著しい	6	6	山腹斜面崩壊	
	主に溪間工の場合	(1) 崩壊土砂流出危険度		16		山腹崩壊危険度①～⑤の合計点で判定
		① 山腹崩壊危険度評点 (16点)				
② 荒廃発生源直下の溪床勾配 (8点)			8			
③ 平均溪床勾配 (8点)			8			
④ 溪流の荒廃 (8点)		8				
効率性 (30点)	(1) 経済性 ・ 費用便益比 (B/C) (20点)	・ 1以上～3未満	20	10	B/C=1.54	
	(2) 早期効果度 ・ 工事期間 (10点)	・ 事業年数が5年以下	10	10	事業期間4年	
計 (100点)			100	62		

○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。

項目評価 a . b . c

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法:林野公共事業における事業評価の手法について(令和6年5月)

基準年:令和6年

区 分		金 額 ( 百 万 円 )	備 考
費用項目	事業費	163.199	
	総費用(C)	163.199	
便益項目	災害防止便益	250.699	
	総便益(B)	250.699	
費用便益比(B/C)		1.54	

事業計画の妥当性

※費用便益分析において地域特性等考慮すべき特記事項

無

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

無

(4) コスト削減対策の取り組み状況

山腹工は、地形や周辺の環境等を考慮し、比較検討により経済的な工法で施工する。

(5) 代替案の比較検討結果

本計画は、山腹崩壊の状況に応じ、必要最低規模かつ最適な構造の山腹工を配置することにより、保安林機能を維持・増進させ、保全対象施設等の保全を図るものであることから、代替案は想定しがたい。

(1) 総合評価

総合評価	AA ・ A ・ B ・ C
------	----------------

(事業名) 復旧治山事業 小谷地

着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価		参考 B/C
				評価点数	評価結果	
令和7年	令和10年	200	a	62	b	1.54

○総合評価に係るコメント

- ・「自然環境等の状況」 : a
- ・「事業に関する指標から見た評価」 : b

当該事業は、地域の保全を図る上で重要な事業であり、事業実施に当たっては、コスト縮減・環境等に配慮するものであること、また、地元住民からの強い要望があり、総合評価が「A」評価であることから、新規事業として着手することが妥当と判断される。

総合評価

(2) その他特記事項

無

(事業計画期間5年未満かつ総事業費が1億円未満のもの)

令和6年10月8日作成

事業名	緊急予防治山事業	(補助)・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課			
路線名等		地区名	こがね川	市町村	釜石市		
事業概要	[事業根拠法令等：森林法第41条]						
	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題 当地区は、釜石市の北部に位置している。令和5年8月の台風第7号により、溪岸侵食を起し、人家等に土砂が流出したため、荒廃溪流の復旧整備を図る必要がある。</p> <p>○整備によって得られる効果 本事業で土砂の生産、流出を防止するために溪間工を施工することにより、下流域の人家や道路の保全が図られる。</p>						
	<p>(2) 事業内容</p> <p>谷止工1基</p>						
	<p>(3) 整備目標等</p> <p>いわて県民計画（2019～2028） 第2期アクションプラン-政策推進プラン-（令和5年度～令和8年度） VI 仕事・収入 39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります ③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進 山地災害防止機能が確保された集落数（集落）[累計] 現状値： 995集落（令和3年） 目標値：1,020集落（令和8年）</p>						
自然環境等の状況	<p>(4) 事業計画期間及び総事業費</p> <p>○事業計画期間： 令和7年度～令和7年度 (用地着手予定年度： 令和-年度、工事着手予定年度： 令和7年度) ○総事業費： 40 百万円</p>						
	<p>(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定状況：無</li> <li>・埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況：無</li> <li>・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分：B 生物的環境の評価：4 地形・地質、自然環境の評価：4 植生及び県レッドデータブック掲載種の状況：有</li> <li>・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会等における確認の有無：無 希少野生動植物の生息の確認状況：無</li> </ul>						
	<p>(2) 環境配慮事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、関係機関との協議並びに現地調査を実施し、環境に配慮した事業を進めることとしている。</li> </ul> <p>○ <u>自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</u></p>						
<table border="1" style="margin-left: auto;"> <tr> <td>項目評価</td> <td style="text-align: center;">(a)</td> <td style="text-align: center;">b</td> <td style="text-align: center;">c</td> </tr> </table>				項目評価	(a)	b	c
項目評価	(a)	b	c				

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備考					
必要性 (20点)	(1) 保全対象	・ 10戸～19戸	8	6	10戸					
	①人家戸数(8点)									
	②公共施設(4点)									
	③道路等(4点)									
	④河川(4点)	・ 2級河川	4	2	小川川					
重要性 (10点)	(1) 災害履歴(5点)	・ 著しい	5	5	令和5年台風第7号					
	(2) 他事業との連携(5点)		5	0	該当なし					
緊急性 (40点)	主に山腹工の場合	(1) 山腹崩壊危険度		16	0	該当なし				
		①山腹の状況(16点)								
		②森林の状況(6点)					・ その他	6	2	普通林
		③斜面の傾斜(6点)					・ 30度以上	6	6	斜面勾配35度
		④断層等の有無(6点)						6	0	該当なし
		⑤落石の危険性(6点)	・ あり	6	4	落石あり				
	主に溪間工の場合	(1) 崩壊土砂流出危険度	・ 12点～19点(B)	16	12	山腹崩壊危険度①～⑤の合計点で判定				
		①山腹崩壊危険度評点(16点)								
②荒廃発生源直下の溪床勾配(8点)		・ 14度以上					8	8	溪床勾配18度	
③平均溪床勾配(8点)		・ 11度以上					8	8	平均溪床勾配24度	
	④溪流の荒廃(8点)	・ あり	8	6	荒廃あり					
効率性 (30点)	(1) 経済性 ・ 費用便益比(B/C)(20点)	・ 5以上	20	20	B/C=8.18					
	(2) 早期効果度 ・ 工事期間(10点)	・ 事業年数が5年以下	10	10	事業期間1年					
計(100点)			100	79						

○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。

項目評価	a	・	(b)	・	c
------	---	---	-----	---	---

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法: 林野公共事業における事業評価の手法について(令和6年5月)

基準年: 令和6年

区分	金額 (百万円)	備考
費用項目	事業費	34.963
	総費用(C)	34.963
便益項目	災害防止便益	285.958
	総便益(B)	285.958
費用便益比(B/C)	8.18	

総合評価

総合評価	AA	・	(A)	・	B	・	C
------	----	---	-----	---	---	---	---



(事業計画期間5年未満かつ総事業費が1億円未満のもの)

令和6年10月8日作成

事業名	緊急予防治山事業	(補助)・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課					
路線名等		地区名	いたて 右立	市町村	岩泉町				
事業概要	[事業根拠法令等：森林法第41条]								
	(1) 事業目的								
	<p>○解決すべき課題 当地区は、岩泉町の西部に位置している。令和5年8月の台風第7号により、溪岸侵食を起し、人家等に土砂が流出したため、荒廃溪流の復旧整備を図る必要がある。</p> <p>○整備によって得られる効果 本事業で土砂の生産、流出を防止するために溪間工を施工することにより、下流域の人家や道路の保全が図られる。</p>								
	(2) 事業内容								
谷止工2基									
(3) 整備目標等									
<p>いわて県民計画（2019～2028） 第2期アクションプラン-政策推進プラン-（令和5年度～令和8年度） VI 仕事・収入 39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります ③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進 山地災害防止機能が確保された集落数（集落）[累計] 現状値： 995集落（令和3年） 目標値：1,020集落（令和8年）</p>									
(4) 事業計画期間及び総事業費									
<p>○事業計画期間： 令和7年度～令和9年度 （用地着手予定年度： 令和-年度、工事着手予定年度： 令和7年度） ○総事業費： 68 百万円</p>									
自然環境等の状況	(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分								
	<p>・自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定状況：無</p> <p>・埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況：無</p> <p>・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分：B 生物的環境の評価：4 地形・地質、自然環境の評価：4 植生及び県レッドデータブック掲載種の状況：無</p> <p>・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会等における確認の有無：無 希少野生動植物の生息の確認状況：無</p>								
(2) 環境配慮事項									
<p>・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、関係機関との協議並びに現地調査を実施し、環境に配慮した事業を進めることとしている。</p>									
<p>○ <u>自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</u></p>									
<table border="1" style="margin-left: auto;"> <tr> <td>項目評価</td> <td style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">a</td> <td>.</td> <td>b</td> <td>.</td> <td>c</td> </tr> </table>				項目評価	a	.	b	.	c
項目評価	a	.	b	.	c				

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備考	
必要性 (20点)	(1) 保全対象	・ 10戸～19戸	8	6	16戸	
	①人家戸数(8点)					
	②公共施設(4点)		4	0	該当なし	
	③道路等(4点)	・ 市町村道	4	2	町道	
	④河川(4点)	・ その他河川	4	1	石立沢	
重要性 (10点)	(1) 災害履歴(5点)	・ あり	5	3	令和5年台風第7号	
	(2) 他事業との連携(5点)		5	0	該当なし	
緊急性 (40点)	主に山腹工の場合	(1) 山腹崩壊危険度	・ 亀裂、陥没等あり	16	12	亀裂あり
		①山腹の状況(16点)				
		②森林の状況(6点)	・ 幼・老齢林、疎林	6	4	老齢林
		③斜面の傾斜(6点)	・ 25度～29度	6	4	斜面勾配25度
		④断層等の有無(6点)		6	0	該当なし
	⑤落石の危険性(6点)		6	0	該当なし	
	主に溪間工の場合	(1) 崩壊土砂流出危険度	・ 20点以上(A)	16	16	山腹崩壊危険度①～⑤の合計点で判定
		①山腹崩壊危険度評点(16点)				
②荒廃発生源直下の溪床勾配(8点)		・ 9度～13度	8	6	溪床勾配12度	
③平均溪床勾配(8点)		・ 5度～10度	8	6	平均溪床勾配7度	
	④溪流の荒廃(8点)	・ 著しい	8	8		
効率性 (30点)	(1) 経済性 ・ 費用便益比(B/C)(20点)	・ 5以上	20	20	B/C=7.97	
	(2) 早期効果度 ・ 工事期間(10点)	・ 事業年数が5年以下	10	10	事業期間3年	
計(100点)			100	78		

○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。

項目評価	a	.	(b)	.	c
------	---	---	-----	---	---

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法: 林野公共事業における事業評価の手法について(令和6年5月)

基準年: 令和6年

区 分		金 額 ( 百 万 円 )	備 考
費用項目	事業費	56.451	
	総費用(C)	56.451	
便益項目	災害防止便益	449.893	
	総便益(B)	449.893	
費用便益比(B/C)		7.97	

総合評価

総合評価	AA	.	(A)	.	B	.	C
------	----	---	-----	---	---	---	---

(事業計画期間5年未満かつ総事業費が1億円未満のもの)

令和6年10月8日作成

事業名	緊急予防治山事業	(補助) 単独	担当部課名	農林水産部森林保全課		
路線名等		地区名	いんべえさわ 新兵エ沢	市町村	二戸市	
事業概要	[事業根拠法令等：森林法第41条]					
	(1) 事業目的					
	○解決すべき課題 当地区は、二戸市の東部に位置している。溪岸浸食及び不安定土砂が見られることから、今後の大雨等により災害が発生する危険性があるため、早期対策が必要である。 ○整備によって得られる効果 本事業で土砂の生産、流出を防止するために溪間工を施工することにより、下流域の人家や道路の保全が図られる。					
	(2) 事業内容					
事業概要	谷止工1基					
	(3) 整備目標等					
	いわて県民計画（2019～2028） 第2期アクションプラン-政策推進プラン-（令和5年度～令和8年度） VI 仕事・収入 39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります ③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進 山地災害防止機能が確保された集落数（集落）[累計] 現状値： 995集落（令和3年） 目標値：1,020集落（令和8年）					
	(4) 事業計画期間及び総事業費					
○事業計画期間： 令和7年度～令和8年度 （用地着手予定年度： 令和7年度、工事着手予定年度： 令和7年度） ○総事業費： 41 百万円						
自然環境等の状況	(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定状況：無</li> <li>・埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況：無</li> <li>・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分：A                      生物的環境の評価:6                      地形・地質、自然環境の評価:2                      植生及び県レッドデータブック掲載種の状況:無</li> <li>・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会等における確認の有無:無                      希少野生動植物の生息の確認状況:無</li> </ul>					
(2) 環境配慮事項						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、関係機関との協議並びに現地調査を実施し、環境に配慮した事業を進めることとしている。</li> </ul> <p>○ <u>自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</u></p>						
項目評価 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">a</td> <td style="width: 20px; text-align: center;">b</td> <td style="width: 20px; text-align: center;">c</td> </tr> </table>				a	b	c
a	b	c				

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備考					
必要性 (20点)	(1) 保全対象	・ 5戸～ 9戸	8	4	8戸					
	①人家戸数(8点)									
	②公共施設(4点)									
	③道路等(4点)									
	④河川(4点)	・ 1級河川	4	4	白鳥川					
重要性 (10点)	(1) 災害履歴(5点)		5	0	該当なし					
	(2) 他事業との連携(5点)		5	0	該当なし					
緊急性 (40点)	主に山腹工の場合	(1) 山腹崩壊危険度		16	0	該当なし				
		①山腹の状況(16点)								
		②森林の状況(6点)					・ 幼・老齢林、疎林	6	4	老齢林
		③斜面の傾斜(6点)					・ 25度～29度	6	4	斜面勾配26度
		④断層等の有無(6点)						6	0	該当なし
		⑤落石の危険性(6点)		6	0	該当なし				
	主に溪間工の場合	(1) 崩壊土砂流出危険度	・ 12点未満(C)	16	8	山腹崩壊危険度①～⑤の合計点で判定				
		①山腹崩壊危険度評点(16点)								
②荒廃発生源直下の溪床勾配(8点)		・ 9度～13度					8	6	溪床勾配10度	
③平均溪床勾配(8点)		・ 5度～10度					8	6	平均溪床勾配8度	
	④溪流の荒廃(8点)	・ あり	8	6	荒廃あり					
効率性 (30点)	(1) 経済性 ・ 費用便益比(B/C)(20点)	・ 5以上	20	20	B/C=8.65					
	(2) 早期効果度 ・ 工事期間(10点)	・ 事業年数が5年以下	10	10	事業期間1年					
計(100点)			100	70						

○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。

項目評価	a	・	(b)	・	c
------	---	---	-----	---	---

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法: 林野公共事業における事業評価の手法について(令和6年5月)

基準年: 令和6年

区分		金額 (百万円)	備考
費用項目	事業費	34,664	
	総費用(C)	34,664	
便益項目	災害防止便益	300,008	
	総便益(B)	300,008	
費用便益比(B/C)		8.65	

総合評価

総合評価	AA	・	(A)	・	B	・	C
------	----	---	-----	---	---	---	---

(事業計画期間5年未満かつ総事業費が1億円未満のもの)

令和6年10月8日作成

事業名	緊急予防治山事業	(補助)・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課				
路線名等		地区名	やまおはた 山大畑	市町村	奥州市			
[事業根拠法令等：森林法第41条]								
事業概要	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題 当地区は、奥州市の東部に位置している。溪岸浸食及び不安定土砂が見られることから、今後の大雨等により災害が発生する危険性があるため、早期対策が必要である。</p> <p>○整備によって得られる効果 本事業で土砂の生産、流出を防止するために溪間工を施工することにより、下流域の人家や道路等の保全が図られる。</p>							
	<p>(2) 事業内容</p> <p>谷止工1基</p>							
	<p>(3) 整備目標等</p> <p>いわて県民計画（2019～2028） 第2期アクションプラン-政策推進プラン-（令和5年度～令和8年度） VI 仕事・収入 39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります ③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進 山地災害防止機能が確保された集落数（集落）[累計] 現状値： 995集落（令和3年） 目標値：1,020集落（令和8年）</p>							
	<p>(4) 事業計画期間及び総事業費</p> <p>○事業計画期間： 令和 7年度～ 令和 7年度 （用地着手予定年度： 令和7年度、工事着手予定年度： 令和7年度） ○総事業費： 25 百万円</p>							
自然環境等の状況	<p>(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定状況：無</li> <li>・埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況：無</li> <li>・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分：B 生物的環境の評価:3 地形・地質、自然環境の評価:4 植生及び県レッドデータブック掲載種の状況:有</li> <li>・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会等における確認の有無:無 希少野生動植物の生息の確認状況:無</li> </ul>							
	<p>(2) 環境配慮事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、関係機関との協議並びに現地調査を実施し、環境に配慮した事業を進めることとしている。</li> </ul> <p>○ <u>自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</u></p>							
<table border="1" style="margin-left: auto;"> <tr> <td>項目評価</td> <td style="text-align: center;">a</td> <td style="text-align: center;">b</td> <td style="text-align: center;">c</td> </tr> </table>					項目評価	a	b	c
項目評価	a	b	c					

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備考				
必要性 (20点)	(1) 保全対象	・1戸～4戸	8	2	4戸				
	①人家戸数(8点)								
	②公共施設(4点)		4	0	該当なし				
	③道路等(4点)	・市町村道	4	2	市道				
	④河川(4点)	・その他河川	4	1	中沢川				
重要性 (10点)	(1) 災害履歴(5点)		5	0	該当なし				
	(2) 他事業との連携(5点)		5	0	該当なし				
緊急性 (40点)	主に山腹工の場合	(1) 山腹崩壊危険度		16	0	該当なし			
		①山腹の状況(16点)							
		②森林の状況(6点)	・その他				6	2	その他
		③斜面の傾斜(6点)	・25度～29度				6	4	斜面勾配26度
		④断層等の有無(6点)					6	0	該当なし
	⑤落石の危険性(6点)		6	0	該当なし				
	主に溪間工の場合	(1) 崩壊土砂流出危険度	・12点未満(C)	16	8	山腹崩壊危険度①～⑤の合計点で判定			
		①山腹崩壊危険度評点(16点)							
②荒廃発生源直下の溪床勾配(8点)		・14度以上					8	8	溪床勾配25度
③平均溪床勾配(8点)		・5度～10度					8	6	平均溪床勾配9度
④溪流の荒廃(8点)	・あり	8	6	荒廃あり					
効率性 (30点)	(1) 経済性 ・費用便益比(B/C)(20点)	・5以上	20	20	B/C=7.17				
	(2) 早期効果度 ・工事期間(10点)	・事業年数が5年以下	10	10	事業期間1年				
計(100点)			100	63					

○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。

項目評価	a	・	(b)	・	c
------	---	---	-----	---	---

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法: 林野公共事業における事業評価の手法について(令和6年5月)

基準年: 令和6年

区 分		金 額 ( 百 万 円 )	備 考
費用項目	事業費	21.852	
	総費用(C)	21.852	
便益項目	災害防止便益	156.664	
	総便益(B)	156.664	
費用便益比(B/C)		7.17	

総合評価

総合評価	AA	・	(A)	・	B	・	C
------	----	---	-----	---	---	---	---

(事業計画期間5年未満かつ総事業費が1億円未満のもの)

令和6年10月8日作成

事業名	緊急予防治山事業	(補助)・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課			
路線名等		地区名	はれまざわ 晴間沢	市町村	九戸村		
事業概要	[事業根拠法令等：森林法第41条]						
	(1) 事業目的						
	<p>○解決すべき課題 当地区は、九戸村の南部に位置している。既設堰堤工（昭和37年施工）の損傷が著しいことや上流部の溪岸浸食による不安定土砂が確認されることから、今後の大雨等により災害が発生する危険性があるため、早期対策が必要である。</p> <p>○整備によって得られる効果 本事業で土砂の生産、流出を防止するために溪間工を施工することにより、下流域の道路や農地及び河川の保全が図られる。</p>						
	(2) 事業内容						
<p>谷止工1基、既設堰堤工補修1式</p>							
(3) 整備目標等							
<p>いわて県民計画（2019～2028） 第2期アクションプラン-政策推進プラン-（令和5年度～令和8年度） VI 仕事・収入 39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります ③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進 山地災害防止機能が確保された集落数（集落）[累計] 現状値： 995集落（令和3年） 目標値：1,020集落（令和8年）</p>							
(4) 事業計画期間及び総事業費							
<p>○事業計画期間： 令和7年度～令和8年度 （用地着手予定年度： 令和7年度、工事着手予定年度： 令和7年度） ○総事業費： 53 百万円</p>							
自然環境等の状況	(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分						
	<p>・自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定状況：無</p> <p>・埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況：無</p> <p>・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分：C 生物的環境の評価：3 地形・地質、自然環境の評価：4 植生及び県レッドデータブック掲載種の状況：無</p> <p>・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会等における確認の有無：無 希少野生動植物の生息の確認状況：無</p>						
(2) 環境配慮事項							
<p>・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、関係機関との協議並びに現地調査を実施し、環境に配慮した事業を進めることとしている。</p>							
<p>○ <u>自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</u></p>							
<table border="1" style="margin-left: auto;"> <tr> <td>項目評価</td> <td style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">a</td> <td style="padding: 2px;">b</td> <td style="padding: 2px;">c</td> </tr> </table>				項目評価	a	b	c
項目評価	a	b	c				

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備考	
必要性 (20点)	(1) 保全対象	・ 5戸～ 9戸	8	4	6戸	
	①人家戸数(8点)					
	②公共施設(4点)		4	0	該当なし	
	③道路等(4点)	・ 国道、県道、鉄道	4	4	国道	
	④河川(4点)	・ 1級河川	4	4	瀬月内川	
重要性 (10点)	(1) 災害履歴(5点)		5	0	該当なし	
	(2) 他事業との連携(5点)		5	0	該当なし	
緊急性 (40点)	主に山腹工の場合	(1) 山腹崩壊危険度		16	0	該当なし
		①山腹の状況(16点)				
		②森林の状況(6点)	・ 幼・老齢林、疎林	6	4	老齢林
		③斜面の傾斜(6点)	・ 25度～29度	6	4	斜面勾配25度
		④断層等の有無(6点)		6	0	該当なし
		⑤落石の危険性(6点)		6	0	該当なし
	主に溪間工の場合	(1) 崩壊土砂流出危険度	・ 12点未満(C)	16	8	山腹崩壊危険度①～⑤の合計点で判定
		①山腹崩壊危険度評点(16点)				
②荒廃発生源直下の溪床勾配(8点)		・ 9度未満	8	4	溪床勾配6度	
③平均溪床勾配(8点)		・ 5度～10度	8	6	平均溪床勾配6度	
	④溪流の荒廃(8点)	・ あり	8	6	荒廃あり	
効率性 (30点)	(1) 経済性 ・ 費用便益比(B/C)(20点)	・ 3以上～5未満	20	15	B/C=5.26	
	(2) 早期効果度 ・ 工事期間(10点)	・ 事業年数が5年以下	10	10	事業期間2年	
計(100点)			100	61		

○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。

項目評価	a	.	(b)	.	c
------	---	---	-----	---	---

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法: 林野公共事業における事業評価の手法について(令和6年5月)

基準年: 令和6年

区分	金額 (百万円)	備考
費用項目	事業費	45.723
	総費用(C)	45.723
便益項目	災害防止便益	240.496
	総便益(B)	240.496
費用便益比(B/C)	5.26	

総合評価

総合評価	AA ・ (A) ・ B ・ C
------	------------------



(事業計画期間5年未満かつ総事業費が1億円未満のもの)

令和6年10月8日作成

事業名	予防治山事業	(補助)・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課		
路線名等		地区名	こぎわ 小沢	市町村	宮古市	
事業概要	[事業根拠法令等：森林法第41条]					
	(1) 事業目的					
	○解決すべき課題 当地区は、宮古市の東部に位置している。令和5年8月の台風第7号により、溪岸侵食を起し、人家等に土砂が流出したため、荒廃溪流の復旧整備を図る必要がある。 ○整備によって得られる効果 本事業で土砂の生産、流出を防止するために溪間工を施工することにより、下流域の人家や道路の保全が図られる。					
	(2) 事業内容					
谷止工1基						
(3) 整備目標等						
いわて県民計画（2019～2028） 第2期アクションプラン-政策推進プラン-（令和5年度～令和8年度） VI 仕事・収入 39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります ③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進 山地災害防止機能が確保された集落数（集落）[累計] 現状値： 995集落（令和3年） 目標値：1,020集落（令和8年）						
(4) 事業計画期間及び総事業費						
○事業計画期間： 令和7年度～令和8年度 （用地着手予定年度： 令和7年度、工事着手予定年度： 令和8年度） ○総事業費： 41 百万円						
自然環境等の状況	(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定状況：無</li> <li>・埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況：無</li> <li>・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分：D                      生物的環境の評価：2                      地形・地質、自然環境の評価：4                      植生及び県レッドデータブック掲載種の状況：無</li> <li>・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会等における確認の有無：無                      希少野生動植物の生息の確認状況：無</li> </ul>					
(2) 環境配慮事項						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、関係機関との協議並びに現地調査を実施し、環境に配慮した事業を進めることとしている。</li> </ul>						
○ <u>自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</u>						
項目評価 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">a</td> <td style="width: 20px; text-align: center;">b</td> <td style="width: 20px; text-align: center;">c</td> </tr> </table>				a	b	c
a	b	c				

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備考	
必要性 (20点)	(1) 保全対象	・ 10戸～19戸	8	6	13戸	
	①人家戸数(8点)					
	②公共施設(4点)	・ 2箇所以上	4	4	消防署、県合同庁舎	
	③道路等(4点)	・ 市町村道	4	2	市道	
	④河川(4点)		4	0	該当なし	
重要性 (10点)	(1) 災害履歴(5点)	・ あり	5	3	令和5年台風第7号	
	(2) 他事業との連携(5点)		5	0	該当なし	
緊急性 (40点)	主に山腹工の場合	(1) 山腹崩壊危険度	・ 亀裂、陥没等あり	16	12	亀裂有り
		①山腹の状況(16点)				
		②森林の状況(6点)	・ 幼・老齢林、疎林	6	4	老齢林
		③斜面の傾斜(6点)		6	2	斜面勾配19度
		④断層等の有無(6点)		6	0	該当なし
		⑤落石の危険性(6点)	・ あり	6	4	落石あり
	主に溪間工の場合	(1) 崩壊土砂流出危険度	・ 20点以上(A)	16	16	山腹崩壊危険度①～⑤の合計点で判定
		①山腹崩壊危険度評点(16点)				
		②荒廃発生源直下の溪床勾配(8点)	・ 14度以上	8	8	溪床勾配16度
		③平均溪床勾配(8点)	・ 11度以上	8	8	平均溪床勾配14度
	④溪流の荒廃(8点)	・ あり	8	6	荒廃あり	
効率性 (30点)	(1) 経済性	・ 費用便益比(B/C)(20点)	・ 5以上	20	20	B/C=10.35
	(2) 早期効果度	・ 工事期間(10点)	・ 事業年数が5年以下	10	10	事業期間2年
計(100点)			100	83		

○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が、80点以上であることから「a」とした。

項目評価 (a) . b . c

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法: 林野公共事業における事業評価の手法について(令和6年5月)

基準年: 令和6年

区分	金額 (百万円)	備考
費用項目	事業費	34.664
	総費用(C)	34.664
便益項目	災害防止便益	358.751
	総便益(B)	358.751
費用便益比(B/C)		10.35

総合評価

総合評価 (AA) . A . B . C

(事業計画期間5年未満かつ総事業費が1億円未満のもの)

令和6年10月8日作成

事業名	予防治山事業	補助・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課			
路線名等		地区名	つなとり 綱取	市町村	盛岡市		
事業概要	[事業根拠法令等：森林法第41条]						
	<b>(1) 事業目的</b>						
	○解決すべき課題 当地区は、盛岡市の中部に位置している。令和6年8月の豪雨により、溪岸侵食を起こし、人家等に土砂が流出したため、荒廃溪流の復旧整備を図る必要がある。 ○整備によって得られる効果 本事業で土砂の生産、流出を防止するために溪間工を施工することにより、下流域の人家や道路の保全が図られる。						
	<b>(2) 事業内容</b>						
事業概要	谷止工1基						
	<b>(3) 整備目標等</b>						
	いわて県民計画（2019～2028） 第2期アクションプラン-政策推進プラン-（令和5年度～令和8年度） VI 仕事・収入 39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります ③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進 山地災害防止機能が確保された集落数（集落）[累計] 現状値： 995集落（令和3年） 目標値：1,020集落（令和8年）						
	<b>(4) 事業計画期間及び総事業費</b>						
自然環境等の状況	○事業計画期間： 令和 7年度～ 令和 8年度 （用地着手予定年度： 令和 - 年度、工事着手予定年度： 令和7年度） ○総事業費： 60 百万円						
	<b>(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</b>						
	・自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定状況：無 ・埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況：無 ・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分：B 生物的環境の評価：2 地形・地質、自然環境の評価：4 植生及び県レッドデータブック掲載種の状況：有 ・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会等における確認の有無：無 希少野生動植物の生息の確認状況：無						
	<b>(2) 環境配慮事項</b>						
・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、関係機関との協議並びに現地調査を実施し、環境に配慮した事業を進めることとしている。							
○ <u>自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</u>							
項目評価 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">a</td> <td style="width: 20px; text-align: center;">b</td> <td style="width: 20px; text-align: center;">c</td> </tr> </table>					a	b	c
a	b	c					

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備考					
必要性 (20点)	(1) 保全対象	・1戸～4戸	8	2	2戸					
	①人家戸数(8点)									
	②公共施設(4点)		4	0	該当なし					
	③道路等(4点)	・市町村道	4	2	市道					
	④河川(4点)	・その他河川	4	1	大葛川					
重要性 (10点)	(1) 災害履歴(5点)	・著しい	5	5	令和6年8月豪雨					
	(2) 他事業との連携(5点)		5	0	該当なし					
緊急性 (40点)	主に山腹工の場合	(1) 山腹崩壊危険度	・亀裂、陥没等あり	16	12	亀裂あり				
		①山腹の状況(16点)								
		②森林の状況(6点)					・幼・老齢林、疎林	6	4	老齢林
		③斜面の傾斜(6点)					・25度～29度	6	4	斜面勾配27度
		④断層等の有無(6点)						6	0	該当なし
	⑤落石の危険性(6点)	・あり	6	4	落石あり					
	主に溪間工の場合	(1) 崩壊土砂流出危険度	・20点以上(A)	16	16	山腹崩壊危険度①～⑤の合計点で判定				
		①山腹崩壊危険度評点(16点)								
②荒廃発生源直下の溪床勾配(8点)		・9度～13度					8	6	溪床勾配13度	
③平均溪床勾配(8点)		・11度以上					8	8	平均溪床勾配12度	
④溪流の荒廃(8点)	・著しい	8	8							
効率性 (30点)	(1) 経済性 ・費用便益比(B/C)(20点)	・3以上～5未満	20	15	B/C=4.16					
	(2) 早期効果度 ・工事期間(10点)	・事業年数が5年以下	10	10	事業期間2年					
計(100点)			100	73						

○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。

項目評価	a	.	(b)	.	c
------	---	---	-----	---	---

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法: 林野公共事業における事業評価の手法について(令和6年5月)

基準年: 令和6年

区分	金額 (百万円)	備考
費用項目	事業費	51.774
	総費用(C)	51.774
便益項目	災害防止便益	215.363
	総便益(B)	215.363
費用便益比(B/C)	4.16	

総合評価

総合評価	AA	.	(A)	.	B	.	C
------	----	---	-----	---	---	---	---

(事業計画期間5年未満かつ総事業費が1億円未満のもの)

令和6年10月8日作成

事業名	予防治山事業	補助・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課	
路線名等		地区名	しづね 溪梨	市町村	大槌町
事業概要	[事業根拠法令等：森林法第41条]				
	(1) 事業目的				
	○解決すべき課題 当地区は、大槌町の西部に位置している。令和4年6月の豪雨により、溪岸侵食を起こし、人家等に土砂が流出したため、荒廃溪流の復旧整備を図る必要がある。 ○整備によって得られる効果 本事業で土砂の生産、流出を防止するために溪間工を施工することにより、下流域の人家や道路の保全が図られる。				
	(2) 事業内容				
事業概要	谷止工1基				
	(3) 整備目標等				
	いわて県民計画（2019～2028） 第2期アクションプラン-政策推進プラン-（令和5年度～令和8年度） VI 仕事・収入 39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります ③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進 山地災害防止機能が確保された集落数（集落）[累計] 現状値： 995集落（令和3年） 目標値：1,020集落（令和8年）				
	(4) 事業計画期間及び総事業費				
自然環境等の状況	○事業計画期間： 令和7年度～令和8年度 （用地着手予定年度： 令和7年度、工事着手予定年度： 令和8年度） ○総事業費： 50 百万円				
	(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分				
	・自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定状況：無 ・埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況：無 ・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分：A 生物的環境の評価：2 地形・地質、自然環境の評価：4 植生及び県レッドデータブック掲載種の状況：有 ・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会等における確認の有無：無 希少野生動植物の生息の確認状況：無				
	(2) 環境配慮事項				
・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、関係機関との協議並びに現地調査を実施し、環境に配慮した事業を進めることとしている。					
○ <u>自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</u>					
項目評価 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">a</span> . b . c					

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備考	
必要性 (20点)	(1) 保全対象	・ 10戸～19戸	8	6	10戸	
	①人家戸数(8点)					
	②公共施設(4点)		4	0	なし	
	③道路等(4点)	・ 国道、県道、鉄道	4	4	県道	
	④河川(4点)	・ 2級河川	4	2	大槌川	
重要性 (10点)	(1) 災害履歴(5点)	・ あり	5	3	令和4年6月豪雨	
	(2) 他事業との連携(5点)		5	0	該当なし	
緊急性 (40点)	主に山腹工の場合	(1) 山腹崩壊危険度		16	0	該当なし
		①山腹の状況(16点)				
		②森林の状況(6点)	・ その他	6	2	普通林
		③斜面の傾斜(6点)	・ 30度以上	6	6	斜面勾配37度
		④断層等の有無(6点)		6	0	該当なし
	⑤落石の危険性(6点)		6	0	該当なし	
	主に溪間工の場合	(1) 崩壊土砂流出危険度	・ 12点未満(C)	16	8	山腹崩壊危険度①～⑤の合計点で判定
		①山腹崩壊危険度評点(16点)				
②荒廃発生源直下の溪床勾配(8点)		・ 9度～13度	8	6	溪床勾配11度	
③平均溪床勾配(8点)		・ 11度以上	8	8	平均溪床勾配17度	
④溪流の荒廃(8点)	・ あり	8	6	荒廃あり		
効率性 (30点)	(1) 経済性 ・ 費用便益比(B/C)(20点)	・ 5以上	20	20	B/C=9.54	
	(2) 早期効果度 ・ 工事期間(10点)	・ 事業年数が5年以下	10	10	事業期間2年	
計(100点)			100	73		

○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。

項目評価	a	・	(b)	・	c
------	---	---	-----	---	---

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法: 林野公共事業における事業評価の手法について(令和6年5月)

基準年: 令和6年

区分	金額 (百万円)	備考
費用項目	事業費	41.516
	総費用(C)	41.516
便益項目	災害防止便益	395.944
	総便益(B)	395.944
費用便益比(B/C)	9.54	

総合評価

総合評価	AA ・ (A) ・ B ・ C
------	------------------

(事業計画期間5年未満かつ総事業費が1億円未満のもの)

令和6年10月8日作成

事業名	予防治山事業	(補助)・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課		
路線名等		地区名	もし茂師	市町村	岩泉町	
事業概要	[事業根拠法令等：森林法第41条]					
	(1) 事業目的					
	○解決すべき課題 当地区は、岩泉町の東部、太平洋岸に位置している。令和5年8月の台風第7号により、溪岸侵食を起し、国道等に土砂が流出したため、荒廃溪流の復旧整備を図る必要がある。 ○整備によって得られる効果 本事業で土砂の生産、流出を防止するために溪間工を施工することにより、下流域の国道や漁港の保全が図られる。					
	(2) 事業内容					
谷止工2基						
(3) 整備目標等						
いわて県民計画（2019～2028） 第2期アクションプラン-政策推進プラン-（令和5年度～令和8年度） VI 仕事・収入 39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります ③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進 山地災害防止機能が確保された集落数（集落）[累計] 現状値： 995集落（令和3年） 目標値：1,020集落（令和8年）						
(4) 事業計画期間及び総事業費						
○事業計画期間： 令和7年度～令和8年度 （用地着手予定年度： 令和 - 年度、工事着手予定年度： 令和7年度） ○総事業費： 67 百万円						
自然環境等の状況	(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分					
	・自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定状況：無 ・埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況：無 ・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分：A 生物的環境の評価：7 地形・地質、自然環境の評価：6 植生及び県レッドデータブック掲載種の状況：無 ・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会等における確認の有無：無 希少野生動植物の生息の確認状況：無					
(2) 環境配慮事項						
・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、関係機関との協議並びに現地調査を実施し、環境に配慮した事業を進めることとしている。						
○ <u>自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</u>						
項目評価 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">a</td> <td style="width: 20px; text-align: center;">b</td> <td style="width: 20px; text-align: center;">c</td> </tr> </table>				a	b	c
a	b	c				

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備考	
必要性 (20点)	(1) 保全対象		8	0	該当なし	
	①人家戸数(8点)					
	②公共施設(4点)	・ 1箇所	4	2	茂師漁港	
	③道路等(4点)	・ 国道、県道、鉄道	4	4	国道45号	
	④河川(4点)	・ その他河川	4	1	小成川	
重要性 (10点)	(1) 災害履歴(5点)	・ 著しい	5	5	令和5年台風第7号	
	(2) 他事業との連携(5点)		5	0	該当なし	
緊急性 (40点)	主に山腹工の場合	(1) 山腹崩壊危険度	・ 亀裂、陥没等あり	16	12	亀裂あり
		①山腹の状況(16点)				
		②森林の状況(6点)	・ 幼・老齢林、疎林	6	4	老齢林
		③斜面の傾斜(6点)	・ 25度～29度	6	4	斜面勾配26度
		④断層等の有無(6点)		6	0	該当なし
		⑤落石の危険性(6点)	・ あり	6	4	落石あり
	主に溪間工の場合	(1) 崩壊土砂流出危険度	・ 20点以上(A)	16	16	山腹崩壊危険度①～⑤の合計点で判定
		①山腹崩壊危険度評点(16点)				
②荒廃発生源直下の溪床勾配(8点)		・ 9度未満	8	4	溪床勾配8度	
③平均溪床勾配(8点)		・ 5度～10度	8	6	平均溪床勾配8度	
	④溪流の荒廃(8点)	・ 著しい	8	8		
効率性 (30点)	(1) 経済性 ・ 費用便益比(B/C)(20点)	・ 3以上～5未満	20	15	B/C=3.47	
	(2) 早期効果度 ・ 工事期間(10点)	・ 事業年数が5年以下	10	10	事業期間2年	
計(100点)			100	71		

○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。

項目評価	a	.	(b)	.	c
------	---	---	-----	---	---

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法: 林野公共事業における事業評価の手法について(令和6年5月)

基準年: 令和6年

区 分		金 額 ( 百 万 円 )	備 考
費用項目	事業費	57.491	
	総費用(C)	57.491	
便益項目	災害防止便益	199.261	
	総便益(B)	199.261	
費用便益比(B/C)		3.47	

総合評価

総合評価	AA ・ (A) ・ B ・ C
------	------------------



(事業計画期間5年未満かつ総事業費が1億円未満のもの)

令和6年10月8日作成

事業名	予防治山事業	(補助)・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課		
路線名等		地区名	きつし切伏	市町村	遠野市	
事業概要	[事業根拠法令等：森林法第41条]					
	(1) 事業目的					
	○解決すべき課題 当地区は、遠野市の西部に位置している。令和2年7月の豪雨により、溪岸侵食を起こし、市道及び農地等に土砂が流出したため、荒廃溪流の復旧整備を図る必要がある。 ○整備によって得られる効果 本事業で土砂の生産、流出を防止するために溪間工を施工することにより、下流域の道路、農地及び人家の保全が図られる。					
	(2) 事業内容					
谷止工1基						
(3) 整備目標等						
いわて県民計画（2019～2028） 第2期アクションプラン-政策推進プラン-（令和5年度～令和8年度） VI 仕事・収入 39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります ③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進 山地災害防止機能が確保された集落数（集落）[累計] 現状値： 995集落（令和3年） 目標値：1,020集落（令和8年）						
(4) 事業計画期間及び総事業費						
○事業計画期間： 令和 7年度～ 令和 7年度 （用地着手予定年度： 令和 - 年度、工事着手予定年度： 令和7年度） ○総事業費： 36 百万円						
自然環境等の状況	(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分					
	・自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定状況：無  ・埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況：無  ・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分：B 生物的環境の評価：2 地形・地質、自然環境の評価：4 植生及び県レッドデータブック掲載種の状況：無  ・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会等における確認の有無：無 希少野生動植物の生息の確認状況：無					
(2) 環境配慮事項						
・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、関係機関との協議並びに現地調査を実施し、環境に配慮した事業を進めることとしている。						
○ <u>自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</u>						
項目評価 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">a</td> <td style="width: 20px; text-align: center;">b</td> <td style="width: 20px; text-align: center;">c</td> </tr> </table>				a	b	c
a	b	c				

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備考				
必要性 (20点)	(1) 保全対象	・1戸～4戸	8	2	1戸				
	①人家戸数(8点)								
	②公共施設(4点)		4	0	該当なし				
	③道路等(4点)	・市町村道	4	2	市道				
	④河川(4点)	・その他河川	4	1	外山川				
重要性 (10点)	(1) 災害履歴(5点)	・あり	5	3	令和2年7月豪雨				
	(2) 他事業との連携(5点)		5	0	該当なし				
緊急性 (40点)	主に山腹工の場合	(1) 山腹崩壊危険度		16	0	該当なし			
		①山腹の状況(16点)							
		②森林の状況(6点)	・幼・老齢林、疎林				6	4	幼齢林
		③斜面の傾斜(6点)					6	2	斜面勾配19度
		④断層等の有無(6点)					6	0	該当なし
	⑤落石の危険性(6点)	・あり	6	4	落石あり				
	主に溪間工の場合	(1) 崩壊土砂流出危険度	・12点未満(C)	16	8	山腹崩壊危険度①～⑤の合計点で判定			
		①山腹崩壊危険度評点(16点)							
②荒廃発生源直下の溪床勾配(8点)		・9度～13度	8				6	溪床勾配9度	
③平均溪床勾配(8点)		・11度以上	8				8	平均溪床勾配11度	
	④溪流の荒廃(8点)	・あり	8	6	荒廃あり				
効率性 (30点)	(1) 経済性 ・費用便益比(B/C)(20点)	・5以上	20	20	B/C=5.71				
	(2) 早期効果度 ・工事期間(10点)	・事業年数が5年以下	10	10	事業期間1年				
計(100点)			100	66					

○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。

項目評価	a	.	(b)	.	c
------	---	---	-----	---	---

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法: 林野公共事業における事業評価の手法について(令和6年5月)

基準年: 令和6年

区分	金額 (百万円)	備考
費用項目	事業費	31.467
	総費用(C)	31.467
便益項目	災害防止便益	179.708
	総便益(B)	179.708
費用便益比(B/C)	5.71	

総合評価

総合評価	AA	.	(A)	.	B	.	C
------	----	---	-----	---	---	---	---

(事業計画期間5年未満かつ総事業費が1億円未満のもの)

令和6年10月8日作成

事業名	予防治山事業	(補助)・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課			
路線名等		地区名	しもたいら 下平	市町村	一戸町		
事業概要	[事業根拠法令等：森林法第41条]						
	<b>(1) 事業目的</b>						
	○解決すべき課題 当地区は、一戸町の南部に位置している。令和4年8月の豪雨により、溪岸侵食を起こし、町道や農地等に土砂が流出したため、荒廃溪流の復旧整備を図る必要がある。 ○整備によって得られる効果 本事業で土砂の生産、流出を防止するために溪間工を施工することにより、下流域の道路や農地及び河川の保全が図られる。						
	<b>(2) 事業内容</b>						
谷止工1基							
<b>(3) 整備目標等</b>							
いわて県民計画（2019～2028） 第2期アクションプラン-政策推進プラン-（令和5年度～令和8年度） VI 仕事・収入 39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります ③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進 山地災害防止機能が確保された集落数（集落）[累計] 現状値： 995集落（令和3年） 目標値：1,020集落（令和8年）							
<b>(4) 事業計画期間及び総事業費</b>							
○事業計画期間： 令和7年度～令和8年度 （用地着手予定年度： 令和7年度、工事着手予定年度： 令和8年度） ○総事業費： 36 百万円							
自然環境等の状況	<b>(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</b>						
	・自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定状況：無 ・埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況：無 ・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分：A 生物的環境の評価：1 地形・地質、自然環境の評価：2 植生及び県レッドデータブック掲載種の状況：無 ・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会等における確認の有無：無 希少野生動植物の生息の確認状況：無						
<b>(2) 環境配慮事項</b>							
・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、関係機関との協議並びに現地調査を実施し、環境に配慮した事業を進めることとしている。							
○ <u>自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</u>							
項目評価 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">a</td> <td style="width: 20px; text-align: center;">b</td> <td style="width: 20px; text-align: center;">c</td> </tr> </table>					a	b	c
a	b	c					

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備考	
必要性 (20点)	(1) 保全対象		8	0	該当なし	
	①人家戸数(8点)		4	0	該当なし	
	②公共施設(4点)		4	2	町道	
	③道路等(4点)	・市町村道	4	4	平糠川	
重要性 (10点)	④河川(4点)	・1級河川	4	4	平糠川	
	(1) 災害履歴(5点)	・著しい	5	5	令和4年8月豪雨	
緊急性 (40点)	(2) 他事業との連携(5点)		5	0	該当なし	
	主に山腹工の場合	(1) 山腹崩壊危険度		16	0	該当なし
		①山腹の状況(16点)		6	4	老齢林
		②森林の状況(6点)	・幼・老齢林、疎林	6	4	斜面勾配25度
		③斜面の傾斜(6点)	・25度～29度	6	0	該当なし
		④断層等の有無(6点)		6	0	該当なし
	主に溪間工の場合	⑤落石の危険性(6点)		6	0	該当なし
		(1) 崩壊土砂流出危険度	・12点未満(C)	16	8	山腹崩壊危険度①～⑤の合計点で判定
		①山腹崩壊危険度評点(16点)	・9度～13度	8	6	溪床勾配11度
		②荒廃発生源直下の溪床勾配(8点)	・5度～10度	8	6	平均溪床勾配8度
③平均溪床勾配(8点)		・あり	8	6	荒廃あり	
効率性 (30点)	④溪流の荒廃(8点)					
	(1) 経済性 ・費用便益比(B/C)(20点)	・3以上～5未満	20	15	B/C=3.05	
	(2) 早期効果度 ・工事期間(10点)	・事業年数が5年以下	10	10	事業期間2年	
計(100点)			100	62		

○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。

項目評価	a	.	(b)	.	c
------	---	---	-----	---	---

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法: 林野公共事業における事業評価の手法について(令和6年5月)

基準年: 令和6年

区 分		金 額 ( 百 万 円 )	備 考
費用項目	事業費	30.427	
	総費用(C)	30.427	
便益項目	災害防止便益	92.739	
	総便益(B)	92.739	
費用便益比(B/C)		3.05	

総合評価

総合評価	AA ・ (A) ・ B ・ C
------	------------------

事業名	防災林造成事業	補助・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課
路線名等		地区名	かりや刈屋	市町村
				宮古市

〔事業根拠法令等：森林法第41条〕

事業概要

(1) 事業目的

○解決すべき課題  
当地区は、宮古市の西部、閉伊川中流流域に位置している。令和6年4月に発生した林野火災により、森林が焼失するとともに機能が低下した森林からの土砂の流出を防止するため、森林の造成及び溪流の保全整備を図る必要がある。

○整備によって得られる効果  
本事業で土砂の生産、流出を防止するために溪間工を施工するとともに、被災森林を復旧することにより、下流域の人家や道路の保全が図られる。

(2) 事業内容

谷止工3基、森林整備30ha

(3) 整備目標等

いわて県民計画（2019～2028）  
第2期アクションプラン-政策推進プラン-（令和5年度～令和8年度）  
VI 仕事・収入  
39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります  
③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進  
山地災害防止機能が確保された集落数（集落）〔累計〕  
現状値： 995集落（令和3年）  
目標値：1,020集落（令和8年）

(4) 事業計画期間及び総事業費

○事業計画期間： 令和7年度～令和10年度  
（用地着手予定年度： 令和-年度、工事着手予定年度： 令和7年度）  
○総事業費： 220 百万円

社会経済情勢等の状況

(1) 全国の状況

治山事業は、森林の維持造成を通じて、山地災害から国民の生命・財産を保全するとともに、水源の涵養、生活環境の保全・形成等を図る重要な国土保全政策の一つとされている。

(2) 本県内の状況

治山事業（治山等激甚災害対策特別緊急、山地治山総合対策、流域保全総合治山等、予防治山等）及び県単治山（崩壊地復旧）事業は、荒廃山地、荒廃危険山地等の復旧・整備等を行う事業であり、令和5年度は、本県内54箇所を実施している。

(3) 施工地域における状況

地区住民からは、土砂災害の恐怖から解放され、安全な生活が営めるよう、早期の対策を強く要望されている。

(参考) 予算の動向

令和6年度当初予算の対前年比（当初予算対比）は、1.02となっており、計画的に事業対象箇所を整備することとしている。

過去3年間の県当初予算（治山事業費）の状況

年度	R4	R5	R6
事業費（百万円）	1,197	1,309	1,338
対前年比	1.00	1.09	1.02

自然環境等の状況

(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分

- ・自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定状況：無
- ・埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況：無
- ・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分：B  
 生物的環境の評価：2  
 地形・地質、自然環境の評価：4  
 植生及び県レッドデータブック掲載種の状況：無
- ・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会等における確認の有無：無  
 希少野生動植物の生息の確認状況：無

(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費

- ・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、関係機関との協議並びに現地調査を実施し、環境に配慮した事業を進めることとしている。

○ 自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。

項目評価 a . b . c

事業計画の妥当性

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備考	
必要性 (20点)	(1)保全対象 ①人家戸数(8点)	・5戸～9戸	8	4	9戸	
	②公共施設(4点)		4	0	該当なし	
	③道路等(4点)	・国道、県道、鉄道	4	4	国道340号線	
	④河川(4点)	・2級河川	4	2	刈屋川	
重要性 (10点)	(1)災害履歴(5点)	・著しい	5	5	令和6年4月林野火災	
	(2)他事業との連携(5点)		5	0	該当なし	
緊急性 (40点)	主に山腹工の場合	(1)山腹崩壊危険度 ①山腹の状況(16点)	・亀裂、陥没等あり	16	12	亀裂あり
		②森林の状況(6点)	・幼・老齢林、疎林	6	4	老齢林
		③斜面の傾斜(6点)	・25度～29度	6	4	斜面勾配27度
		④断層等の有無(6点)		6	0	該当なし
		⑤落石の危険性(6点)	・あり	6	4	落石あり
	主に溪間工の場合	(1)崩壊土砂流出危険度 ①山腹崩壊危険度評点(16点)	・20点以上(A)	16	16	山腹崩壊危険度①～⑤の合計点で判定
		②荒廃発生源直下の溪床勾配(8点)	・14度以上	8	8	溪床勾配15度
		③平均溪床勾配(8点)	・11度以上	8	8	平均溪床勾配13度
④溪流の荒廃(8点)	・著しい	8	8			
効率性 (30点)	(1)経済性 ・費用便益比(B/C)(20点)	・1以上～3未満	20	10	B/C=3.08	
	(2)早期効果度 ・工事期間(10点)	・事業年数が5年以下	10	10	事業期間4年	
計(100点)			100	75		

○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。

項目評価 a . b . c

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法:林野公共事業における事業評価の手法について(令和6年5月)

基準年:令和6年

区 分		金 額 ( 百 万 円 )	備 考
費用項目	事業費	182.622	
	総費用(C)	182.622	
便益項目	災害防止便益	562.484	
	総便益(B)	562.484	
費用便益比(B/C)		3.08	

事業計画の妥当性

※費用便益分析において地域特性等考慮すべき特記事項

無

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

無

(4) コスト削減対策の取り組み状況

谷止工は、地形や周辺の環境等を考慮し、比較検討により経済的な工法で施工する。  
森林整備は、植栽工等により林野火災で焼失した森林の早期復旧を図る。

(5) 代替案の比較検討結果

本計画は、荒廃溪流の状況に応じ、必要最低規模かつ最適な構造の谷止工を配置するとともに、焼失した森林を整備することにより、保安林機能を維持・増進させ、保全対象施設等の保全を図るものであることから、代替案は想定しがたい。

(1) 総合評価

総合評価	AA ・ A ・ B ・ C
------	----------------

(事業名) 防災林造成事業 刈屋

着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	自然環境等の 状況に係る評価 結果	事業に関する指標 からみた評価		参考 B/C
				評価点数	評価結果	
令和7年	令和10年	220	a	75	b	3.08

○総合評価に係るコメント

- ・「自然環境等の状況」 : a
- ・「事業に関する指標から見た評価」 : b

当該事業は、地域の保全を図る上で重要な事業であり、事業実施に当たっては、コスト縮減・環境等に配慮するものであること、また、地元住民からの強い要望があり、総合評価が「A」評価であることから、新規事業として着手することが妥当と判断される。

総合評価

(2) その他特記事項

無



(事業計画期間5年未満かつ総事業費が1億円未満のもの)

令和6年10月8日作成

事業名	県単治山事業 (崩壊地復旧)	補助・ <b>単独</b>	担当部課名	農林水産部森林保全課						
路線名等		地区名	じょうない 城内	市町村						
				野田村						
[事業根拠法令等：森林法第41条]										
事業概要	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題 当地区は、野田村の北部に位置している。令和5年8月の台風第7号により山腹崩壊が発生しており、人家や道路等に土砂が流出したため、復旧整備を図る必要がある。</p> <p>○整備によって得られる効果 本事業で土砂の生産、流出を防止するために山腹工を施工することにより、人家や道路の保全が図られる。</p>									
	<p>(2) 事業内容</p> <p>山腹工1式</p>									
	<p>(3) 整備目標等</p> <p>いわて県民計画 (2019～2028) 第2期アクションプラン-政策推進プラン- (令和5年度～令和8年度) VI 仕事・収入 39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります ③ 自然災害に強い農山漁村づくりの推進 山地災害防止機能が確保された集落数 (集落) [累計] 現状値： 995集落 (令和3年) 目標値： 1,020集落 (令和8年)</p>									
	<p>(4) 事業計画期間及び総事業費</p> <p>○事業計画期間： 令和7年度～令和8年度 (用地着手予定年度： 令和7年度、工事着手予定年度： 令和7年度) ○総事業費： 28 百万円</p>									
自然環境等の状況	<p>(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定状況：無</li> <li>・埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況：無</li> <li>・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分：B 生物的環境の評価：4 地形・地質、自然環境の評価：1 植生及び県レッドデータブック掲載種の状況：無</li> <li>・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会等における確認の有無：無 希少野生動植物の生息の確認状況：有</li> </ul>									
	<p>(2) 環境配慮事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、関係機関との協議並びに現地調査を実施し、環境に配慮した事業を進めることとしている。</li> </ul> <p>○ <u>自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</u></p>									
<table border="1" style="margin-left: auto;"> <tr> <td>項目評価</td> <td style="text-align: center;">(a)</td> <td>.</td> <td>b</td> <td>.</td> <td>c</td> </tr> </table>					項目評価	(a)	.	b	.	c
項目評価	(a)	.	b	.	c					

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備考	
必要性 (20点)	(1) 保全対象	・ 5戸～ 9戸	8	4	5戸	
	①人家戸数(8点)					
	②公共施設(4点)	・ 2箇所以上	4	4	寺院、神社	
	③道路等(4点)	・ 市町村道	4	2	町道	
	④河川(4点)	・ 2級河川	4	2	宇部川	
重要性 (10点)	(1) 災害履歴(5点)	・ 著しい	5	5	令和5年台風第7号	
	(2) 他事業との連携(5点)		5	0	該当なし	
緊急性 (40点)	主に山腹工の場合	(1) 山腹崩壊危険度	・ 亀裂、陥没等あり	16	12	亀裂あり
		①山腹の状況(16点)				
		②森林の状況(6点)	・ 幼・老齢林、疎林	6	4	老齢林
		③斜面の傾斜(6点)	・ 25度～29度	6	4	斜面勾配29度
		④断層等の有無(6点)		6	0	該当なし
	⑤落石の危険性(6点)	・ あり	6	4	落石あり	
	主に溪間工の場合	(1) 崩壊土砂流出危険度		16		山腹崩壊危険度①～⑤の合計点で判定
		①山腹崩壊危険度評点(16点)				
		②荒廃発生源直下の溪床勾配(8点)		8		
③平均溪床勾配(8点)			8			
	④溪流の荒廃(8点)		8			
効率性 (30点)	(1) 経済性	・ 5以上	20	20	B/C=5.85	
	・ 費用便益比(B/C)(20点)					
	(2) 早期効果度	・ 事業年数が5年以下	10	10	事業期間2年	
	・ 工事期間(10点)					
計(100点)			100	71		

○ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。

項目評価	a	.	(b)	.	c
------	---	---	-----	---	---

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法: 林野公共事業における事業評価の手法について(令和6年5月)

基準年: 令和6年

区分	金額 (百万円)	備考
費用項目	事業費	23.803
	総費用(C)	23.803
便益項目	災害防止便益	139.173
	総便益(B)	139.173
費用便益比(B/C)	5.85	

総合評価

総合評価	AA	.	(A)	.	B	.	C
------	----	---	-----	---	---	---	---

公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの) 令和6年9月26日作成

事業名	林道整備事業	補助・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課	
路線名等	ミサワセン 身沢線	地区名	—	市町村	久慈市
事業概要	〔事業根拠法令等： 森林法第4条〕				
	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題 本路線の利用区域の森林は、約54%が11齢級以上の成熟した森林であるものの、経年劣化による路体の損傷、狭小な幅員等により、間伐や主伐後の木材搬出の障害となっている。</p> <p>○整備によって得られる効果 森林整備や木材生産の低コスト化・効率化を図ることで、木材生産量の増加、水源涵養、県土の保全等の森林の有する多面的機能の持続的な発揮が期待される。</p>				
社会経済情勢等の状況	<p>(2) 事業内容 林道改良 全体計画延長2,871m、幅員4.0m</p> <p>(3) 整備目標等 林内道路密度 R15年度末：17.0m/ha（県内） 参考 R4年度末：16.8m/ha（県内）</p> <p>(4) 事業計画期間及び総事業費 ○事業計画期間： 令和7年度～令和13年度 (用地着手予定年度： 令和7年度、工事着手予定年度： 令和9年度) ○総事業費： 230百万円</p>				
	<p>(1) 全国の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国では、令和3年6月に、新たな「森林・林業基本計画」を公表し、森林・林業・木材産業によるグリーン成長などの方向性が盛り込まれた。</li> <li>・この中で、林産物の供給及び利用に関して、令和元年度に3,100万m<sup>3</sup>の実績であった国産材の供給量を、令和7年に4,000万m<sup>3</sup>、令和12年に4,200万m<sup>3</sup>とすることを目標に掲げており、引き続き、傾斜区分と作業システムに応じた目標とすべき路網密度の水準を踏まえつつ、林道等の路網整備を推進することとしている。</li> </ul> <p>(2) 本県内の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県では、計画的な林道整備を推進するため、実効性の高い中期的なアクションプランとして、令和4年度に「林道整備事業中期実施計画（第5期）」を策定し、年間10kmの林道整備を目標に、路網密度の向上に向けて、事業実施路線の早期完成に取り組んでいる。</li> <li>・国が示している「林道整備における路網密度の水準」では、本県が目安としている中傾斜地（林地斜面の傾斜角15～30度）での林道等の林内道路密度が25～40m/haとされているが、本県の林内道路密度は、令和4年度末時点で16.8m/haであるため、目指すべき水準への到達に向け、路網整備の一層の推進が必要となっている。</li> <li>・また、県内では、大型の製材・集成材・合板工場の稼働により、安定した素材の供給が求められているほか、木質バイオマス発電施設の整備が進み、燃料用素材の需要も増大していることから、木材の安定供給体制の整備に向け、木材生産の基盤である林道等の路網整備が急務となっている。</li> </ul> <p>(3) 施工地域における状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本路線の利用区域においては、11齢級以上の成熟した林分の面積が約54%であり、木材生産等に向けた林道等の整備が急務となっている。</li> <li>・本路線は、地元の林業事業者からの距離が約7～11kmと近いことなど、森林資源を有効に利用できる条件が整っている。</li> </ul>				

自然環境等の状況	(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手県自然環境保全指針による保全区分 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">D</span></li> <li>・希少野生動植物生息の有無 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">なし</span></li> <li>・埋蔵文化財包蔵地の有無 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">なし</span></li> </ul>				
	(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「希少野生動植物調査検討委員会」に付議し、有識者等の助言を受けながら関係機関との協議並びに現地調査を行い、環境に配慮した事業を実施することとする。</li> </ul> <p>《環境等への配慮に要する経費》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幅員拡幅の範囲を必要最低限とし、新たな土地の改変を抑えることや、再生砕石等の再生資源を活用することで、環境負荷低減に取り組む。</li> </ul> <p>○自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</p> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto;">項目評価 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">a</span> . b . c</div>				
事業計画の妥当性	(1) 事業に関する指標からみた評価					
	評価指標	区分	配点	評点	備考	
	必要性	林業効果指数	2.3以上	5	5	6.21
		利用区域森林面積	500ha以上	5	5	553ha
		定住環境	該当なし	5	0	
		要整備森林の占有度	40%以上 50%未満	10	8	45%
		地域振興	2地区	5	5	過疎地域、山村振興地域
	重要性	林内路網密度	20m/ha未満	5	5	5m/ha
		基幹的路線	その他	5	0	突っ込み
		作業道の整備状況	計画なし	5	0	
		山地保全	10%以上	5	0	100%
	緊急性	防災対策	該当なし	5	0	
		利用計画	2項目	5	5	保育、間伐
	効率性	費用便益比 (B/C)	1.51以上	30	30	B/C=2.05
熟度	地元の協力体制	普通 (1項目)	10	3	市町村が協力的	
	計		100	66		
○事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。						
		項目評価 a . <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">b</span> . c				

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法: 林野公共事業における事業評価マニュアル(2024.5 林野庁) 基準年: R6

区 分		金 額 ( 百 万 円 )	備 考
費用項目	全体事業費	806	
	総費用(C)	806	
便益項目	木材生産等便益	349	
	森林整備経費縮減等便益	1,306	
	総便益(B)	1,655	
費用便益比(B/C)		2.05	

事業計画の妥当性

※費用便益分析において地域特性等考慮すべき特記事項  
特になし

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

特になし

(4) コスト縮減対策の取り組み状況

・再生資源を活用した工法（再生砕石の使用等）に努める。

(5) 代替案の比較検討結果

①代替案として考えられる他の事業手法・工法の比較検討結果

現計画は、地形条件や新規開設コスト等を比較検討し、既設林道の改良を行う計画としたものである。

②今後における代替案立案の可能性

現計画は、森林整備を実施する区域を通過する線形であることに加え、本路線を幹線とした効率的な路網の形成が可能なことから、事業効果がより高い代替案の可能性はない。

(1) 総合評価

総合評価	AA・ <b>A</b> ・B・C
------	-------------------

(事業名) 林道整備事業 身沢線

着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	自然環境等の 状況に係る評 価結果	事業に関する指標 からみた評価		参考 B/C
				評価点数	評価結果	
7	13	230	a	66	A	2.05

○総合評価に係るコメント

- ・本路線は、経年劣化による路体の損傷や狭小な幅員等により、間伐や主伐後の木材搬出に支障をきたしているが、本事業で林道を改良することにより、通行や木材輸送の安全性が確保され、利用区域内の木材生産や再造林等の促進が期待される。
- ・「自然環境等の状況に係る評価結果」については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿った対応をしていることから「a」評価、また、「事業計画の妥当性」については、評価指標の評点の合計が60点以上80点未満であることから「b」評価としており、総合評価を「A」とした。
- ・本事業の目的を達成するためには、現時点で社会経済情勢等の状況や代替案を検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、事業の実施が妥当であると判断した。

(2) その他特記事項

総合評価

(事業計画期間5年未満かつ総事業費が1億円未満のもの)令和6年10月8日作成

事業名	漁港整備事業	補助	単独	担当部課名	農林水産部漁港漁村課
路線名等	さきはま ぎよこう 崎浜 漁港	地区名	さきはま 崎浜	市町村	おおふなとし 大船渡市
事業概要	〔事業根拠法令等： 漁港及び漁場の整備等に関する法律 〕				
	<b>(1) 事業目的</b>				
	○解決すべき課題 本漁港の岸壁及び物揚場は、車止めが設置されておらず、車両が落下する危険性があるなど、漁業活動の安全性が確保されていない。  ○整備によって得られる効果 車止めを整備することにより、漁業活動の安全性が確保され、就労環境の改善が図られる。				
	<b>(2) 事業内容</b>				
自然環境等の状況	物揚場（改良）L=147.4m、岸壁（改良）L=48.4m				
	<b>(3) 整備目標等</b>				
	いわて県民計画（2019～2028） 第2期アクションプラン-政策推進プラン-（2023～2026） VI-37-④ 生産基盤の着実な整備				
	<b>(4) 事業計画期間及び総事業費</b>				
○事業計画期間： 令和7年度 ～ 令和8年度  （用地着手予定年度： ー 年度、工事着手予定年度： 令和7年度）  ○総事業費： 5百万円					
自然環境等の状況	<b>(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</b>				
	・岩手県自然環境保全指針による保全区分 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">B</span> ・希少野生動植物生息の有無 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">無</span> ・埋蔵文化財包蔵地の有無 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">無</span>				
自然環境等の状況	<b>(2) 環境配慮事項</b>				
	・振興局で実施している公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら、環境に配慮した事業を進めることとする。 ・排出ガス対策型建設機械を使用し大気汚染防止に努める。				
○自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全報告に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。					
項目評価 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">a</span> . <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">b</span> . <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">c</span>					

(1) 事業に関する指標からみた評価

評価指標		区分	配点	評点	備考
必要性	係船岸充足率	40%未満	10	8 38%	
	漁港施設用地充足率	90%以上	10	0 100%	
	漁業経営体数	130経営体以上	5	5 134経営体	R3港勢調査
	地域振興	2項目以上	5	5 2項目	山村地域、過疎地域
重要性	利用漁船数	100隻以上	5	3 131隻	R3港勢調査
	属地陸揚量	500t以上	5	4 708t	R3港勢調査
	属地陸揚金額	1億円以上	5	3 1.85億円	R3港勢調査
	漁港機能	3項目以上	5	5 4項目	生産、養殖、増殖、定置
緊急性	静穏度充足率	20%未満	10	10 0%	
	被災履歴	被災歴あり	5	5 あり	東日本大震災津波
	関連事業	1事業	5	3 1事業	水産生産基盤整備事業
効率性	費用便益比(B/C)	1.20以上	15	15 2.91	
	改善度	1.00	5	0 1.00	
熟度	地元の協力体制	非常に良い	10	10 非常に良い	事業説明を行い、地元漁協から事業への協力、市町村から負担金について了承を得ている。
計			100	76	

○事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。

項目評価	a	b	c
------	---	---	---

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法:水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン(令和6年6月) 基準年:令和6年

区 分	金 額 (百 万 円)	備 考
費用項目	事業費	4.34
	総費用(C)	4.34
便益項目	水産物の生産性向上	12.12
	漁業就業環境の向上	0.51
	総便益(B)	12.62
費用便益比(B/C)	2.91	

総合評価

総合評価	AA · A · B · C
------	----------------



公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの) 令和6年10月24日作成

事業名	地域連携道路整備事業 (ネットワーク形成型)		補助・単独	担当部課名	県土整備部道路建設課																						
路線名等	いっばんこくどう 一般国道	455号	地区名	かるまち 軽町	市町村	盛岡市																					
事業概要	〔事業根拠法令等：道路法第12条、第50条〕																										
	<p>(1) 事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 解決すべき課題                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般国道455号は、盛岡市北山の国道4号交差点を起点とし、下閉伊郡岩泉町小本の国道45号交差点に至る幹線道路であり、防災や地域間交流の面で極めて重要な役割を担っており、一般広域道路及び緊急輸送道路（第1次路線）に位置付けられている。</li> <li>・ 当該区間は、急カーブが連続する交通あい路区間となっており、安全で円滑な交通の支障となっている。</li> </ul> </li> <li>○ 整備によって得られる効果                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通あい路区間の解消により、災害時の緊急輸送道路の機能強化とともに、安全で円滑な交通の確保が図られる。</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画延長：L=910m（2車線）</li> <li>・ 計画幅員：W=6.0（9.0）m</li> </ul> <p>(3) 整備目標等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 線形不良、幅員狭小の解消：旧道延長1,020m</li> </ul> <p>(4) 事業計画期間及び総事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業計画期間：令和7年度～令和14年度 （用地着手予定年度：令和9年度、工事着手予定年度：令和10年度）</li> <li>○ 総事業費：1,000百万円</li> </ul>																										
社会経済情勢等の状況	<p>(1) 全国の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国の主要施策の基本方針として、「防災・減災、国土強靱化」「予防保全型メンテナンスへの本格転換」「人流・物流を支えるネットワーク・拠点の整備」「GXの推進による脱炭素社会の実現」「道路システムのDX」「道路空間の安全・安心や賑わいの創出」を定め、道路施策に取り組むこととしている。</li> </ul> <p>(2) 本県内の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「いわて県民計画（2019～2028）において、社会基盤分野として『防災対策や産業振興など幸福の追求を支える仕組みが整っている岩手』を政策推進の基本的な考え方としている。</li> <li>・ この中で道路分野では、災害に強い道路ネットワークを構築するため、幹線道路の整備や緊急輸送道路等の防災機能の強化及び日常生活を支える安全・安心な道づくりのため、救急輸送ルートや地域の実情に応じた道路整備、物流の効率化など生産性の向上を図るため、内陸部と港湾を結ぶ道路や工業団地、インターチェンジへのアクセス道路の整備を推進することとしている。</li> </ul> <p>(3) 施工地域における状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 盛岡市、岩泉町、田野畑村、普代村から当該地区の道路整備について強い要望がある。</li> </ul> <p>(参考) 予算の動向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後は整備効果の早期発現を図るため、「選択と集中」により継続地区に重点投資するほか、新規地区は、必要性、緊急性等の高い箇所を厳選して着手することとしている。</li> </ul> <p>道路建設課所管事業（補助・県単）の過去5年間の予算状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H10</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費（百万円）</td> <td>55,269</td> <td>25,428</td> <td>5,293</td> <td>6,160</td> <td>6,271</td> <td>6,701</td> </tr> <tr> <td>対前年度比</td> <td>—</td> <td>91.5%</td> <td>20.8%</td> <td>116.4%</td> <td>101.8%</td> <td>106.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ R5以前は2月補正予算、R6は当初予算。直轄負担金は含まない。</p>						年度	H10	R2	R3	R4	R5	R6	事業費（百万円）	55,269	25,428	5,293	6,160	6,271	6,701	対前年度比	—	91.5%	20.8%	116.4%	101.8%	106.9%
	年度	H10	R2	R3	R4	R5	R6																				
事業費（百万円）	55,269	25,428	5,293	6,160	6,271	6,701																					
対前年度比	—	91.5%	20.8%	116.4%	101.8%	106.9%																					

自然環境等の状況	<p>(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岩手県自然環境保全指針による保全区分 : C、D</li> <li>・ 希少野生動植物の生息の有無 : 有 (県レッドデータブックCランクの種が生息)</li> <li>・ 埋蔵文化財包蔵地の有無 : 無</li> </ul> <p>(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業実施にあたっては、広域振興局等で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら、必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進めることとする。</li> <li>・ 埋蔵文化財包蔵地については、関係機関と協議のうえ、必要に応じて調査等を実施する。</li> <li>・ 施工にあたっては、排ガス対策及び低騒音型建設機械の使用、再生アスファルト合材及び再生砕石の使用を基本とする。</li> </ul>																																																																																																																															
	<p>※ 自然環境の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</p>																																																																																																																															
<div style="display: flex; justify-content: flex-end; align-items: center; gap: 20px;"> <span>項目評価</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">a</span> <span>.</span> <span>b</span> <span>.</span> <span>c</span> </div>																																																																																																																																
事業計画の妥当性	<p>(1) 事業に関する指標からみた評価</p>																																																																																																																															
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 30%;">評価指標</th> <th style="width: 15%;">区分</th> <th style="width: 5%;">配点</th> <th style="width: 5%;">評点</th> <th style="width: 40%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="9" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">必要性</td> <td>車道等幅員</td> <td>現況最小幅員&lt;規定値-2m</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>現況幅員6.5m(規定値9.0m)</td> </tr> <tr> <td>曲線半径</td> <td>現況最小半径&lt;-10km/h縮小値</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>現況曲線半径45m(縮小値80m)</td> </tr> <tr> <td>縦断勾配</td> <td>現況勾配&gt;規定値(5%)</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>現況縦断勾配5.3%(規定値5%)</td> </tr> <tr> <td>歩道設置の必要性</td> <td>該当なし</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>不要</td> </tr> <tr> <td>混雑度</td> <td>現況混雑度&lt;1.0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0.17</td> </tr> <tr> <td>定時性</td> <td>10km/h以上</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>速度差15.1km/h</td> </tr> <tr> <td>事故率</td> <td>履歴なし</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0件/億台キロ</td> </tr> <tr> <td>過疎地域等の振興</td> <td>山村</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>盛岡市</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td></td> <td>30</td> <td>17</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">重要性</td> <td>ネットワークの位置付け</td> <td>一般広域道路</td> <td>15</td> <td>15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>産業振興、生活支援</td> <td>4項目以上該当</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>物流支援、観光支援、公共施設アクセス、峠道などの冬期の安全性確保</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>30</td> <td>30</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">緊急性</td> <td>関連事業の有無</td> <td>なし</td> <td>5</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等</td> <td>なし</td> <td>5</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>部分供用の有無</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10km以内に迂回路</td> <td>なし</td> <td>5</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>15</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">効率性</td> <td>費用便益比(B/C)</td> <td><math>1.5 \leq B/C &lt; 3.0</math></td> <td>20</td> <td>18</td> <td>B/C=1.8(2.6)</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>20</td> <td>18</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">熟度</td> <td>地元の協力</td> <td>0%</td> <td>3</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地元要望</td> <td>あり</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>5</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">合計</td> <td>100</td> <td>72</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		評価指標	区分	配点	評点	備考	必要性	車道等幅員	現況最小幅員<規定値-2m	5	5	現況幅員6.5m(規定値9.0m)	曲線半径	現況最小半径<-10km/h縮小値	5	5	現況曲線半径45m(縮小値80m)	縦断勾配	現況勾配>規定値(5%)	5	3	現況縦断勾配5.3%(規定値5%)	歩道設置の必要性	該当なし	3	0	不要	混雑度	現況混雑度<1.0	2	0	0.17	定時性	10km/h以上	2	2	速度差15.1km/h	事故率	履歴なし	3	0	0件/億台キロ	過疎地域等の振興	山村	5	2	盛岡市	小計			30	17		重要性	ネットワークの位置付け	一般広域道路	15	15		産業振興、生活支援	4項目以上該当	15	15	物流支援、観光支援、公共施設アクセス、峠道などの冬期の安全性確保	小計		30	30		緊急性	関連事業の有無	なし	5	0		冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等	なし	5	0		部分供用の有無	-	-	-		10km以内に迂回路	なし	5	5		小計		15	5		効率性	費用便益比(B/C)	$1.5 \leq B/C < 3.0$	20	18	B/C=1.8(2.6)	小計		20	18		熟度	地元の協力	0%	3	0		地元要望	あり	2	2		小計		5	2		合計			100	72
	評価指標	区分	配点	評点	備考																																																																																																																											
必要性	車道等幅員	現況最小幅員<規定値-2m	5	5	現況幅員6.5m(規定値9.0m)																																																																																																																											
	曲線半径	現況最小半径<-10km/h縮小値	5	5	現況曲線半径45m(縮小値80m)																																																																																																																											
	縦断勾配	現況勾配>規定値(5%)	5	3	現況縦断勾配5.3%(規定値5%)																																																																																																																											
	歩道設置の必要性	該当なし	3	0	不要																																																																																																																											
	混雑度	現況混雑度<1.0	2	0	0.17																																																																																																																											
	定時性	10km/h以上	2	2	速度差15.1km/h																																																																																																																											
	事故率	履歴なし	3	0	0件/億台キロ																																																																																																																											
	過疎地域等の振興	山村	5	2	盛岡市																																																																																																																											
	小計			30	17																																																																																																																											
重要性	ネットワークの位置付け	一般広域道路	15	15																																																																																																																												
	産業振興、生活支援	4項目以上該当	15	15	物流支援、観光支援、公共施設アクセス、峠道などの冬期の安全性確保																																																																																																																											
	小計		30	30																																																																																																																												
緊急性	関連事業の有無	なし	5	0																																																																																																																												
	冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等	なし	5	0																																																																																																																												
	部分供用の有無	-	-	-																																																																																																																												
	10km以内に迂回路	なし	5	5																																																																																																																												
	小計		15	5																																																																																																																												
効率性	費用便益比(B/C)	$1.5 \leq B/C < 3.0$	20	18	B/C=1.8(2.6)																																																																																																																											
	小計		20	18																																																																																																																												
熟度	地元の協力	0%	3	0																																																																																																																												
	地元要望	あり	2	2																																																																																																																												
	小計		5	2																																																																																																																												
合計			100	72																																																																																																																												
<p>※ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。</p>																																																																																																																																
<div style="display: flex; justify-content: flex-end; align-items: center; gap: 20px;"> <span>項目評価</span> <span>a</span> <span>.</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">b</span> <span>.</span> <span>c</span> </div>																																																																																																																																

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法：費用便益分析マニュアル（令和5年12月）  
 道路投資の評価に関する指針(案)第1編、第2編（平成10年6月）

基準年：令和6年度

区 分		金 額 ( 百 万 円 )	備 考
費用項目	改築費	735	
	維持費	44	
	総費用 (C)	779	
便益項目	時間短縮便益	572	
	走行経費減少便益	36	
	事故減少便益	2	
	3便益 ①	609	
	環境改善便益	18	
	拡張便益	813	
	その他便益 ②	830	
	小計 (①+②)	1,439	
	修正便益 ③	585	
	総便益 (B) ①+②+③	2,025	
費用便益比 (B/C) $B (①+②) / C$		1.8	
(参考) 修正費用便益比 $B (①+②+③) / C$		2.6	

参考 将来交通量 1,261台/日 (R22)

- ・ 総合評価では、地域修正係数による修正便益を考慮した修正B/Cを参考とする。
- ・ 端数の四捨五入の関係で、各計数の和が一致しない場合がある。

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

- ・ 特になし

(4) コスト縮減対策の取り組み状況

- ・ 再生アスファルト合材、再生砕石の使用を基本とする。
- ・ 当該工区で発生する掘削土は、当該工区の盛土材として使用するなどコスト縮減に努める。

(5) 代替案の比較検討結果

次の案と比較検討したが、以下の理由から本計画案が適当となったものである。

- 北側ルート案
  - ・ 盛土量が多く、土工バランスが悪い。更に、農地を分断するルートであり地域に与える影響が大きい。

(本計画案 南側ルート案)

- ・ 東側ルートに比べ土工バランスが良い。また、農地の分断を回避でき、経済的である。

事業計画の妥当性

(1) 総合評価

総合評価	AA ・ <b>A</b> ・ B ・ C
------	-----------------------

(事業名) 地域連携道路整備事業 (ネットワーク形成型) (国)455号 軽町

着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価		参考 B/C
				評価点数	評価結果	
R7	R14	1,000	a	72	b	B/C=1.8 (修正B/C=2.6)

○総合評価に係るコメント

- ・ 一般国道455号は、盛岡市北山の国道4号交差点を起点とし、下閉伊郡岩泉町小本の国道45号交差点に至る幹線道路であり、防災や地域間交流の面で極めて重要な役割を担っており、一般広域道路及び緊急輸送道路（第1次路線）に位置付けられている。
- ・ 当該区間は、急カーブが連続する交通あい路区間となっており、安全で円滑な交通の支障となっている。
- ・ 交通あい路区間の解消により、災害時の緊急輸送道路の機能強化とともに、安全で円滑な交通の確保が図られる。
- ・ 自然環境の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」評価、また、「事業計画の妥当性」については、評価指標の合計が60点以上80点未満となることから「b」評価としており、総合評価を「A」とした。
- ・ 社会経済情勢等の状況や代替案を検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、事業の実施が妥当であると判断したものである。

(2) その他特記事項

- ・ 特になし

総合評価

公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの) 令和6年10月24日作成

事業名	地域連携道路整備事業 (地域密着型)	補助・単独	担当部課名	県土整備部道路建設課																					
路線名等	主要地方道 二戸九戸線 <small>しゅうちゅうほうどう にのへくくのへせん</small>	地区名	白鳥 <small>しらとり</small>	市町村 二戸市																					
事業概要	〔事業根拠法令等：道路法第15条、第56条〕																								
	<p>(1) 事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 解決すべき課題                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主要地方道二戸九戸線は、二戸市石切所中曾根の国道4号交差点を起点とし、九戸郡九戸村長興寺の国道340号交差点に至る主要地方道であり、防災や地域間交流の面で極めて重要な役割を担っており、緊急輸送道路（1次路線）に位置付けられている。</li> <li>・ 当該区間は、幅員が狭く、急カーブが連続し、人身事故が発生するなど交通あい路区間となっており、安全で円滑な交通の支障となっている。</li> </ul> </li> <li>○ 整備によって得られる効果                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通あい路区間の解消により、災害時の緊急輸送道路の機能強化とともに、安全で円滑な交通の確保が図られる。</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画延長：L=1,570m（2車線（片側歩道：970m、歩道なし：600m））</li> <li>・ 計画幅員：W=6.0（9.5～12.0）m</li> </ul> <p>(3) 整備目標等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幅員狭小、線形不良の解消：旧道延長1,580m</li> </ul> <p>(4) 事業計画期間及び総事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業計画期間：令和7年度～令和16年度 （用地着手予定年度：令和9年度、工事着手予定年度：令和11年度）</li> <li>○ 総事業費：2,150百万円</li> </ul>																								
社会経済情勢等の状況	<p>(1) 全国の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国の主要施策の基本方針として、「防災・減災、国土強靱化」「予防保全型メンテナンスへの本格転換」「人流・物流を支えるネットワーク・拠点の整備」「GXの推進による脱炭素社会の実現」「道路システムのDX」「道路空間の安全・安心や賑わいの創出」を定め、道路施策に取り組むこととしている。</li> </ul> <p>(2) 本県内の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「いわて県民計画（2019～2028）において、社会基盤分野として『防災対策や産業振興など幸福の追求を支える仕組みが整っている岩手』を政策推進の基本的な考え方としている。</li> <li>・ この中で道路分野では、災害に強い道路ネットワークを構築するため、幹線道路の整備や緊急輸送道路等の防災機能の強化及び日常生活を支える安全・安心な道づくりのため、救急輸送ルートや地域の実情に応じた道路整備、物流の効率化など生産性の向上を図るため、内陸部と港湾を結ぶ道路や工業団地、インターチェンジへのアクセス道路の整備を推進することとしている。</li> </ul> <p>(3) 施工地域における状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 二戸市及び九戸村から当該地区の道路整備について強い要望がある。</li> </ul> <p>(参考) 予算の動向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後は整備効果の早期発現を図るため、「選択と集中」により継続地区に重点投資するほか、新規地区は、必要性、緊急性等の高い箇所を厳選して着手することとしている。</li> </ul> <p style="text-align: center;">道路建設課所管事業（補助・県単）の過去5年間の予算状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H10</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費（百万円）</td> <td>55,269</td> <td>25,428</td> <td>5,293</td> <td>6,160</td> <td>6,271</td> <td>6,701</td> </tr> <tr> <td>対前年度比</td> <td>—</td> <td>91.5%</td> <td>20.8%</td> <td>116.4%</td> <td>101.8%</td> <td>106.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ R5以前は2月補正予算、R6は当初予算。直轄負担金は含まない。</p>				年度	H10	R2	R3	R4	R5	R6	事業費（百万円）	55,269	25,428	5,293	6,160	6,271	6,701	対前年度比	—	91.5%	20.8%	116.4%	101.8%	106.9%
年度	H10	R2	R3	R4	R5	R6																			
事業費（百万円）	55,269	25,428	5,293	6,160	6,271	6,701																			
対前年度比	—	91.5%	20.8%	116.4%	101.8%	106.9%																			

自然環境等の状況	<p>(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岩手県自然環境保全指針による保全区分 : A、D</li> <li>・ 希少野生動植物の生息の有無 : 無</li> <li>・ 埋蔵文化財包蔵地の有無 : 無</li> </ul> <p>(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業実施にあたっては、広域振興局等で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら、必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進めることとする。</li> <li>・ 埋蔵文化財包蔵地については、関係機関と協議のうえ、必要に応じて調査等を実施する。</li> <li>・ 施工にあたっては、排ガス対策及び低騒音型建設機械の使用、再生アスファルト合材及び再生砕石の使用を基本とする。</li> </ul> <p>※ 自然環境の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</p>
	項目評価 (a) . b . c

事業計画の妥当性	(1) 事業に関する指標からみた評価					
		評価指標	区分	配点	評点	備考
	必要性	車道等幅員	現況最小幅員<規定値-2m	5	5	現況幅員6.5m(規定値9.0m)
		曲線半径	現況最小半径<-10km/h縮小値	5	5	現況曲線半径40m(縮小値80m)
		縦断勾配	現況勾配>規定値(5%)	5	3	現況縦断勾配5.9%(規定値5%)
		歩道設置の必要性	1項目以上該当	3	3	前後区間連続性確保の必要性
		混雑度	現況混雑度<1.0	2	0	0.55
		定時性	5.0km/h未満	2	0	速度差4.6km/h
		事故率	履歴あり	3	1	12.5件/億台キロ
		過疎地域等の振興	過疎	5	3	二戸市
		小計		30	20	
	重要性	ネットワークの位置付け	緊急輸送道路	5	4	
		産業振興、生活支援	4項目以上該当	15	15	物流支援、農業支援、林業支援、製造業支援、観光支援、公共施設アクセス
		小計		20	19	
	緊急性	関連事業の有無	なし	5	0	
冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等		あり	5	5	通行危険箇所(道路規格不連続)	
部分供用の有無		あり	2	2		
10km以内に迂回路		あり	3	0		
小計			15	7		
効率性	費用便益比(B/C)	1.5≤B/C<3.0	20	18	B/C=1.9(3.3)	
	小計		20	18		
熟度	地元の協力	0%	3	0		
	地元要望	あり	12	12		
	小計		15	12		
合計			100	76		
<p>※ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。</p>						
項目評価 a . (b) . c						

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法：費用便益分析マニュアル（令和5年12月）  
 道路投資の評価に関する指針(案)第1編、第2編（平成10年6月）

基準年：令和6年度

区 分		金 額 ( 百 万 円 )	備 考
費用項目	改築費	1,519	
	維持費	71	
	総費用 (C)	1,590	
便益項目	時間短縮便益	1,436	
	走行経費減少便益	65	
	事故減少便益	0	
	3便益 ①	1,502	
	環境改善便益	3	
	拡張便益	1,554	
	その他便益 ②	1,556	
	小計 (①+②)	3,058	
	修正便益 ③	2,252	
	総便益 (B) ①+②+③	5,310	
費用便益比 (B/C) $B (①+②) / C$		1.9	
(参考) 修正費用便益比 $B (①+②+③) / C$		3.3	

参考 将来交通量 3,629台/日 (R22)

- ・ 総合評価では、地域修正係数による修正便益を考慮した修正B/Cを参考とする。
- ・ 端数の四捨五入の関係で、各計数の和が一致しない場合がある。

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

- ・ 特になし

(4) コスト縮減対策の取り組み状況

- ・ 再生アスファルト合材、再生砕石の使用を基本とする。
- ・ 当該工区で発生する掘削土は、当該工区の盛土材として使用するなどコスト縮減に努める。

(5) 代替案の比較検討結果

次の案と比較検討したが、以下の理由から本計画案が適当となったものである。

- 現道拡幅案
  - ・ 支障家屋が多く、地域への影響が大きい。また、経済性で劣る。
- 南側バイパスルート案
  - ・ 延長が長く、経済性で劣る。

(本計画案 北側バイパスルート案)

- ・ 他案より支障家屋が少なく、延長も短いため、最も経済的である。

(1) 総合評価

総合評価	AA・ <b>A</b> ・B・C
------	-------------------

(事業名) 地域連携道路整備事業(地域密着型) (主)二戸九戸線 白鳥

着手年度	完了予定年度	事業費(百万円)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価		参考B/C
				評価点数	評価結果	
R7	R16	2,150	a	76	b	B/C=1.9 (修正B/C=3.3)

○総合評価に係るコメント

- ・ 主要地方道二戸九戸線は、二戸市石切所中曾根の国道4号交差点を起点とし、九戸郡九戸村長興寺の国道340号交差点に至る主要地方道であり、防災や地域間交流の面で極めて重要な役割を担っており、緊急輸送道路(1次路線)に位置付けられている。
- ・ 当該区間は、幅員が狭く、急カーブが連続し、人身事故が発生するなど交通あい路区間となっており、安全で円滑な交通の支障となっている。
- ・ 交通あい路区間の解消により、災害時の緊急輸送道路の機能強化とともに、安全で円滑な交通の確保が図られる。
- ・ 自然環境の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」評価、また、「事業計画の妥当性」については、評価指標の合計が60点以上80点未満となることから「b」評価としており、総合評価を「A」とした。
- ・ 社会経済情勢等の状況や代替案を検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、事業の実施が妥当であると判断したものである。

(2) その他特記事項

- ・ 特になし

総合評価



公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの) 令和6年10月24日作成

事業名	地域連携道路整備事業 (地域密着型)	(補助)・単独	担当部課名	県土整備部道路建設課																					
路線名等	主要地方道 宮古岩泉線 <small>しゅうちほうどう みやこ いわいずみせん</small>	地区名	猿沢 <small>さるさわ</small>	市町村	岩泉町																				
事業概要	〔事業根拠法令等：道路法第15条、第56条〕																								
	<p>(1) 事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 解決すべき課題                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主要地方道宮古岩泉線は、宮古市上鼻の国道106号交差点を起点とし、下閉伊郡岩泉町乙茂の国道455号交差点に至る主要地方道であり、岩泉町役場有芸支所へのアクセスなど、地域住民の生活に欠かすことのできない路線である。</li> <li>・ 当該区間は、有芸支所～国道455号交差点間で唯一の1車線区間であり、車両のすれ違いが困難であることや、急カーブが連続し見通しも悪いため、安全で円滑な交通の支障となっている。</li> </ul> </li> <li>○ 整備によって得られる効果                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通あい路区間の解消により、安全で円滑な交通の確保が図られる。</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画延長：L=1,160m (2車線)</li> <li>・ 計画幅員：W=5.5 (7.0) m</li> </ul> <p>(3) 整備目標等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幅員狭小、線形不良の解消：旧道延長1,160m</li> </ul> <p>(4) 事業計画期間及び総事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業計画期間：令和7年度～令和14年度 (用地着手予定年度：令和9年度、工事着手予定年度：令和10年度)</li> <li>○ 総事業費：1,250百万円</li> </ul>																								
社会経済情勢等の状況	<p>(1) 全国の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国の主要施策の基本方針として、「防災・減災、国土強靱化」「予防保全型メンテナンスへの本格転換」「人流・物流を支えるネットワーク・拠点の整備」「GXの推進による脱炭素社会の実現」「道路システムのDX」「道路空間の安全・安心や賑わいの創出」を定め、道路施策に取り組むこととしている。</li> </ul> <p>(2) 本県内の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「いわて県民計画(2019～2028)において、社会基盤分野として『防災対策や産業振興など幸福の追求を支える仕組みが整っている岩手』を政策推進の基本的な考え方としている。</li> <li>・ この中で道路分野では、災害に強い道路ネットワークを構築するため、幹線道路の整備や緊急輸送道路等の防災機能の強化及び日常生活を支える安全・安心な道づくりのため、救急輸送ルートや地域の実情に応じた道路整備、物流の効率化など生産性の向上を図るため、内陸部と港湾を結ぶ道路や工業団地、インターチェンジへのアクセス道路の整備を推進することとしている。</li> </ul> <p>(3) 施工地域における状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岩泉町から当該地区の整備促進について強い要望がある。</li> </ul> <p>(参考) 予算の動向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後は整備効果の早期発現を図るため、「選択と集中」により継続地区に重点投資するほか、新規地区は、必要性、緊急性等の高い箇所を厳選して着手することとしている。</li> </ul> <p style="text-align: center;">道路建設課所管事業(補助・県単)の過去5年間の予算状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H10</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費(百万円)</td> <td>55,269</td> <td>25,428</td> <td>5,293</td> <td>6,160</td> <td>6,271</td> <td>6,701</td> </tr> <tr> <td>対前年度比</td> <td>—</td> <td>91.5%</td> <td>20.8%</td> <td>116.4%</td> <td>101.8%</td> <td>106.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ R5以前は2月補正予算、R6は当初予算。直轄負担金は含まない。</p>				年度	H10	R2	R3	R4	R5	R6	事業費(百万円)	55,269	25,428	5,293	6,160	6,271	6,701	対前年度比	—	91.5%	20.8%	116.4%	101.8%	106.9%
年度	H10	R2	R3	R4	R5	R6																			
事業費(百万円)	55,269	25,428	5,293	6,160	6,271	6,701																			
対前年度比	—	91.5%	20.8%	116.4%	101.8%	106.9%																			

自然環境等の状況	<p>(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岩手県自然環境保全指針による保全区分： B、D</li> <li>希少野生動植物の生息の有無： 有（県レッドデータブックAランクの種が生息）</li> <li>埋蔵文化財包蔵地の有無： 無</li> </ul> <p>(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施にあたっては、広域振興局等で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら、必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進めることとする。</li> <li>埋蔵文化財包蔵地については、関係機関と協議のうえ、必要に応じて調査等を実施する。</li> <li>施工にあたっては、排ガス対策及び低騒音型建設機械の使用、再生アスファルト合材及び再生砕石の使用を基本とする。</li> </ul> <p>※ 自然環境の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</p>																																																																																																																														
	項目評価 (a) . b . c																																																																																																																														
事業計画の妥当性	<p>(1) 事業に関する指標からみた評価</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>区分</th> <th>配点</th> <th>評点</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="9">必要性</td> <td>車道等幅員</td> <td>現況最小幅員&lt;規定値-2m</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>現況幅員3.5m(規定値8.5m)</td> </tr> <tr> <td>曲線半径</td> <td>現況最小半径&lt;-10km/h縮小値</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>現況曲線半径40m(縮小値50m)</td> </tr> <tr> <td>縦断勾配</td> <td>現況勾配&gt;規定値(6%)</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>現況縦断勾配6.1%(規定値6%)</td> </tr> <tr> <td>歩道設置の必要性</td> <td>該当なし</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>不要</td> </tr> <tr> <td>混雑度</td> <td>現況混雑度&lt;1.0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0.14</td> </tr> <tr> <td>定時性</td> <td>5.0km/h未満</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>速度差4.6km/h</td> </tr> <tr> <td>事故率</td> <td>履歴なし</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0件/億台キロ</td> </tr> <tr> <td>過疎地域等の振興</td> <td>過疎山振</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>岩泉町</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>30</td> <td>18</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">重要性</td> <td>ネットワークの位置付け</td> <td>広域振興圏内主要都市へのアクセス</td> <td>5</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>産業振興、生活支援</td> <td>4項目以上該当</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>農業支援、林業支援、公共施設アクセス、通園通学路の安全性向上</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>20</td> <td>18</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">緊急性</td> <td>関連事業の有無</td> <td>あり</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>風力発電事業</td> </tr> <tr> <td>冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等</td> <td>あり</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>通行危険箇所(車両すれ違い困難箇所)、老朽橋</td> </tr> <tr> <td>部分供用の有無</td> <td>あり</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10km以内に迂回路</td> <td>なし</td> <td>3</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>15</td> <td>15</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">効率性</td> <td>費用便益比(B/C)</td> <td><math>0.6 \leq B/C &lt; 1.0</math></td> <td>20</td> <td>7</td> <td>B/C=0.8(1.3)</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>20</td> <td>7</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">熟度</td> <td>地元の協力</td> <td>0%</td> <td>3</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地元要望</td> <td>あり</td> <td>12</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>15</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合計</td> <td></td> <td>100</td> <td>70</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。</p>	評価指標	区分	配点	評点	備考	必要性	車道等幅員	現況最小幅員<規定値-2m	5	5	現況幅員3.5m(規定値8.5m)	曲線半径	現況最小半径<-10km/h縮小値	5	5	現況曲線半径40m(縮小値50m)	縦断勾配	現況勾配>規定値(6%)	5	3	現況縦断勾配6.1%(規定値6%)	歩道設置の必要性	該当なし	3	0	不要	混雑度	現況混雑度<1.0	2	0	0.14	定時性	5.0km/h未満	2	0	速度差4.6km/h	事故率	履歴なし	3	0	0件/億台キロ	過疎地域等の振興	過疎山振	5	5	岩泉町	小計		30	18		重要性	ネットワークの位置付け	広域振興圏内主要都市へのアクセス	5	3		産業振興、生活支援	4項目以上該当	15	15	農業支援、林業支援、公共施設アクセス、通園通学路の安全性向上	小計		20	18		緊急性	関連事業の有無	あり	5	5	風力発電事業	冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等	あり	5	5	通行危険箇所(車両すれ違い困難箇所)、老朽橋	部分供用の有無	あり	2	2		10km以内に迂回路	なし	3	3		小計		15	15		効率性	費用便益比(B/C)	$0.6 \leq B/C < 1.0$	20	7	B/C=0.8(1.3)	小計		20	7		熟度	地元の協力	0%	3	0		地元要望	あり	12	12		小計		15	12		合計			100	70	
	評価指標	区分	配点	評点	備考																																																																																																																										
必要性	車道等幅員	現況最小幅員<規定値-2m	5	5	現況幅員3.5m(規定値8.5m)																																																																																																																										
	曲線半径	現況最小半径<-10km/h縮小値	5	5	現況曲線半径40m(縮小値50m)																																																																																																																										
	縦断勾配	現況勾配>規定値(6%)	5	3	現況縦断勾配6.1%(規定値6%)																																																																																																																										
	歩道設置の必要性	該当なし	3	0	不要																																																																																																																										
	混雑度	現況混雑度<1.0	2	0	0.14																																																																																																																										
	定時性	5.0km/h未満	2	0	速度差4.6km/h																																																																																																																										
	事故率	履歴なし	3	0	0件/億台キロ																																																																																																																										
	過疎地域等の振興	過疎山振	5	5	岩泉町																																																																																																																										
	小計		30	18																																																																																																																											
重要性	ネットワークの位置付け	広域振興圏内主要都市へのアクセス	5	3																																																																																																																											
	産業振興、生活支援	4項目以上該当	15	15	農業支援、林業支援、公共施設アクセス、通園通学路の安全性向上																																																																																																																										
	小計		20	18																																																																																																																											
緊急性	関連事業の有無	あり	5	5	風力発電事業																																																																																																																										
	冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等	あり	5	5	通行危険箇所(車両すれ違い困難箇所)、老朽橋																																																																																																																										
	部分供用の有無	あり	2	2																																																																																																																											
	10km以内に迂回路	なし	3	3																																																																																																																											
	小計		15	15																																																																																																																											
効率性	費用便益比(B/C)	$0.6 \leq B/C < 1.0$	20	7	B/C=0.8(1.3)																																																																																																																										
	小計		20	7																																																																																																																											
熟度	地元の協力	0%	3	0																																																																																																																											
	地元要望	あり	12	12																																																																																																																											
	小計		15	12																																																																																																																											
合計			100	70																																																																																																																											
項目評価 a . (b) . c																																																																																																																															

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法：費用便益分析マニュアル（令和5年12月）  
 道路投資の評価に関する指針(案)第1編、第2編（平成10年6月）

基準年：令和6年度

区 分		金 額 ( 百 万 円 )	備 考
費用項目	改築費	924	
	維持費	34	
	総費用 (C)	958	
便益項目	時間短縮便益	394	
	走行経費減少便益	14	
	事故減少便益	0	
	3便益 ①	409	
	環境改善便益	0	
	拡張便益	369	
	その他便益 ②	369	
	小計 (①+②)	778	
	修正便益 ③	494	
	総便益 (B) ①+②+③	1,271	
費用便益比 (B/C) $B (①+②) / C$		0.8	
(参考) 修正費用便益比 $B (①+②+③) / C$		1.3	

参考 将来交通量 346台/日 (R22)

- ・ 総合評価では、地域修正係数による修正便益を考慮した修正B/Cを参考とする。
- ・ 端数の四捨五入の関係で、各計数の和が一致しない場合がある。

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

- ・ 風力発電事業 (SGET岩泉ウインドファーム)

(4) コスト縮減対策の取り組み状況

- ・ 再生アスファルト合材、再生砕石の使用を基本とする。
- ・ 当該工区で発生する掘削土は、当該工区の盛土材として使用するなどコスト縮減に努める。

(5) 代替案の比較検討結果

次の案と比較検討したが、以下の理由から本計画案が適当となったものである。

- バイパス (土工) 案
  - ・ 長大のり面の発生、大規模土工など施工性、経済性で劣る。
- バイパス (トンネル) 案
  - ・ 走行性、安全性に優れるが、経済性で最も劣る。

(本計画案 現道拡幅案)

- ・ 沿道へのアクセスに優れ、最も経済的である。

(1) 総合評価

総合評価	AA・ <b>A</b> ・B・C
------	-------------------

(事業名) 地域連携道路整備事業(地域密着型) (主)宮古岩泉線 猿沢

着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	自然環境等の 状況に係る評価 結果	事業に関する指標 からみた評価		参考 B/C
				評価点数	評価結果	
R7	R14	1,250	a	70	b	B/C=0.8 (修正B/C=1.3)

○総合評価に係るコメント

- ・ 主要地方道宮古岩泉線は、宮古市上鼻の国道106号交差点を起点とし、下閉伊郡岩泉町乙茂の国道455号交差点に至る主要地方道であり、岩泉町役場有芸支所へのアクセスなど、地域住民の生活に欠かすことのできない路線である。
- ・ 当該区間は、有芸支所～国道455号交差点間で唯一の1車線区間であり、車両のすれ違いが困難であることや、急カーブが連続し見通しも悪いため、安全で円滑な交通の支障となっている。
- ・ このことから、本事業により改良整備を行い、安全で円滑な交通の確保を図るものである。
- ・ 自然環境の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」評価、また、「事業計画の妥当性」については、評価指標の合計が60点以上80点未満となることから「b」評価としており、総合評価を「A」とした。
- ・ 社会経済情勢等の状況や代替案を検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、事業の実施が妥当であると判断したものである。

(2) その他特記事項

- ・ 特になし

総合評価

公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの) 令和6年10月24日作成

事業名	地域連携道路整備事業 (地域密着型)	補助・単独	担当部課名	県土整備部道路建設課																					
路線名等	いっばん けんどう せたまいやはぎせん 一般県道 世田米矢作線	地区名	おいて 生出	市町村 陸前高田市																					
事業概要	〔事業根拠法令等：道路法第15条、第56条〕																								
	<p>(1) 事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 解決すべき課題                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般県道世田米矢作線は、住田町世田米の国道397号交差点を起点とし、陸前高田市矢作町の国道343号交差点に至る一般県道であり、地域住民の生活に欠かすことのできない路線である。</li> <li>・ 当該区間は、幅員狭小であり車両のすれ違いが困難であることや、急カーブが連続し見通しも悪いため、安全で円滑な交通の支障となっている。</li> </ul> </li> <li>○ 整備によって得られる効果                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通あい路区間の解消により、安全で円滑な交通の確保が図られる。</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画延長：L=640m</li> <li>・ 計画幅員：W=4.0 (5.0) m (1.5車線の道路整備)</li> </ul> <p>(3) 整備目標等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幅員狭小、線形不良、視距不良区間の解消：640m</li> </ul> <p>(4) 事業計画期間及び総事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業計画期間：令和7年度～令和14年度 (用地着手予定年度：令和10年度、工事着手予定年度：令和11年度)</li> <li>○ 総事業費：260百万円</li> </ul>																								
社会経済情勢等の状況	<p>(1) 全国の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国の主要施策の基本方針として、「防災・減災、国土強靱化」「予防保全型メンテナンスへの本格転換」「人流・物流を支えるネットワーク・拠点の整備」「GXの推進による脱炭素社会の実現」「道路システムのDX」「道路空間の安全・安心や賑わいの創出」を定め、道路施策に取り組むこととしている。</li> </ul> <p>(2) 本県内の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「いわて県民計画(2019～2028)において、社会基盤分野として『防災対策や産業振興など幸福の追求を支える仕組みが整っている岩手』を政策推進の基本的な考え方としている。</li> <li>・ この中で道路分野では、災害に強い道路ネットワークを構築するため、幹線道路の整備や緊急輸送道路等の防災機能の強化及び日常生活を支える安全・安心な道づくりのため、救急輸送ルートや地域の実情に応じた道路整備、物流の効率化など生産性の向上を図るため、内陸部と港湾を結ぶ道路や工業団地、インターチェンジへのアクセス道路の整備を推進することとしている。</li> </ul> <p>(3) 施工地域における状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 陸前高田市から当該地区の道路整備について強い要望がある。</li> </ul> <p>(参考) 予算の動向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後は整備効果の早期発現を図るため、「選択と集中」により継続地区に重点投資するほか、新規地区は、必要性、緊急性等の高い箇所を厳選して着手することとしている。</li> </ul> <p style="text-align: center;">道路建設課所管事業(補助・県単)の過去5年間の予算状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H10</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費(百万円)</td> <td>55,269</td> <td>25,428</td> <td>5,293</td> <td>6,160</td> <td>6,271</td> <td>6,701</td> </tr> <tr> <td>対前年度比</td> <td>—</td> <td>91.5%</td> <td>20.8%</td> <td>116.4%</td> <td>101.8%</td> <td>106.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ R5以前は2月補正予算、R6は当初予算。直轄負担金は含まない。</p>				年度	H10	R2	R3	R4	R5	R6	事業費(百万円)	55,269	25,428	5,293	6,160	6,271	6,701	対前年度比	—	91.5%	20.8%	116.4%	101.8%	106.9%
年度	H10	R2	R3	R4	R5	R6																			
事業費(百万円)	55,269	25,428	5,293	6,160	6,271	6,701																			
対前年度比	—	91.5%	20.8%	116.4%	101.8%	106.9%																			

自然環境等の状況	<p>(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岩手県自然環境保全指針による保全区分 : B</li> <li>・ 希少野生動植物の生息の有無 : 有 (県レッドデータブック A・B・C・Dランクの種が生息)</li> <li>・ 埋蔵文化財包蔵地の有無 : 無</li> </ul>																																																																																																																																				
	<p>(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業実施にあたっては、広域振興局等で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら、必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進めることとする。</li> <li>・ 埋蔵文化財包蔵地については、関係機関と協議のうえ、必要に応じて調査等を実施する。</li> <li>・ 施工にあたっては、排ガス対策及び低騒音型建設機械の使用、再生アスファルト合材及び再生砕石の使用を基本とする。</li> </ul>																																																																																																																																				
<p>※ 自然環境の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</p>																																																																																																																																					
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: 0;"> <tr> <td style="padding: 2px;">項目評価</td> <td style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">a</td> <td style="padding: 2px;">.</td> <td style="padding: 2px;">b</td> <td style="padding: 2px;">.</td> <td style="padding: 2px;">c</td> </tr> </table>		項目評価	a	.	b	.	c																																																																																																																														
項目評価	a	.	b	.	c																																																																																																																																
事業計画の妥当性	(1) 事業に関する指標からみた評価																																																																																																																																				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 30%;">評価指標</th> <th style="width: 15%;">区分</th> <th style="width: 5%;">配点</th> <th style="width: 5%;">評点</th> <th style="width: 35%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">必要性</td> <td>車道等幅員</td> <td>現況最小幅員&lt;規定値-1m</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>現況幅員3.5m(規定値5.0m)</td> </tr> <tr> <td>曲線半径</td> <td>現況最小半径&lt;-10km/h規定値</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>現況曲線半径45m(規定値50m)</td> </tr> <tr> <td>縦断勾配</td> <td>現況勾配&gt;規定値(7%)</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>現況縦断勾配4.7%(規定値7%)</td> </tr> <tr> <td>歩道設置の必要性</td> <td>該当なし</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>不要</td> </tr> <tr> <td>混雑度</td> <td>現況混雑度&lt;1.0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0.48</td> </tr> <tr> <td>定時性</td> <td>5.0km/h未満</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>速度差0.0km/h</td> </tr> <tr> <td>事故率</td> <td>履歴なし</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0件/億台キロ</td> </tr> <tr> <td>過疎地域等の振興</td> <td>過疎山村</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>陸前高田市</td> </tr> <tr> <td colspan="2">小計</td> <td></td> <td>30</td> <td>14</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">重要性</td> <td>ネットワークの位置付け</td> <td>位置付けなし</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>ネットワーク区分のいずれにも該当しない路線</td> </tr> <tr> <td>産業振興、生活支援</td> <td>4項目以上該当</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>林業支援、水産業支援、観光支援、公共施設アクセス、ローカルスタンダード</td> </tr> <tr> <td colspan="2">小計</td> <td></td> <td>20</td> <td>17</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">緊急性</td> <td>関連事業の有無</td> <td>あり</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>市道整備事業</td> </tr> <tr> <td>冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等</td> <td>あり</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>通行危険箇所(車両すれ違い困難箇所)</td> </tr> <tr> <td>部分供用の有無</td> <td>あり</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10km以内に迂回路</td> <td>あり</td> <td>3</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">小計</td> <td></td> <td>15</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">効率性</td> <td>費用便益比(B/C)</td> <td><math>1.0 \leq B/C &lt; 1.5</math></td> <td>20</td> <td>15</td> <td>B/C=1.0(1.6)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">小計</td> <td></td> <td>20</td> <td>15</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">熟度</td> <td>地元の協力</td> <td>0%</td> <td>3</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地元要望</td> <td>あり</td> <td>12</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">小計</td> <td></td> <td>15</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合計</td> <td></td> <td>100</td> <td>70</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		評価指標	区分	配点	評点	備考	必要性	車道等幅員	現況最小幅員<規定値-1m	5	5	現況幅員3.5m(規定値5.0m)	曲線半径	現況最小半径<-10km/h規定値	5	4	現況曲線半径45m(規定値50m)	縦断勾配	現況勾配>規定値(7%)	5	0	現況縦断勾配4.7%(規定値7%)	歩道設置の必要性	該当なし	3	0	不要	混雑度	現況混雑度<1.0	2	0	0.48	定時性	5.0km/h未満	2	0	速度差0.0km/h	事故率	履歴なし	3	0	0件/億台キロ	過疎地域等の振興	過疎山村	5	5	陸前高田市	小計			30	14		重要性	ネットワークの位置付け	位置付けなし	5	2	ネットワーク区分のいずれにも該当しない路線	産業振興、生活支援	4項目以上該当	15	15	林業支援、水産業支援、観光支援、公共施設アクセス、ローカルスタンダード	小計			20	17		緊急性	関連事業の有無	あり	5	5	市道整備事業	冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等	あり	5	5	通行危険箇所(車両すれ違い困難箇所)	部分供用の有無	あり	2	2		10km以内に迂回路	あり	3	0		小計			15	12		効率性	費用便益比(B/C)	$1.0 \leq B/C < 1.5$	20	15	B/C=1.0(1.6)	小計			20	15		熟度	地元の協力	0%	3	0		地元要望	あり	12	12		小計			15	12		合計			100	70	
		評価指標	区分	配点	評点	備考																																																																																																																															
	必要性	車道等幅員	現況最小幅員<規定値-1m	5	5	現況幅員3.5m(規定値5.0m)																																																																																																																															
		曲線半径	現況最小半径<-10km/h規定値	5	4	現況曲線半径45m(規定値50m)																																																																																																																															
		縦断勾配	現況勾配>規定値(7%)	5	0	現況縦断勾配4.7%(規定値7%)																																																																																																																															
		歩道設置の必要性	該当なし	3	0	不要																																																																																																																															
		混雑度	現況混雑度<1.0	2	0	0.48																																																																																																																															
		定時性	5.0km/h未満	2	0	速度差0.0km/h																																																																																																																															
		事故率	履歴なし	3	0	0件/億台キロ																																																																																																																															
		過疎地域等の振興	過疎山村	5	5	陸前高田市																																																																																																																															
	小計			30	14																																																																																																																																
	重要性	ネットワークの位置付け	位置付けなし	5	2	ネットワーク区分のいずれにも該当しない路線																																																																																																																															
		産業振興、生活支援	4項目以上該当	15	15	林業支援、水産業支援、観光支援、公共施設アクセス、ローカルスタンダード																																																																																																																															
		小計			20	17																																																																																																																															
	緊急性	関連事業の有無	あり	5	5	市道整備事業																																																																																																																															
		冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等	あり	5	5	通行危険箇所(車両すれ違い困難箇所)																																																																																																																															
		部分供用の有無	あり	2	2																																																																																																																																
		10km以内に迂回路	あり	3	0																																																																																																																																
		小計			15	12																																																																																																																															
	効率性	費用便益比(B/C)	$1.0 \leq B/C < 1.5$	20	15	B/C=1.0(1.6)																																																																																																																															
		小計			20	15																																																																																																																															
	熟度	地元の協力	0%	3	0																																																																																																																																
		地元要望	あり	12	12																																																																																																																																
		小計			15	12																																																																																																																															
合計			100	70																																																																																																																																	
<p>※ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。</p>																																																																																																																																					
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: 0;"> <tr> <td style="padding: 2px;">項目評価</td> <td style="padding: 2px;">a</td> <td style="padding: 2px;">.</td> <td style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">b</td> <td style="padding: 2px;">.</td> <td style="padding: 2px;">c</td> </tr> </table>		項目評価	a	.	b	.	c																																																																																																																														
項目評価	a	.	b	.	c																																																																																																																																

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法：費用便益分析マニュアル（令和5年12月）  
 道路投資の評価に関する指針(案)第1編、第2編（平成10年6月）

基準年：令和6年度

区 分		金 額 ( 百 万 円 )	備 考
費用項目	改築費	193	
	維持費	9	
	総費用 (C)	203	
便益項目	時間短縮便益	57	
	走行経費減少便益	3	
	事故減少便益	0	
	3便益 ①	60	
	環境改善便益	0	
	拡張便益	143	
	その他便益 ②	143	
	小計 (①+②)	203	
	修正便益 ③	129	
	総便益 (B) ①+②+③	332	
費用便益比 (B/C) $B (①+②) / C$		1.0	
(参考) 修正費用便益比 $B (①+②+③) / C$		1.6	

参考 将来交通量 193台/日 (R22)

- ・ 総合評価では、地域修正係数による修正便益を考慮した修正B/Cを参考とする。
- ・ 端数の四捨五入の関係で、各計数の和が一致しない場合がある。

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

- ・ 市道三の戸線 道路整備事業

(4) コスト縮減対策の取り組み状況

- ・ 再生アスファルト合材、再生砕石の使用を基本とする。

(5) 代替案の比較検討結果

全線2車線の道路整備ではなく、地域住民との合意形成による「1.5車線の道路整備」であり、現道の部分改良のため、代替案はない。

事業計画の妥当性

(1) 総合評価

総合評価	AA・ <b>A</b> ・B・C
------	-------------------

(事業名) 地域連携道路整備事業(地域密着型) (一)世田米矢作線 生出

着手年度	完了予定年度	事業費(百万円)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価		参考B/C
				評価点数	評価結果	
R7	R14	260	a	70	b	B/C=1.0 (修正B/C=1.6)

○総合評価に係るコメント

総合評価

- ・ 一般県道世田米矢作線は、住田町世田米の国道397号交差点を起点とし、陸前高田市矢作町の国道343号交差点に至る一般県道であり、地域住民の生活に欠かすことのできない路線である。
- ・ 当該区間は、幅員狭小であり車両のすれ違いが困難であることや、急カーブが連続し見通しも悪いため、安全で円滑な交通の支障となっている。
- ・ このことから、本事業により改良整備を行い、安全で円滑な交通の確保を図るものである。
- ・ 自然環境の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」評価、また、「事業計画の妥当性」については、評価指標の合計が60点以上80点未満となることから「b」評価としており、総合評価を「A」とした。
- ・ 社会経済情勢の状況や地域住民との合意形成結果を検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、事業の実施が妥当であると判断したものである。

(2) その他特記事項

- ・ 特になし



公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの) 令和6年10月24日作成

事業名	地域連携道路整備事業 (地域密着型)	補助・単独	担当部課名	県土整備部道路建設課																					
路線名等	いっばんけんどう 一般県道 佐比内彦部線 さひないひこべせん	地区名	よこまち 横町	市町村 紫波町																					
事業概要	〔事業根拠法令等：道路法第15条、第56条〕																								
	<p>(1) 事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 解決すべき課題                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般県道佐比内彦部線は、紫波郡紫波町佐比内の国道396号交差点を起点とし、紫波郡紫波町彦部の国道456号交差点に至る一般県道であり、地域住民の生活道路であるとともに、遠野市や沿岸南部と紫波町中心部を結ぶ重要な路線である。</li> <li>・ 当該区間は、路線唯一の1車線区間であり車両のすれ違いが困難であるなど、安全で円滑な交通の支障となっている。</li> </ul> </li> <li>○ 整備によって得られる効果                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通あい路区間の解消により、安全で円滑な交通の確保が図られる。</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画延長：L=600m (2車線)</li> <li>・ 計画幅員：W=6.0 (9.0) m</li> </ul> <p>(3) 整備目標等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幅員狭小の解消：旧道延長690m</li> </ul> <p>(4) 事業計画期間及び総事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業計画期間：令和7年度～令和13年度 (用地着手予定年度：令和9年度、工事着手予定年度：令和10年度)</li> <li>○ 総事業費：600百万円</li> </ul>																								
社会経済情勢等の状況	<p>(1) 全国の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国の主要施策の基本方針として、「防災・減災、国土強靱化」「予防保全型メンテナンスへの本格転換」「人流・物流を支えるネットワーク・拠点の整備」「GXの推進による脱炭素社会の実現」「道路システムのDX」「道路空間の安全・安心や賑わいの創出」を定め、道路施策に取り組むこととしている。</li> </ul> <p>(2) 本県内の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「いわて県民計画(2019～2028)において、社会基盤分野として『防災対策や産業振興など幸福の追求を支える仕組みが整っている岩手』を政策推進の基本的な考え方としている。</li> <li>・ この中で道路分野では、災害に強い道路ネットワークを構築するため、幹線道路の整備や緊急輸送道路等の防災機能の強化及び日常生活を支える安全・安心な道づくりのため、救急輸送ルートや地域の実情に応じた道路整備、物流の効率化など生産性の向上を図るため、内陸部と港湾を結ぶ道路や工業団地、インターチェンジへのアクセス道路の整備を推進することとしている。</li> </ul> <p>(3) 施工地域における状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 紫波町から当該地区の整備促進について強い要望がある。</li> </ul> <p>(参考) 予算の動向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後は整備効果の早期発現を図るため、「選択と集中」により継続地区に重点投資するほか、新規地区は、必要性、緊急性等の高い箇所を厳選して着手することとしている。</li> </ul> <p>道路建設課所管事業(補助・県単)の過去5年間の予算状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H10</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費(百万円)</td> <td>55,269</td> <td>25,428</td> <td>5,293</td> <td>6,160</td> <td>6,271</td> <td>6,701</td> </tr> <tr> <td>対前年度比</td> <td>—</td> <td>91.5%</td> <td>20.8%</td> <td>116.4%</td> <td>101.8%</td> <td>106.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ R5以前は2月補正予算、R6は当初予算。直轄負担金は含まない。</p>				年度	H10	R2	R3	R4	R5	R6	事業費(百万円)	55,269	25,428	5,293	6,160	6,271	6,701	対前年度比	—	91.5%	20.8%	116.4%	101.8%	106.9%
	年度	H10	R2	R3	R4	R5	R6																		
事業費(百万円)	55,269	25,428	5,293	6,160	6,271	6,701																			
対前年度比	—	91.5%	20.8%	116.4%	101.8%	106.9%																			

自然環境等の状況	<p>(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岩手県自然環境保全指針による保全区分 : D、E</li> <li>・ 希少野生動植物の生息の有無 : 無</li> <li>・ 埋蔵文化財包蔵地の有無 : 無</li> </ul> <p>(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業実施にあたっては、広域振興局等で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら、必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進めることとする。</li> <li>・ 埋蔵文化財包蔵地については、関係機関と協議のうえ、必要に応じて調査等を実施する。</li> <li>・ 施工にあたっては、排ガス対策及び低騒音型建設機械の使用、再生アスファルト合材及び再生砕石の使用を基本とする。</li> </ul> <p>※ 自然環境の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</p>																																																																																																																																
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding: 5px;">項目評価</td> <td style="padding: 5px; border: 2px solid black; border-radius: 50%; text-align: center;">a</td> <td style="padding: 5px;">.</td> <td style="padding: 5px;">b</td> <td style="padding: 5px;">.</td> <td style="padding: 5px;">c</td> </tr> </table>	項目評価	a	.	b	.	c																																																																																																																										
項目評価	a	.	b	.	c																																																																																																																												
事業計画の妥当性	<p>(1) 事業に関する指標からみた評価</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 25%;">評価指標</th> <th style="width: 15%;">区分</th> <th style="width: 5%;">配点</th> <th style="width: 5%;">評点</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="9" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; text-align: center;">必要性</td> <td>車道等幅員</td> <td>現況最小幅員&lt;規定値-2m</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>現況幅員4.0m(規定値9.0m)</td> </tr> <tr> <td>曲線半径</td> <td>現況最小半径&lt;-10km/h縮小値</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>現況曲線半径25m(縮小値80m)</td> </tr> <tr> <td>縦断勾配</td> <td>現況勾配≤規定値(5%)</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>現況縦断勾配2.2%(規定値5%)</td> </tr> <tr> <td>歩道設置の必要性</td> <td>該当なし</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>不要</td> </tr> <tr> <td>混雑度</td> <td>現況混雑度&lt;1.0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0.22</td> </tr> <tr> <td>定時性</td> <td>5.0km/h未満</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>速度差0.8km/h</td> </tr> <tr> <td>事故率</td> <td>履歴なし</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0件/億台キロ</td> </tr> <tr> <td>過疎地域等の振興</td> <td>山振</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>紫波町</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td></td> <td>30</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; text-align: center;">重要性</td> <td>ネットワークの位置付け</td> <td>位置付けなし</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>ネットワーク区分のいずれにも該当しない路線</td> </tr> <tr> <td>産業振興、生活支援</td> <td>4項目以上該当</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>農業支援、観光支援、公共施設アクセス、通園通学路の安全性向上</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>20</td> <td>17</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; text-align: center;">緊急性</td> <td>関連事業の有無</td> <td>なし</td> <td>5</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等</td> <td>あり</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>通行危険箇所(車両すれ違い困難箇所)</td> </tr> <tr> <td>部分供用の有無</td> <td>なし</td> <td>2</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10km以内に迂回路</td> <td>あり</td> <td>3</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>15</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; text-align: center;">効率性</td> <td>費用便益比(B/C)</td> <td><math>3.0 \leq B/C</math></td> <td>20</td> <td>20</td> <td>B/C=7.1(10.0)</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>20</td> <td>20</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; text-align: center;">熟度</td> <td>地元の協力</td> <td>0%</td> <td>3</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地元要望</td> <td>あり</td> <td>12</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>15</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合計</td> <td></td> <td>100</td> <td>66</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。</p>		評価指標	区分	配点	評点	備考	必要性	車道等幅員	現況最小幅員<規定値-2m	5	5	現況幅員4.0m(規定値9.0m)	曲線半径	現況最小半径<-10km/h縮小値	5	5	現況曲線半径25m(縮小値80m)	縦断勾配	現況勾配≤規定値(5%)	5	0	現況縦断勾配2.2%(規定値5%)	歩道設置の必要性	該当なし	3	0	不要	混雑度	現況混雑度<1.0	2	0	0.22	定時性	5.0km/h未満	2	0	速度差0.8km/h	事故率	履歴なし	3	0	0件/億台キロ	過疎地域等の振興	山振	5	2	紫波町	小計			30	12		重要性	ネットワークの位置付け	位置付けなし	5	2	ネットワーク区分のいずれにも該当しない路線	産業振興、生活支援	4項目以上該当	15	15	農業支援、観光支援、公共施設アクセス、通園通学路の安全性向上	小計		20	17		緊急性	関連事業の有無	なし	5	0		冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等	あり	5	5	通行危険箇所(車両すれ違い困難箇所)	部分供用の有無	なし	2	0		10km以内に迂回路	あり	3	0		小計		15	5		効率性	費用便益比(B/C)	$3.0 \leq B/C$	20	20	B/C=7.1(10.0)	小計		20	20		熟度	地元の協力	0%	3	0		地元要望	あり	12	12		小計		15	12		合計			100	66	
		評価指標	区分	配点	評点	備考																																																																																																																											
必要性	車道等幅員	現況最小幅員<規定値-2m	5	5	現況幅員4.0m(規定値9.0m)																																																																																																																												
	曲線半径	現況最小半径<-10km/h縮小値	5	5	現況曲線半径25m(縮小値80m)																																																																																																																												
	縦断勾配	現況勾配≤規定値(5%)	5	0	現況縦断勾配2.2%(規定値5%)																																																																																																																												
	歩道設置の必要性	該当なし	3	0	不要																																																																																																																												
	混雑度	現況混雑度<1.0	2	0	0.22																																																																																																																												
	定時性	5.0km/h未満	2	0	速度差0.8km/h																																																																																																																												
	事故率	履歴なし	3	0	0件/億台キロ																																																																																																																												
	過疎地域等の振興	山振	5	2	紫波町																																																																																																																												
	小計			30	12																																																																																																																												
重要性	ネットワークの位置付け	位置付けなし	5	2	ネットワーク区分のいずれにも該当しない路線																																																																																																																												
	産業振興、生活支援	4項目以上該当	15	15	農業支援、観光支援、公共施設アクセス、通園通学路の安全性向上																																																																																																																												
	小計		20	17																																																																																																																													
緊急性	関連事業の有無	なし	5	0																																																																																																																													
	冠水区間、主要渋滞ポイント、老朽橋、交通不能区間、通行危険箇所等	あり	5	5	通行危険箇所(車両すれ違い困難箇所)																																																																																																																												
	部分供用の有無	なし	2	0																																																																																																																													
	10km以内に迂回路	あり	3	0																																																																																																																													
	小計		15	5																																																																																																																													
効率性	費用便益比(B/C)	$3.0 \leq B/C$	20	20	B/C=7.1(10.0)																																																																																																																												
	小計		20	20																																																																																																																													
熟度	地元の協力	0%	3	0																																																																																																																													
	地元要望	あり	12	12																																																																																																																													
	小計		15	12																																																																																																																													
合計			100	66																																																																																																																													
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding: 5px;">項目評価</td> <td style="padding: 5px;">a</td> <td style="padding: 5px;">.</td> <td style="padding: 5px; border: 2px solid black; border-radius: 50%; text-align: center;">b</td> <td style="padding: 5px;">.</td> <td style="padding: 5px;">c</td> </tr> </table>		項目評価	a	.	b	.	c																																																																																																																										
項目評価	a	.	b	.	c																																																																																																																												

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法：費用便益分析マニュアル（令和5年12月）  
 道路投資の評価に関する指針(案)第1編、第2編（平成10年6月）

基準年：令和6年度

区 分		金 額 ( 百 万 円 )	備 考
費用項目	改築費	448	
	維持費	31	
	総費用 (C)	478	
便益項目	時間短縮便益	1,111	
	走行経費減少便益	77	
	事故減少便益	12	
	3便益 ①	1,200	
	環境改善便益	16	
	拡張便益	2,213	
	その他便益 ②	2,229	
	小計 (①+②)	3,429	
	修正便益 ③	1,395	
	総便益 (B) ①+②+③	4,823	
費用便益比 (B/C) $B (①+②) / C$		7.1	
(参考) 修正費用便益比 $B (①+②+③) / C$		10.0	

参考 将来交通量 2,023台/日 (R22)

- ・ 総合評価では、地域修正係数による修正便益を考慮した修正B/Cを参考とする。
- ・ 端数の四捨五入の関係で、各計数の和が一致しない場合がある。

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

- ・ 特になし

(4) コスト縮減対策の取り組み状況

- ・ 再生アスファルト合材、再生砕石の使用を基本とする。
- ・ 当該工区で発生する掘削土は、当該工区の盛土材として使用するなどコスト縮減に努める。

(5) 代替案の比較検討結果

次の案と比較検討したが、以下の理由から本計画案が適当となったものである。  
 なお、現道沿線に住家が連坦していることから、バイパス整備を基本とした。

- バイパス（終点西側接続）案
  - ・ 整備延長が長くなるため経済性で劣る。また、車両の走行性で劣る。

- (本計画案 バイパス 終点東側接続案)
- ・ 車両の走行性がよく、経済的である。

(1) 総合評価

総合評価	AA・ <b>A</b> ・B・C
------	-------------------

(事業名) 地域連携道路整備事業(地域密着型) (一)佐比内彦部線 横町

着手年度	完了予定年度	事業費(百万円)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価		参考B/C
				評価点数	評価結果	
R7	R13	600	a	66	b	B/C=7.1 (修正B/C=10.0)

○総合評価に係るコメント

- ・ 一般県道佐比内彦部線は、紫波郡紫波町佐比内の国道396号交差点を起点とし、紫波郡紫波町彦部の国道456号交差点に至る一般県道であり、地域住民の生活道路であるとともに、遠野市や沿岸南部と紫波町中心部を結ぶ重要な路線である。
- ・ 当該区間は、路線唯一の1車線区間であり車両のすれ違いが困難であるなど、安全で円滑な交通の支障となっている。
- ・ 交通あい路区間の解消により、安全で円滑な交通の確保が図られる。
- ・ 自然環境の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」評価、また、「事業計画の妥当性」については、評価指標の合計が60点以上80点未満となることから「b」評価としており、総合評価を「A」とした。
- ・ 社会経済情勢等の状況や代替案を検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、事業の実施が妥当であると判断したものである。

(2) その他特記事項

- ・ 特になし

総合評価

公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの) 令和6年10月6日作成

事業名	道路環境改善事業 (交通安全施設整備)	補助・単独	担当部課名	県土整備部道路環境課
路線名等	しゅようちほうどう、きたかみうね、せん 主要地方道北上東和線	地区名	ふたごちよう 二子町	市町村 北上市
事業概要	事業根拠法令等：交通安全施設等整備事業に関する緊急措置法]			
	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題 当該路線は、北上市の国道107号を起点に、花巻市東和町の国道283号に至る路線であり、計画区間である二子町地区は二子小学校児童の通学路に指定されているが、歩道が未整備であり、歩行者が車道を通行する危険な状況となっている。</p> <p>○整備によって得られる効果 本事業により歩道の連続性が確保され、通学児童を始めとした歩行者の安全が確保される。</p> <p>(2) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体計画延長 L=160m 計画幅員 W=7.0 (9.5) m</li> <li>・ 歩道幅員 W=2.5m</li> <li>・ 工種 歩道設置</li> </ul> <p>(3) 整備目標等</p> <p>歩行者の安全な通行を確保するため、歩道の連続性を確保する。2025年度から2029年度の5年間で160mの歩道設置を目指す。</p> <p>(4) 事業計画期間及び総事業費</p> <p>○事業計画期間 : 2025年度 ~ 2029年度 ( 令和7年度 ~ 令和11年度 ) (用地着手予定年度 : 2026年度、工事着手予定年度 : 2027年度)</p> <p>○総事業費 : 119百万円</p>			
社会経済情勢等の状況	<p>(1) 全国の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国では、2021(R3)年3月29日に中央交通安全対策会議において、第11次交通安全基本計画を作成した。このうち、道路交通の安全に関する施策として、通学路や未就学児を中心に子供が日常的に集団で移動する経路における交通安全の確保や生活道路における人優先の安心・安全な歩行区間の整備等、歩行者の安全確保を図る対策を推進していくこととしている。</li> </ul> <p>(2) 本県内の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全国的に交通事故件数及び死傷者数は減少傾向であるが、本県では交通事故件数は減少傾向であるものの、死傷者数が横ばいとなっている。</li> <li>・ 引き続き交通事故を防止し、安全・円滑・快適な交通環境の確保を図るため、歩道設置率の向上に努めていく。</li> </ul> <p>(3) 施工地域における状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当該区間は、小学校の通学路となっているが、歩道が中抜けとなっていることから、北上市より歩道設置について要望を受けている箇所である。</li> <li>・ 当該路線は、北上工業団地への通勤車両が4号を回避するために利用されている路線で、平成27年の交通量調査とキオクシア岩手の操業開始後の令和3年交通量調査を比較した際、交通量が約4割増加しており、通学する児童への危険度が増し、緊急性が高まっている。</li> </ul>			

自然環境等の状況	<p>(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手県自然環境保全指針による環境保全区分 E</li> <li>・希少野生動植物生息の有無 有り（岩手県RDB Bランク）</li> <li>・埋蔵文化財包蔵地該当 有り</li> </ul> <p>(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</p> <p>広域振興局で実施している公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら関係機関協議並びに現地調査を行い、環境に配慮した事業を進めることとする。</p> <p>現道を活用し整備を行い、周囲の自然環境の改変を最小限とする。</p> <p>関係機関と協議等を実施し、適切に対応する。</p> <p>○ 自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分の保全方向に沿った対応をしていることから「a」とした。</p>					
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>項目評価</td> <td style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">a</td> <td>.</td> <td>b</td> <td>.</td> <td>c</td> </tr> </table>	項目評価	a	.	b	.
項目評価	a	.	b	.	c	

事業計画の妥当性	(1) 事業に関する指標からみた評価																																																																																	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 30%;">評価指標</th> <th style="width: 10%;">区分</th> <th style="width: 10%;">配点</th> <th style="width: 10%;">評点</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">必要性</td> <td>自動車交通量</td> <td>3,000台/12h以上</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>3,188 台/12h</td> </tr> <tr> <td>歩行者、自転車交通量</td> <td>75人台/日以上</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>89 人・台/日</td> </tr> <tr> <td>歩道の連続性</td> <td>あり</td> <td>10</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>面的整備の拡大化</td> <td>あり</td> <td>5</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>交通渋滞箇所</td> <td>なし</td> <td>5</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">重要性</td> <td>交通安全重点施策</td> <td>該当</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>通学路交通安全プログラム</td> </tr> <tr> <td>歩行空間のバリアフリー化</td> <td>該当無し</td> <td>5</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">緊急性</td> <td>事故多発地点箇所</td> <td>事故なし</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>交通事故発生率 0 人/億台キロ</td> </tr> <tr> <td>道路側方空間の確保</td> <td>現状で不十分</td> <td>5</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>通学路指定、公共施設間</td> <td>該当する</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>通学路</td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">効率性</td> <td>費用便益比 (B/C)</td> <td><math>1.0 \leq B/C</math></td> <td>20</td> <td>10</td> <td>B/C= 1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">熟度</td> <td>(1) 用地取得の進捗状況</td> <td>0%</td> <td>3</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) 地元要望</td> <td>あり</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>市町村要望(北上市)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td></td> <td>100</td> <td>67</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		評価指標	区分	配点	評点	備考	必要性	自動車交通量	3,000台/12h以上	5	5	3,188 台/12h	歩行者、自転車交通量	75人台/日以上	10	5	89 人・台/日	歩道の連続性	あり	10	10		面的整備の拡大化	あり	5	5		交通渋滞箇所	なし	5	0		重要性	交通安全重点施策	該当	5	5	通学路交通安全プログラム	歩行空間のバリアフリー化	該当無し	5	0		緊急性	事故多発地点箇所	事故なし	5	0	交通事故発生率 0 人/億台キロ	道路側方空間の確保	現状で不十分	5	5		通学路指定、公共施設間	該当する	10	10	通学路	効率性	費用便益比 (B/C)	$1.0 \leq B/C$	20	10	B/C= 1.0	熟度	(1) 用地取得の進捗状況	0%	3	0		(2) 地元要望	あり	12	12	市町村要望(北上市)	計			100	67
	評価指標	区分	配点	評点	備考																																																																													
必要性	自動車交通量	3,000台/12h以上	5	5	3,188 台/12h																																																																													
	歩行者、自転車交通量	75人台/日以上	10	5	89 人・台/日																																																																													
	歩道の連続性	あり	10	10																																																																														
	面的整備の拡大化	あり	5	5																																																																														
	交通渋滞箇所	なし	5	0																																																																														
重要性	交通安全重点施策	該当	5	5	通学路交通安全プログラム																																																																													
	歩行空間のバリアフリー化	該当無し	5	0																																																																														
緊急性	事故多発地点箇所	事故なし	5	0	交通事故発生率 0 人/億台キロ																																																																													
	道路側方空間の確保	現状で不十分	5	5																																																																														
	通学路指定、公共施設間	該当する	10	10	通学路																																																																													
効率性	費用便益比 (B/C)	$1.0 \leq B/C$	20	10	B/C= 1.0																																																																													
熟度	(1) 用地取得の進捗状況	0%	3	0																																																																														
	(2) 地元要望	あり	12	12	市町村要望(北上市)																																																																													
計			100	67																																																																														
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>項目評価</td> <td>a</td> <td>.</td> <td style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">b</td> <td>.</td> <td>c</td> </tr> </table>	項目評価	a	.	b	.	c																																																																											
項目評価	a	.	b	.	c																																																																													

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法:道路投資の評価に関する指針(案) 基準年:2024(R6)

区 分		金 額 ( 百 万 円 )	備 考
費用項目	歩道整備事業費	119.0	
	50年間維持費	1.7	
	総 費 用 (C)	120.7	
便益項目	歩行者便益	121.1	
	総 便 益 (B)	121.1	
費用便益比 (B/C)		1.0	

※費用便益分析において地域特性等考慮すべき特記事項

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

【キオクシア岩手】

- 2019年 第1 製造棟竣工
- 2020年 第1 製造棟稼働開始。
- 2023年 第2 製造棟建設に着手。

(4) コスト縮減対策の取り組み状況

再生砕石、再生As合材の使用を基本とする。

(5) 代替案の比較検討結果

現道に付随して歩道を設置するものであり、代替案はない。

(1) 総合評価

総合評価	AA ・ A ・ B ・ C
------	----------------

(事業名) 道路環境改善事業 (交通安全施設整備) (主)北上東和線 二子町

着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	自然環境等の 状況に係る評価結果	事業に関する指標 からみた評価		参考 B/C
				評価点数	評価結果	
R7	R11	119	a	67	b	1.0

○総合評価に係るコメント

・自然環境等の状況が「a」、事業に関する指標からみた評価が「b」であることから、総合評価は「A」とする。

全国的には交通事故による死傷者は減少傾向にあるが、当県では横這いの状況となっている。また、歩行者・自転車の死者の割合が全国平均を上回っていることから、歩道等の整備が望まれている。

上記理由から、交通事故を防止し、安全、円滑、快適な交通環境の確保を図るため、歩道設置率の向上に努めている。

当該区間は歩道が未整備であることから、歩道整備し歩行者等の安全を図るものである。

総合評価

(2) その他特記事項

特になし



公共事業 事前評価調書

(事業計画期間5年以上又は総事業費が1億円以上のもの) 令和6年10月7日作成

事業名	急傾斜地崩壊対策事業	補助	担当部課名	県土整備部砂防災害課
路線名等	—	地区名	おおい 太子	市町村 二戸市
事業概要	〔事業根拠法令等：急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律〕			
	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題 本地区は、二戸市仁左平に位置し、人家8戸のほか、二戸市防災計画における避難道路に指定されている一般国道395号が保全対象となっている。当該地は、令和4年8月の豪雨により施設未整備の斜面において法面崩落が発生した。今後も集中豪雨、地震等により斜面崩壊のおそれが高い地域であり、早急に急傾斜地対策施設を整備し、民生の安定を図ることを目的としている。</p> <p>○整備によって得られる効果 急傾斜地崩壊対策施設の整備により、上記保全対象の保全が図られる。</p>			
	<p>(2) 事業内容</p> <p>植生工（客土吹付工） A=2,820m<sup>2</sup>、吹付法砕工 A=103m<sup>2</sup></p>			
	<p>(3) 整備目標等</p> <p>土砂災害の危険が高い箇所において、急傾斜地崩壊対策事業を実施する。</p>			
社会経済情勢等の状況	<p>(4) 事業計画期間及び総事業費</p> <p>○事業計画期間 : 令和7年度～ 令和10年度</p> <p>(用地着手予定年度 : 令和8年度、工事着手予定年度 : 令和9年度)</p> <p>○総事業費 : 200百万円</p>			
	<p>(1) 全国の状況</p> <p>平成23年3月11日の東日本大震災津波、平成26年8月の広島市を襲った前線による豪雨、平成27年9月の鬼怒川の氾濫を代表とする関東・東北豪雨、平成29年7月の九州北部豪雨、平成30年7月の西日本豪雨等に見られるように、自然災害により尊い人命や家屋等の財産が甚大な被害を受けている。このようなことから、着実にハード整備を進めるとともに、土砂災害警戒区域等の指定や洪水・土砂災害ハザードマップの作成等ソフト対策の充実などにより、地域全体の防災意識の構築を図っていく。</p>			
	<p>(2) 本県内の状況</p> <p>平成28年8月台風第10号及び令和元年10月台風第19号等により、本県においても大規模な浸水及び土石流、がけ崩れ被害が発生していることから、防災事業に対する関心が依然として高まっており、効果的な事業の推進に努める必要がある。</p> <p>土砂災害対策施設整備を着実に進めるとともに、土砂災害警戒区域等の指定、市町村による防災マップの策定及び公表など、ハード・ソフト対策を組み合わせた効果的な事業の推進に努めている。</p>			
<p>(3) 施工地域における状況</p> <p>本地区は、二戸市防災計画に定められる避難道路である一般国道395号や人家8戸を保全対象とする急傾斜地であり、平成29年3月に土砂災害警戒区域等に指定されている。</p> <p>今後の豪雨による土砂災害の危険性が高いため、急傾斜地崩壊対策施設を整備し、住民の生命財産及び公共施設を保全すること目的として事業を行うものである。</p>				

自然環境等の状況	(1) 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岩手県自然環境保全指針による保全区分</li> <li>・ 希少野生動植物生息の有無</li> <li>・ 埋蔵文化財包蔵地の有無</li> <li>・ 景観形成区域</li> </ul>	E	無	無	市街地景観地区																																																																		
	(2) 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費	<p>振興局で実施している公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会に付議し、有識者等の助言を受けながら環境に配慮した事業計画の推進及び工事の施工を行うものとする。</p> <p>○自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</p>																																																																						
項目評価 (a) . b . c																																																																								
事業計画の妥当性	(1) 事業に関する指標からみた評価																																																																							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 20%;">評価指標</th> <th style="width: 15%;">区分</th> <th style="width: 10%;">配点</th> <th style="width: 10%;">評点</th> <th style="width: 35%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">必要性</td> <td>保全人家</td> <td>5戸≦保全人家&lt;10戸</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td>8戸</td> </tr> <tr> <td>保全公共施設等</td> <td>あり</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td>一般国道395号</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">重要性</td> <td>市町村地域防災計画の位置付け</td> <td>あり</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td>避難道路、緊急輸送道路</td> </tr> <tr> <td>政策課題</td> <td>あり</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td>避難道路</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">緊急性</td> <td>斜面の角度</td> <td>45度≦角度</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td>勾配55°</td> </tr> <tr> <td>斜面の高さ</td> <td>20m≦高さ</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td>高さ22m</td> </tr> <tr> <td>斜面の地質</td> <td>1m≦表土厚</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td>表土厚 1.70m</td> </tr> <tr> <td>斜面の危険度(災害履歴・前兆現象)</td> <td>被災履歴あり</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td>R4斜面の一部崩落あり</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">効率性</td> <td>経済性(費用便益比(B/C))</td> <td>3.0≦B/C&lt;5.0</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td>B/C=4.5</td> </tr> <tr> <td>早期効果度(工事期間)</td> <td>事業年数≦5年</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td>4年(R7~R10年度)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td></td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">93</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							評価指標	区分	配点	評点	備考	必要性	保全人家	5戸≦保全人家<10戸	10	8	8戸	保全公共施設等	あり	10	10	一般国道395号	重要性	市町村地域防災計画の位置付け	あり	5	5	避難道路、緊急輸送道路	政策課題	あり	5	5	避難道路	緊急性	斜面の角度	45度≦角度	5	5	勾配55°	斜面の高さ	20m≦高さ	10	10	高さ22m	斜面の地質	1m≦表土厚	5	5	表土厚 1.70m	斜面の危険度(災害履歴・前兆現象)	被災履歴あり	20	20	R4斜面の一部崩落あり	効率性	経済性(費用便益比(B/C))	3.0≦B/C<5.0	20	15	B/C=4.5	早期効果度(工事期間)	事業年数≦5年	10	10	4年(R7~R10年度)	計			100	93	
		評価指標	区分	配点	評点	備考																																																																		
	必要性	保全人家	5戸≦保全人家<10戸	10	8	8戸																																																																		
		保全公共施設等	あり	10	10	一般国道395号																																																																		
	重要性	市町村地域防災計画の位置付け	あり	5	5	避難道路、緊急輸送道路																																																																		
		政策課題	あり	5	5	避難道路																																																																		
	緊急性	斜面の角度	45度≦角度	5	5	勾配55°																																																																		
		斜面の高さ	20m≦高さ	10	10	高さ22m																																																																		
		斜面の地質	1m≦表土厚	5	5	表土厚 1.70m																																																																		
		斜面の危険度(災害履歴・前兆現象)	被災履歴あり	20	20	R4斜面の一部崩落あり																																																																		
	効率性	経済性(費用便益比(B/C))	3.0≦B/C<5.0	20	15	B/C=4.5																																																																		
		早期効果度(工事期間)	事業年数≦5年	10	10	4年(R7~R10年度)																																																																		
	計			100	93																																																																			
	<p>○事業に関する指標からみた評価については各評価指標の合計が80点以上であることから「a」とした。</p>																																																																							
項目評価 (a) . b . c																																																																								

(2) 費用便益分析

費用便益分析手法:急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル(案) 基準年:令和6年

区 分		金 額 ( 百 万 円 )	備 考
費用項目	建設費	176	
	維持管理	3	
	総費用(C)	179	
便益項目	便益	805	
	総便益(B)	805	
費用便益比(B/C)		4.5	社会的割引率4%

※金額は現在価値化したもの。

事業計画の妥当性

※費用便益分析において地域特性等考慮すべき特記事項  
なし

(3) 関連する開発プロジェクト等の状況

なし

(4) コスト削減対策の取り組み状況

急傾斜地崩壊対策施設の工法を選定するにあたり、施工性・景観性・経済性等を総合的に評価したうえで、最も経済的になるよう検討する。

(5) 代替案の比較検討結果

本箇所の急傾斜地崩壊対策施設の工法選定において待受け擁壁工も検討したが、経済性及び施工性等の観点で検討した結果、法面保護工が妥当であると判断した。

(1) 総合評価

総合評価	AA · A · B · C
------	----------------

(事業名)

着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	自然環境等の 状況に係る評価結果	事業に関する指標 からみた評価		参考 B/C
				評価点数	評価結果	
R7	R10	200	a	93	a	4.5

○総合評価に係るコメント

「自然環境等の状況」については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」評価とし、「事業計画の妥当性」については、評価指標の評点の合計が93点となっていることから「a」評価とし、総合評価を「AA」とした。

当事業の目的を達成するためには、現時点で社会経済情勢等の状況や代替案を検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、事業の実施が妥当であると判断したものである。

総合評価

(2) その他特記事項

## II 継続評価

### 公共事業継続評価 事業別評価地区数

#### 【農林水産部】

事業の種類	事業名	担当課	総合評価区分				
			AA	A	B	C	合計
農業農村 整備事業	1 かんがい排水事業	農村建設課		3			3
	2 経営体育成基盤整備事業	〃	28	30			58
	3 畑地帯総合整備事業	〃		1			1
	4 中山間地域総合整備事業(生産基盤)	〃		2			2
	5 中山間地域総合整備事業(生活、一般、広域)	〃	2				2
	6 農道整備事業	〃		3			3
	7 農村地域防災減災事業	〃	2	5			7
	小計		32	44			76
治山事業	8 復旧治山事業	森林保全課	2	11			13
	9 緊急予防治山事業	〃	3	3			6
	10 地すべり防止事業	〃		1			1
	11 保安林総合改良事業	〃		1			1
	12 予防治山事業	〃		9			9
	小計		5	25			30
林道事業	13 林道整備事業	森林保全課	3	18			21
	小計		3	18			21
水産基盤 整備事業	14 漁港整備事業	漁港漁村課	2	16			18
	15 漁場整備事業	〃	3	1			4
	小計		5	17			22
	合計		45	104			149

【県土整備部】

事業の種類	事業名	担当課	総合評価区分				
			AA	A	B	C	合計
道路事業	16 地域連携道路整備事業(ネットワーク形成型)	道路建設課	1	4			5
	17 地域連携道路整備事業(地域密着型)	〃	3	16			19
	18 道路環境改善事業(交通安全施設整備)	道路環境課		11			11
	19 交通安全施設整備事業(交通安全施設整備(道の駅))	〃	1				
	20 道路環境改善事業(無電柱化推進)	〃	5	1			6
	21 道路環境改善事業(防雪・凍雪害防止)	〃		2			2
	22 地域連携道路整備事業(市町村道代行整備)	道路環境課 廃棄物特別対策室		1			1
	小計		10	35			45
河川事業	23 広域河川改修事業	河川課	1	1		1	3
	24 総合流域防災事業(河川)	〃	1	2			3
	25 治水施設整備事業	〃		3	1	1	5
	小計		2	6	1	2	11
砂防事業	26 通常砂防事業	砂防災害課	8	22			30
	27 火山砂防事業	〃		1			1
	28 県単砂防事業	〃		1			1
	28 急傾斜地崩壊対策事業	〃	2	4			6
	小計		10	28			38
都市計画事業	29 都市計画道路整備事業	都市計画課		1			1
	小計			1			1
公営住宅建設事業	30 公営住宅建設事業(公営住宅)	建築住宅課			2		2
	小計				2		2
	合計		22	70	3	2	97

<b>継続評価 合計</b>	<b>67</b>	<b>174</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>246</b>
----------------	-----------	------------	----------	----------	------------

継続評価

公共事業評価 継続評価調書(箇所一覧)

農林水産部農村建設課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和6年度までの進捗見込み			継続評価結果								特記事項 (参考) B/C
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価						総合評価		
										必要性(25)	重要性(15)	緊急性(20)	効率性(20)	熟度(20)	計(100)		評価結果	
1 かんがい排水事業	新田	岩手町	H29	R7	用水路 1,883m	420,600	359,113	85.4%	a	19.25	15.00	6.00	12.00	20.00	72.25	b	A	1.15
	松川大堰	盛岡市、八幡平市	H30	R7	用水路 3,910m	721,000	680,840	94.4%	a	15.25	11.00	16.00	10.50	16.25	69.00	b	A	1.02
	下前	西和賀町	R1	R8	用水路 1,721m	278,000	239,692	86.2%	a	13.50	11.00	7.00	13.50	18.75	63.75	b	A	1.08
2 経営体育成基盤整備事業	北下幅中	奥州市	R2	R11	区画整理 149.7ha 暗渠排水 120.0ha	4,907,000	572,000	11.7%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	18.75	85.41	a	AA	1.47
	真城西	奥州市	R2	R11	区画整理 156.5ha 暗渠排水 142.6ha	4,764,000	327,100	6.9%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	18.75	85.41	a	AA	1.11
	小山中央南	奥州市	H30	R9	区画整理 147.7ha 暗渠排水 135.1ha	4,381,000	2,757,040	62.9%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	18.75	85.41	a	AA	1.46
	鴨沢	奥州市	R2	R11	区画整理 105.0ha 暗渠排水 98.2ha	4,040,000	221,000	5.5%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	18.75	85.41	a	AA	1.34
	赤生津	奥州市	R5	R14	区画整理 93.1ha	2,633,000	48,554	1.8%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	18.75	85.41	a	AA	1.46
	増沢西部	奥州市	H30	R9	区画整理 62.4ha 暗渠排水 62.4ha	2,538,000	669,800	26.4%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	18.75	85.41	a	AA	1.35
	四ツ屋	奥州市	R2	R11	区画整理 68.1ha 暗渠排水 46.4ha	2,303,000	337,000	14.6%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	18.75	85.41	a	AA	1.13
	水押	北上市	R4	R13	区画整理 50.4ha 暗渠排水 50.4ha	2,277,000	115,770	5.1%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	18.75	85.41	a	AA	1.17
	原・蟹沢	金ヶ崎町	R2	R9	区画整理 66.5ha 暗渠排水 59.4ha	2,051,000	739,833	36.1%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	18.75	85.41	a	AA	1.27
	玉里中堰	奥州市	R2	R11	区画整理 51.9ha 暗渠排水 45.9ha	2,002,000	349,000	17.4%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	18.75	85.41	a	AA	1.33
	北下幅北	奥州市	R2	R7	区画整理 48.8ha 暗渠排水 41.4ha	1,728,000	263,000	15.2%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	18.75	85.41	a	AA	1.39
	姉体秋成	奥州市	R1	R10	区画整理 55.1ha 暗渠排水 26.8ha	1,610,000	875,587	54.4%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	18.75	85.41	a	AA	1.11
	上西風	奥州市	R3	R8	区画整理 29.4ha 暗渠排水 29.4ha	1,108,000	75,000	6.8%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	18.75	85.41	a	AA	1.22
	大森・鳥の海上	金ヶ崎町	R1	R7	区画整理 35.5ha 暗渠排水 27.2ha	1,078,000	431,570	40.0%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	18.75	85.41	a	AA	1.31
	東田西部	奥州市	R3	R8	区画整理 28.0ha 暗渠排水 25.2ha	1,037,000	219,000	21.1%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	18.75	85.41	a	AA	1.14
	五位塚	奥州市	R4	R9	区画整理 22.6ha 暗渠排水 19.2ha	1,035,000	44,500	4.3%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	18.75	85.41	a	AA	1.15
梁川西部	奥州市	H27	R7	区画整理 31.7ha 暗渠排水 31.7ha	1,025,000	1,004,767	98.0%	a	25.00	13.00	17.50	12.00	17.50	85.00	a	AA	1.09	
柴沼	花巻市	R3	R12	区画整理 45.7ha 暗渠排水 34.6ha 用排水施設整備 14.0ha	2,067,000	361,968	17.5%	a	25.00	11.00	16.66	12.00	18.75	83.41	a	AA	1.22	

農林水産部農村建設課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和6年度までの進捗見込み			継続評価結果								特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価						総合評価	(参考) B/C	
										必要性(25)	重要性(15)	緊急性(20)	効率性(20)	熟度(20)	計(100)			
2 経営体育成基盤整備事業	小山西	奥州市	H30	R9	区画整理 168.0ha 暗渠排水 159.1ha	4,703,000	2,642,634	56.2%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	16.25	82.91	a	AA	1.64
	小山東	奥州市	R1	R10	区画整理 131.3ha 暗渠排水 110.0ha	4,389,000	1,164,780	26.5%	a	25.00	13.00	16.66	9.50	18.75	82.91	a	AA	1.08
	北下幅南	奥州市	R2	R11	区画整理 113.0ha 暗渠排水 95.9ha	3,776,000	591,000	15.7%	a	25.00	13.00	16.66	12.00	16.25	82.91	a	AA	1.43
	太田	花巻市	R3	R12	区画整理 228.7ha 暗渠排水 165.4ha	4,423,000	753,693	17.0%	a	25.00	11.00	9.16	18.00	18.75	81.91	a	AA	1.17
	後藤川	八幡平市	H30	R9	区画整理 103.1ha 暗渠排水 102.3ha	2,841,000	1,947,800	68.6%	a	21.25	13.00	16.66	12.00	18.75	81.66	a	AA	1.41
	大興寺1期	花巻市	R6	R15	区画整理 85.6ha	2,871,000	0	0.0%	a	25.00	9.00	16.66	12.00	18.75	81.41	a	AA	1.14
	砂子	花巻市	R2	R11	区画整理 65.5ha 暗渠排水 65.3ha	2,781,000	639,611	23.0%	a	25.00	9.00	16.66	12.00	18.75	81.41	a	AA	1.17
	矢次	矢巾町	R2	R7	区画整理 30.5ha 暗渠排水 26.0ha	1,128,000	609,830	54.1%	a	25.00	9.00	16.66	12.00	18.75	81.41	a	AA	1.24
	鍋割	花巻市	R4	R9	区画整理 14.0ha 暗渠排水 13.9ha	475,000	49,631	10.4%	a	25.00	9.00	16.66	12.00	18.75	81.41	a	AA	1.50
	曲田	一関市	H30	R7	区画整理 21.7ha 暗渠排水 16.9ha	1,200,000	1,101,564	91.8%	a	17.50	13.00	20.00	12.00	18.75	81.25	a	AA	1.64
	広宮沢	矢巾町	R4	R9	区画整理 29.8ha	1,176,000	251,190	21.4%	a	25.00	7.00	16.66	12.00	18.75	79.41	b	A	1.25
	鳥海	一戸町	H24	R7	区画整理 92.8ha	3,080,000	2,981,505	96.8%	a	17.50	11.00	20.00	12.00	18.75	79.25	b	A	1.43
	下小山田	花巻市	R5	R14	区画整理 101.0ha	3,648,000	52,495	1.4%	a	25.00	9.00	16.66	12.00	16.25	78.91	b	A	1.35
	高野・似田貝	遠野市	R4	R13	区画整理 52.4ha	1,826,000	196,918	10.8%	a	25.00	13.00	10.00	12.00	18.75	78.75	b	A	1.35
	泉沢・中平	野田村	H30	R7	区画整理 20.1ha 暗渠排水 9.4ha	657,000	656,340	99.9%	a	17.50	11.00	20.00	12.00	17.50	78.00	b	A	1.18
	西黒沢	一関市	H29	R8	区画整理 69.2ha 暗渠排水 60.1ha	2,459,000	1,482,789	60.3%	a	17.50	13.00	16.66	12.00	18.75	77.91	b	A	1.34
	下大桑	一関市	H30	R8	区画整理 46.4ha 暗渠排水 38.2ha	1,602,000	797,205	49.8%	a	17.50	13.00	16.66	12.00	18.75	77.91	b	A	1.44
	巖美・滝原ひがし	一関市	R1	R7	区画整理 25.6ha 暗渠排水 22.4ha	686,000	592,413	86.4%	a	17.50	13.00	16.66	12.00	18.75	77.91	b	A	1.71
	赤坂田	八幡平市	R6	R11	区画整理 21.5ha	924,000	0	0.0%	a	21.25	15.00	10.00	12.00	18.75	77.00	b	A	1.15
	戸沢	八幡平市	R4	R9	区画整理 11.5ha	579,000	181,000	31.3%	a	21.25	15.00	10.00	12.00	18.75	77.00	b	A	1.23
金取	遠野市	R3	R8	区画整理 19.3ha 暗渠排水 16.1ha	872,000	406,240	46.6%	a	25.00	11.00	10.00	12.00	18.75	76.75	b	A	1.11	
福田	二戸市	R1	R7	区画整理 42.3ha 暗渠排水 37.9ha	1,600,000	1,237,573	77.3%	a	21.25	11.00	13.33	12.00	18.75	76.33	b	A	1.45	
畑の沢	一関市	R5	R10	区画整理 7.3ha	378,000	20,000	5.3%	a	17.50	7.00	20.00	12.00	18.75	75.25	b	A	1.11	



農林水産部農村建設課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和6年度までの進捗見込み			継続評価結果								特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価						総合評価	(参考) B/C	
										必要性(25)	重要性(15)	緊急性(20)	効率性(20)	熟度(20)	計(100)			
2 経営体育成基盤整備事業	平良木	花巻市	R1	R8	区画整理 69.5ha 暗渠排水 61.8ha	3,322,000	3,138,530	94.5%	a	25.00	9.00	10.00	12.00	18.75	74.75	b	A	1.15
	石鳩岡	花巻市	R5	R10	区画整理 31.8ha	1,222,000	25,477	2.1%	a	25.00	9.00	10.00	12.00	18.75	74.75	b	A	1.13
	星山・犬吠森	紫波町	H26	R7	区画整理 114.3ha 暗渠排水 112.5ha	3,947,000	3,558,950	90.2%	a	21.25	9.00	13.33	18.00	12.50	74.08	b	A	1.18
	川舟	西和賀町	R3	R12	区画整理 105.4ha 暗渠排水 105.0ha	3,735,000	451,706	12.1%	a	17.50	9.00	16.66	12.00	18.75	73.91	b	A	1.21
	金成	陸前高田市	R1	R7	区画整理 24.2ha 暗渠排水 24.2ha	900,000	836,888	93.0%	a	13.75	9.00	20.00	12.00	18.75	73.50	b	A	2.25
	山内	二戸市	R1	R8	区画整理 24.5ha 暗渠排水 19.7ha	1,163,000	625,202	53.8%	a	21.25	11.00	10.00	12.00	18.75	73.00	b	A	1.26
	増沢	一関市	R6	R11	区画整理 23.3ha	1,093,000	0	0.0%	a	17.50	7.00	16.66	12.00	18.75	71.91	b	A	1.24
	上奥玉	一関市	R1	R8	区画整理 49.2ha 暗渠排水 48.3ha	2,165,000	837,544	38.7%	a	17.50	13.00	10.00	12.00	18.75	71.25	b	A	1.16
	川台	一関市	R1	R8	区画整理 40.4ha 暗渠排水 37.4ha	1,760,000	702,616	39.9%	a	17.50	13.00	10.00	12.00	18.75	71.25	b	A	1.18
	笹谷	一関市	H29	R8	区画整理 17.4ha 暗渠排水 17.4ha	990,000	954,720	96.4%	a	17.50	13.00	10.00	12.00	18.75	71.25	b	A	1.52
	大沢	花巻市	H29	R7	区画整理 23.1ha 暗渠排水 23.1ha	809,000	784,354	97.0%	a	25.00	9.00	10.00	9.50	16.25	69.75	b	A	1.08
	北方	一関市	R4	R13	区画整理 69.7ha 暗渠排水 68.7ha	2,252,000	94,884	4.2%	a	17.50	7.00	16.66	12.00	16.25	69.41	b	A	1.25
	新山南	一関市	R3	R12	区画整理 72.4ha 暗渠排水 19.1ha	3,542,000	344,300	9.7%	a	17.50	11.00	10.00	12.00	18.75	69.25	b	A	1.13
	富沢	一関市	R6	R15	区画整理 88.5ha	3,877,000	0	0.0%	a	17.50	7.00	13.33	12.00	18.75	68.58	b	A	1.18
	小猪岡	一関市	H28	R10	区画整理 96.6ha 暗渠排水 94.7ha	3,059,000	1,900,793	62.1%	a	17.50	13.00	7.50	12.00	17.50	67.50	b	A	1.29
清田	一関市	H28	R9	区画整理 65.7ha 暗渠排水 59.4ha	2,650,400	2,205,700	83.2%	a	17.50	13.00	7.50	12.00	17.50	67.50	b	A	1.93	
林郷下	洋野町	H29	R7	区画整理 23.5ha 暗渠排水 13.3ha	577,000	538,000	93.2%	a	13.75	11.00	10.00	14.00	15.00	63.75	b	A	1.52	
3 畑地帯総合整備事業	穴牛・村松・谷地	二戸市	H28	R7	畑地かんがい施設 48.7ha 農道 2,250m	1,204,000	1,168,240	97.0%	a	17.00	11.00	10.00	14.00	15.00	67.00	b	A	1.84
4 中山間地域総合整備事業 (生産基盤)	市野々	一関市	H25	R7	区画整理 88.7ha 用排水路 75.7ha	4,140,400	3,813,243	92.1%	a	19.00	7.00	15.00	14.00	17.50	72.50	b	A	1.35
	霞沢	一関市	H26	R10	区画整理 37.2ha 用排水路 34.5ha	1,979,000	1,616,909	81.7%	a	20.00	7.00	7.50	12.00	17.50	64.00	b	A	1.13
5 中山間地域総合整備事業 (生活、一般、広域)	愛宕	奥州市	H26	R8	用排水 465.7ha 暗渠排水 111.8ha 集落道 1,848m	3,837,000	2,967,465	77.3%	a	10.00	19.00	18.00	20.00	16.25	83.25	a	AA	1.41
	江刈	葛巻町	H22	R7	農業用排水路 3,394m 農道 3,666m 集落排水路 843m 防火水槽 7箇所 交流施設 1箇所	1,320,600	1,276,246	96.6%	a	16.00	18.00	10.00	20.00	18.75	82.75	a	AA	2.23

農林水産部農村建設課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和6年度までの進捗見込み			継続評価結果								特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価						総合評価	(参考) B/C	
										必要性(20)	重要性(20)	緊急性(20)	効率性(20)	熟度(20)	計(100)			
6 農道整備事業	袋主	軽米町	H23	R9	農道 4,680m	1,594,000	976,854	61.3%	a	14.00	13.00	20.00	18.00	13.75	78.75	b	A	1.22
	江刈中部3期	葛巻町	R3	R7	農道 450m	127,500	103,364	81.1%	a	16.00	13.00	20.00	14.00	8.75	71.75	b	A	1.18
	上野2期	一戸町	H25	R8	農道 2,902m	1,104,000	539,013	48.8%	a	16.00	17.00	15.00	6.50	11.25	65.75	b	A	1.02
7 農村地域防災減災事業	後藤横川目	北上市	R1	R9	用水路 7,513m	1,701,800	1,383,024	81.3%	a	14.00	20.00	25.00	20.00	8.75	87.75	a	AA	1.15
	北大堰	奥州市	H30	R8	用排水路 1,769m	516,000	261,848	50.7%	a	8.50	20.00	25.00	20.00	7.50	81.00	a	AA	2.03
	田沢ため池	花巻市	R5	R9	ため池改修 1式	975,900	139,000	14.2%	a	9.50	20.00	20.00	20.00	8.75	78.25	b	A	2.22
	白銀沢堤	奥州市	R4	R7	ため池改修 1式	550,000	366,000	66.5%	a	7.00	13.33	20.00	20.00	8.75	69.08	b	A	1.56
	大原堰	奥州市	R1	R8	用排水路 2,350m	364,000	286,660	78.8%	a	4.50	0.00	30.00	20.00	8.75	63.25	b	A	1.11
	油井名沢	一関市	R3	R10	ため池改修 1式	363,400	13,261	3.6%	a	4.50	20.00	20.00	10.00	8.75	63.25	b	A	1.05
	樋茂井	奥州市	H29	R8	用水路 4,990m	661,800	617,485	93.3%	a	4.50	10.00	20.00	20.00	7.50	62.00	b	A	1.35

農林水産部森林保全課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和6年度までの進捗見込み			継続評価結果								特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価						総合評価	(参考) B/C	
										必要性(20)	重要性(10)	緊急性(40)	効率性(30)	熟度(-)	計(100)			
8 復旧治山事業	小日形	一関市	R6	R8	谷止工3基	130,000	54,800	42.2%	a	16	3	40	25	-	84	a	AA	3.11
	上平	盛岡市	R6	R9	谷止工5基	230,000	8,000	3.5%	a	13	5	34	30	-	82	a	AA	9.84
	大沢日蔭	岩泉町	R6	R7	谷止工3基	80,000	5,500	6.9%	a	9	3	34	30	-	76	b	A	6.36
	志戸前川	雫石町	R1	R9	谷止工4基、溪畔林整備1式	987,000	525,683	53.3%	a	18	10	32	15	-	75	b	A	9.97
	杉沢	八幡平市	R2	R9	床固工23基、流路工1,386m	854,700	326,299	38.2%	a	12	8	30	25	-	75	b	A	1.49
	四十八坂	山田町	R4	R7	谷止工3基	150,000	131,399	87.6%	a	6	5	40	20	-	71	b	A	2.23
	後ノ入	大船渡市	R3	R7	谷止工3基、流路工0.76km	127,103	119,307	93.9%	a	10	5	28	25	-	68	b	A	3.30

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和6年度までの進捗見込み			継続評価結果								特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価						総合評価	(参考) B/C	
										必要性(20)	重要性(10)	緊急性(40)	効率性(30)	熟度(-)	計(100)			
8 復旧治山事業	鈴久名	宮古市	R5	R8	山腹工1式	250,000	84,620	33.8%	a	12	3	32	20	-	67	b	A	2.28
	三日町	久慈市	R5	R7	谷止工3基	74,000	7,500	10.1%	a	8	3	30	25	-	66	b	A	3.55
	上長内	久慈市	R6	R7	谷止工2基	80,000	9,000	11.3%	a	7	3	34	20	-	64	b	A	2.75
	坂本沢	大船渡市	R2	R8	山腹工2.38ha	697,638	389,962	55.9%	a	14	5	28	15	-	62	b	A	1.86
	飯豊	遠野市	R5	R7	谷止工3基	140,000	97,746	69.8%	a	11	5	26	20	-	62	b	A	2.54
	緑区	普代村	R5	R7	山腹工1式	160,000	95,063	59.4%	a	8	3	30	20	-	61	b	A	1.28
9 緊急予防治山事業	安孫	葛巻町	R6	R7	谷止工1基	50,000	8,000	16.0%	a	16	3	34	30	-	83	a	AA	11.58
	滝の里	陸前高田市	R6	R8	谷止工3基	134,000	38,000	28.4%	a	18	5	28	30	-	81	a	AA	15.75
	天神	釜石市	R6	R7	谷止工1基	60,000	10,000	16.7%	a	13	10	28	30	-	81	a	AA	6.82
	本郷	釜石市	R6	R7	谷止工2基	70,000	45,001	64.3%	a	11	5	28	30	-	74	b	A	5.97
	砂子畑	釜石市	R6	R7	谷止工1基	60,000	10,000	16.7%	a	10	5	28	25	-	68	b	A	4.78
	大明神	葛巻町	R2	R7	山腹工1式、落石予防工(固定工)1式	667,000	218,961	32.8%	a	12	0	30	20	-	62	b	A	1.42
10 地すべり防止事業	槻木平	一関市	R4	R8	地すべり防止工1式	350,000	281,416	80.4%	a	18	3	26	25	-	72	b	A	3.46
11 保安林総合改良事業	愛の山	八幡平市	R5	R7	危険木、劣勢木及び老齢木の事前伐採・除去1式	38,000	31,234	82.2%	a	10	2	18	30	-	60	b	A	8.06
12 予防治山事業	水上	岩泉町	R6	R7	谷止工2基	65,000	32,500	50.0%	a	12	5	30	30	-	77	b	A	5.64
	日吉(2)	久慈市	R6	R7	谷止工1基	50,000	6,500	13.0%	a	7	5	32	30	-	74	b	A	6.26
	繫	山田町	R6	R7	谷止工1基	48,000	5,500	11.5%	a	10	3	26	30	-	69	b	A	8.89
	中倉	一関市	R6	R7	山腹工1式	30,000	13,000	43.3%	a	9	3	32	25	-	69	b	A	4.74
	泉沢	西和賀町	R6	R7	谷止工3基	50,000	10,000	20.0%	a	7	5	26	30	-	68	b	A	7.26
	中の浜	宮古市	R6	R7	谷止工2基	68,000	25,500	37.5%	a	7	5	30	25	-	67	b	A	4.81
	和野	宮古市	R6	R7	山腹工1式	28,000	5,500	19.6%	a	5	5	32	25	-	67	b	A	3.10
	蒲道沢	奥州市	R6	R7	谷止工1基	45,000	6,000	13.3%	a	8	3	24	30	-	65	b	A	9.03
	上日当	久慈市	R6	R7	谷止工1基	60,000	8,000	13.3%	a	7	3	26	25	-	61	b	A	4.05

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和6年度までの進捗見込み		継続評価結果									特記事項 (参考) B/C
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価						総合評価		
										必要性(30)	重要性(20)	緊急性(10)	効率性(30)	熟度(10)	計(100)		評価結果	
13 林道整備事業	メンズクメ	岩泉町	R5	R7	林道改良14箇所 延長L=460m	120,000	92,508	77.1%	a	22	18	8	30	10	88	a	AA	2.38
	松橋	岩泉町	R2	R10	林道改築 幅員W=4.0m 延長L=3,500m	600,000	391,682	65.3%	a	21	15	8	30	10	84	a	AA	2.42
	小水内	遠野市	R3	R12	林道開設 幅員W=4.0m 延長L=10,400m	1,300,000	149,499	11.5%	a	24	19	10	20	10	83	a	AA	1.34
	朴館	一戸町	H28	R9	林道開設 幅員W=4.0m 延長L=6,135m	500,000	310,621	62.1%	a	18	15	10	30	5	78	b	A	1.09
	黒滝	奥州市	R1	R8	林道開設 幅員W=4.0m 延長L=3,728m	300,000	173,791	57.9%	a	17	14	10	30	5	76	b	A	1.61
	甫嶺	大船渡市	H25	R9	林道開設 幅員W=4.0m 延長L=5,600m	900,000	390,591	43.4%	a	21	19	10	15	10	75	b	A	1.21
	翁沢	西和賀町	H19	R8	林道開設 幅員W=4.0m 延長L=8,105m	1,048,000	861,041	82.2%	a	25	19	10	15	5	74	b	A	1.29
	漆山	花巻市	H30	R9	林道開設 幅員W=4.0m 延長L=6,670m	980,000	308,264	31.5%	a	23	14	10	20	5	72	b	A	1.37
	畑福	葛巻町	H18	R8	林道開設 幅員W=4.0m 延長L=12,800m	1,920,000	1,003,303	52.3%	a	21	19	10	15	5	70	b	A	1.27
	高倉沢	宮古市	R5	R14	林道開設 幅員W=4.0m 延長L=5,500m	1,370,000	54,531	4.0%	a	23	9	3	30	5	70	b	A	1.84
	赤沢	一関市	H30	R9	林道開設 幅員W=4.0m 延長L=6,300m	700,000	634,917	90.7%	a	20	14	10	20	5	69	b	A	1.37
	平根山	陸前高田市	H18	R7	林道開設 幅員W=4.0m 延長L=10,240m	2,200,000	2,173,811	98.8%	a	25	15	10	10	5	65	b	A	1.12
	ナイヨウ沢	岩泉町	R2	R8	林道開設 幅員W=4.0m 延長L=1,520m	290,000	14,358	5.0%	a	23	10	8	20	3	64	b	A	1.31
	渋梨一ノ渡	大槌町	H20	R9	林道開設 幅員W=4.0m 延長L=8,015m	1,476,000	1,112,829	75.4%	a	22	18	8	10	5	63	b	A	1.16
	鈴峠2号	葛巻町	H20	R8	林道開設 幅員W=4.0m 延長L=10,790m	855,000	464,983	54.4%	a	21	14	8	15	5	63	b	A	1.23
	花見舟打	二戸市	H26	R10	林道開設 幅員W=3.5m 延長L=4,573m	600,000	423,689	70.6%	a	12	18	8	15	10	63	b	A	1.24
	安孫・平糠	葛巻町、一戸町	H20	R9	林道開設 幅員W=5.0m~7.0m 延長L=5,674m	2,932,654	2,184,544	74.5%	a	26	16	10	5	5	62	b	A	1.04
黒崎峠	釜石市	R5	R7	林道改良8箇所 延長L=1,185m	70,000	31,000	44.3%	a	21	8	3	25	5	62	b	A	1.49	
惣畑向	岩泉町	R2	R9	林道開設 幅員W=4.0m 延長L=873m	590,000	408,427	69.2%	a	17	11	8	15	10	61	b	A	1.02	

農林水産部森林保全課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和6年度までの進捗見込み		継続評価結果									特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価						総合評価	(参考) B/C	
										必要性(30)	重要性(20)	緊急性(10)	効率性(30)	熟度(10)	計(100)			
13 林道整備事業	三田貝	岩泉町	H21	R12	林道開設 幅員W=4.0m 延長L=4,512m	1,035,000	820,945	79.3%	a	23	15	10	5	5	58	c	A	1.06
	大松沢	陸前高田市	H21	R11	林道開設 幅員W=4.0m 延長L=5,787m	1,305,000	856,308	65.6%	a	16	10	8	10	10	54	c	A	1.11

農林水産部漁港漁村課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和6年度までの進捗見込み		継続評価結果									特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価						総合評価	(参考) B/C	
										必要性(30)	重要性(20)	緊急性(20)	効率性(20)	熟度(10)	計(100)			
14 漁港整備事業	重茂漁港	宮古市重茂	H29	R7	護岸70m、-3m岸壁70m、 臨港道路540m、 -2m物揚場116m 他	1,084,700	750,865	69.2%	a	19	19	16	20	10	84	a	AA	1.09
	音部漁港	宮古市音部	R4	R7	用地14,000m <sup>2</sup> 、臨港道路 350m、照明灯1式、荷役ク レーン2基	435,000	356,111	81.9%	a	22	17	13	20	10	82	a	AA	1.34
	広田漁港	陸前高田市 広田	R2	R7	南第2防波堤80m 護岸92.7m -5m岸壁30m 他	1,410,000	607,814	43.1%	a	13	19	16	20	10	78	b	A	1.28
	田老漁港	宮古市 田老	R4	R7	-3m岸壁35.8m、護岸80m	109,000	68,000	62.4%	a	17	20	16	15	10	78	b	A	1.43
	崎浜漁港	大船渡市 崎浜	R4	R10	南第2防波堤256m、西防 波堤70.8m、東防波堤 110.9m 等	1,500,000	208,002	13.9%	a	18	15	13	20	10	76	b	A	1.17
	崎浜漁港	大船渡市 崎浜	R6	R7	便所1棟	35,000	2,000	5.7%	a	18	15	18	15	10	76	b	A	3.00
	船越漁港	山田町 船越	R4	R9	東第1防波堤30m、東防波 堤50m、防波堤60m、浮棧 橋50m	854,000	223,590	26.2%	a	11	20	9	20	10	70	b	A	1.54
	大船渡漁港	大船渡市 大船渡	R4	R8	-7m岸壁135m、浚渫4,340 m <sup>3</sup> 、用地2,100m <sup>2</sup>	1,500,000	864,259	57.6%	a	9	20	14	16	10	69	b	A	1.16
	大槌漁港	大槌町 大槌	R4	R7	用地舗装8,550m <sup>2</sup> 、-2.0m 物揚場53m、梯子1式、滑 り材1式	260,000	29,315	11.3%	a	13	19	8	18	10	68	b	A	1.31
	大浦漁港	山田町 大浦	R3	R7	北第1防波堤60m、防災施 設1式	415,000	121,034	29.2%	a	14	11	14	18	10	67	b	A	1.23
	根白漁港	大船渡市 根白	R3	R11	東防波堤300.2m、内港第 1防波堤75.6m	1,461,000	411,581	28.2%	a	8	18	10	20	10	66	b	A	1.44
	綾里漁港	大船渡市 綾里	R3	R9	南防波堤54.5m、護岸 223.5m、船揚場90m 他	1,873,000	556,238	29.7%	a	10	16	11	18	10	65	b	A	1.23
	山田漁港	山田町 山田	R2	R7	用地520m <sup>2</sup> 船揚場122m	255,000	219,902	86.2%	a	10	19	10	16	10	65	b	A	1.20

農林水産部漁港漁村課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和6年度までの進捗見込み			継続評価結果								特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価						総合評価	(参考) B/C	
										必要性(30)	重要性(20)	緊急性(20)	効率性(20)	熟度(10)	計(100)			
14 漁港整備事業	両石漁港	釜石市両石	R3	R10	護岸20m、東防波堤125.7m	1,110,000	410,271	37.0%	a	12	14	11	17	10	64	b	A	1.43
	小白浜漁港	釜石市小白浜	R6	R11	東防波堤50.7m、-4m岸壁55m、用地舗装1,000m <sup>2</sup> 他	607,000	19,000	3.1%	a	15	16	13	9	10	63	b	A	1.11
	白浜(鵜)漁港	釜石市白浜(鵜)	H30	R7	第2防波堤L=100m -3.0m岸壁L=30m	500,000	422,358	84.5%	a	14	11	20	8	10	63	b	A	1.03
	箱崎漁港	釜石市箱崎	R3	R7	北防波堤55m、-3m岸壁30m、船揚場44m	500,000	365,568	73.1%	a	10	12	14	17	10	63	b	A	1.02
	大沢漁港	山田町大沢	R6	R7	便所1基	40,500	2,000	4.9%	a	11	16	8	15	10	60	b	A	1.79

農林水産部漁港漁村課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和6年度までの進捗見込み			継続評価結果								特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価						総合評価	(参考) B/C	
										必要性(30)	重要性(20)	緊急性(20)	効率性(20)	熟度(10)	計(100)			
15 漁場整備事業	姉吉・千鶏・石浜漁場	宮古市重茂	R6	R13	藻場造成13.2ha	960,000	40,000	4.2%	a	26	20	18	20	10	94	a	AA	2.41
	撰待・小堀内・小港・沢尻・大磯漁場	宮古市田老	R4	R8	藻場造成22.4ha	1,026,000	288,290	28.1%	a	26	20	16	20	10	92	a	AA	2.92
	吉浜・越喜来漁場	大船渡市大船渡	R5	R13	藻場造成10.2ha	745,000	151,713	20.4%	a	27	20	18	16	10	91	a	AA	1.62
	桑畑・川津内漁場	久慈市侍浜	R4	R7	藻場造成3.5ha	450,000	249,110	55.4%	a	21	16	16	16	10	79	b	A	1.27

継続評価

公共事業評価 継続評価調書 (箇所一覧)

県土整備部道路建設課

(国：国道、主：主要地方道、一：一般県道)

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和6年度までの進捗見込み		継続評価結果										特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価	(参考) B/C	
										必要性(30)	重要性(30)	緊急性(15)	効率性(20)	熟度(5)	計(100)	評価結果			
16 地域連携道路整備事業 (ネットワーク形成型)	国 340号	岩泉町 浅内	R4	R10	道路改築 L=1,400m	1,000,000	127,100	12.7%	a	23	30	15	18	2	88	a	AA	1.5 (2.5)	
	国 281号	久慈市 案内～戸呂町口	R2	R9	道路改築 L=1,000m	3,416,000	399,330	11.7%	a	13	30	10	18	5	76	b	A	1.6★ (4.4)	
	国 282号	八幡平市 佐比内	H24	R8	道路改築 L=760m	2,900,000	1,763,041	60.8%	a	22	30	10	7	5	74	b	A	0.7 (1.0)	
	国 340号	宮古市 和井内～押角	R2	R8	道路改築 L=1,700m	1,800,000	691,221	38.4%	a	15	30	15	7	5	72	b	A	0.8 (1.3)	
	国 395号	久慈市、洋野町 阿子木	R3	R10	道路改築 L=2,290m	1,100,000	327,594	29.8%	a	17	30	0	20	5	72	b	A	5.2 (9.1)	
17 地域連携道路整備事業 (地域密着型)	主 二戸五日市線	二戸市 柿ノ木平	R3	R12	道路改築 L=1,880m	2,000,000	306,359	15.3%	a	16	20	15	15	15	81	a	AA	1.2 (2.1)	
	主 花巻北上線	北上市 黒岩	H21	R11	道路改築 L=670m	1,000,000	638,330	63.8%	a	17	19	12	18	15	81	a	AA	2.2 (3.5)	
	主 大船渡綾里三陸線	大船渡市 中曾根	R2	R10	道路改築 L=1,400m	700,000	184,500	26.4%	a	18	18	10	20	14	80	a	AA	4.4 (7.2)	
	主 一関北上線	平泉町 長島	R3	R11	道路改築 L=1,960m	2,000,000	292,352	14.6%	a	19	19	7	20	13	78	b	A	5.9 (9.5)	
	主 軽米種市線	洋野町 城内	R6	R11	道路改築 L=540m	400,000	25,000	6.3%	a	17	19	12	18	12	78	b	A	1.9 (3.3)	
	一 二戸軽米線	軽米町 新町	R2	R9	道路改築(突角尖除、待避所設置) L=1,300m	1,300,000	629,518	48.4%	a	21	18	7	15	15	76	b	A	1.2 (2.2)	
	主 花巻大曲線	西和賀町 笹峠	H19	R12	道路改築 L=800m	700,000	6,764	1.0%	a	20	13	13	18	12	76	b	A	1.7 (2.8)	
	一 遠野住田線	遠野市 下組町～六日町	R3	R9	道路改築 L=940m	700,000	54,345	7.8%	a	19	18	7	20	12	76	b	A	6.2 (9.9)	
	主 盛岡横手線	西和賀町 泉沢	R2	R8	道路改築 L=786m	600,000	147,074	24.5%	a	18	20	3	18	15	74	b	A	2.2 (3.6)	
	一 玉里梁川線	奥州市 梁川	R1	R12	道路改築 L=1,500m	1,500,000	234,874	15.7%	a	19	19	2	18	15	73	b	A	1.6 (2.6)	
	一 普代小屋瀬線	岩泉町 松林～坂本	H25	R9	道路改築(突角尖除、待避所設置) L=1,830m	360,000	168,923	46.9%	a	16	17	10	15	15	73	b	A	1.0 (1.6)	
	主 本吉室根線	一関市 津谷川	R2	R8	道路改築 L=200m	200,000	52,589	26.3%	a	17	17	2	20	15	71	b	A	8.5 (13.8)	
主 一関北上線	奥州市 大久保～内堀	R4	R13	道路改築 L=1,800m	1,800,000	61,789	3.4%	a	12	19	7	20	12	70	b	A	9.8 (15.8)		

県土整備部道路建設課

(国：国道、主：主要地方道、一：一般県道)

事業名	路線名等	箇所名	事業計画					令和6年度までの進捗見込み		継続評価結果									特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価						総合評価	(参考) B/C		
										必要性(30)	重要性(30)	緊急性(15)	効率性(20)	熟度(5)	計(100)			評価結果	
17 地域連携道路整備事業 (地域密着型)	主 釜石遠野線	釜石市中村～青ノ木	R2	R7	道路改築 L=1,100m	990,000	801,711	81.0%	a	17	17	10	7	15	66	b	A	0.8 (1.3)	
	一 下宮守田瀬線	花巻市田瀬	R6	R13	道路改良(突角剪除) L=360m	145,000	7,886	5.4%	a	13	14	12	15	12	66	b	A	1.1 (1.8)	
	一 釜石住田線	住田町中埠	R3	R10	道路改築 L=900m	1,550,000	100,082	6.5%	a	15	18	12	7	12	64	b	A	0.6 (1.0)	
	一 北上和賀線	北上市小田中	H25	R7	道路改築 L=1,860m	1,600,000	1,446,817	90.4%	a	10	15	7	15	15	62	b	A	1.3 (2.1)	
	一 金田一温泉線	二戸市金田一	R4	R10	道路改築 L=500m	245,000	52,679	21.5%	a	13	17	12	7	12	61	b	A	0.7 (1.2)	
	主 紫波江繋線	紫波町星山	H28	R7	道路改築 L=1,540m	1,360,000	1,159,293	85.2%	a	11	15	12	7	15	60	b	A	0.6 (0.9)	

県土整備部道路環境課

(国：国道、主：主要地方道、一：一般県道)

事業名	路線名等	箇所名	事業計画					令和6年度までの進捗見込み		継続評価結果									特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価						総合評価	(参考) B/C		
										必要性(35)	重要性(10)	緊急性(20)	効率性(20)	熟度(15)	計(100)			評価結果	
18 道路環境改善事業 (交通安全施設整備)	一 渋民田頭線	八幡平市五百森	R5	R10	歩道整備 L=846m	315,000	11,000	3.5%	a	25	5	15	20	12	77	b	A	2.0	
	一 若柳花泉線	一関市涌津	R3	R7	歩道設置 L=570m	423,000	244,000	57.7%	a	25	10	15	10	12	72	b	A	1.0	
	国 340号	九戸村長興寺	R3	R8	歩道設置 L=460m	360,000	167,000	46.4%	a	25	10	15	10	12	72	b	A	1.0	
	一 古館停車場線	紫波町中島	R3	R7	歩道設置 L=210m	155,000	132,221	85.3%	a	30	5	15	10	12	72	b	A	1.0	
	国 281号	久慈市生出町	R6	R12	歩道設置 L=200m	70,000	10,000	14.3%	a	30	5	15	10	12	72	b	A	1.0	
	主 盛岡和賀線	花巻市北湯口	R3	R11	歩道設置 L=1,404m	530,000	30,981	5.8%	a	20	0	18	20	12	70	b	A	2.0	
	主 花巻北上線	北上市黒岩	R3	R9	歩道設置 L=910m	250,000	31,000	12.4%	a	20	0	15	20	12	67	b	A	2.5	
	一 胆沢金ヶ崎線	金ヶ崎町関田前	R4	R9	歩道整備 L=1,050m	380,000	95,200	25.1%	a	18	10	18	20	0	66	b	A	2.0	
	主 上米内湯沢線	盛岡市浅岸	R4	R8	歩道整備 L=280m	208,000	101,000	48.6%	a	18	10	15	10	12	65	b	A	1.0	
	一 清水野村崎野線	北上市村崎野	R3	R7	交差点改良 L=65m	34,000	16,000	47.1%	a	30	5	15	10	3	63	b	A	1.2	
	一 久田笹長根線	金ヶ崎町六原	H30	R7	歩道設置 L=868m	285,000	160,892	56.5%	a	15	0	15	20	12	62	b	A	2.0	



県土整備部道路環境課

(国：国道、主：主要地方道、一：一般県道)

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和6年度までの進捗見込み			継続評価結果								特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費①(千円)	事業費②(千円)	進捗率②/①(%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価						総合評価	(参考) B/C	
										必要性(35)	重要性(10)	緊急性(15)	効率性(20)	熟度(20)	計(100)			
19 交通安全施設整備事業(交通安全施設整備(道の駅))	国 343号	一関市(仮称)大東道の駅	R4	R7	道の駅整備 N=1箇所	350,000	345,000	98.6%	a	35	10	10	20	10	85	a	AA	12.1
20 道路環境改善事業(無電柱化推進)	一 矢巾停車場線	矢巾町又兵衛新田	R3	R12	無電柱化 L=2,270m	2,000,000	668,572	33.4%	a	40	10	10	10	20	90	a	AA	1.9
	一 遠野住田線	遠野市中央通	R6	R14	無電柱化 L=1,000m	600,000	25,000	4.2%	a	25	10	10	20	20	85	a	AA	2.7
	国 281号	久慈市荒町	R5	R12	無電柱化 L=600m	540,000	45,000	8.3%	a	35	10	10	10	20	85	a	AA	1.8
	一 遠野停車場線	遠野市新穀町	R6	R14	無電柱化 L=600m	400,000	25,000	6.3%	a	25	10	10	20	20	85	a	AA	2.5
	一 三日町瀬原線	平泉町平泉	R4	R7	無電柱化 L=870m	520,000	176,000	33.8%	a	40	10	0	20	10	80	a	AA	5.4
	一 宮古停車場線	宮古市栄町	R5	R10	無電柱化 L=150m	230,000	104,000	45.2%	a	25	7	10	10	20	72	b	A	1.7
21 道路環境改善事業(防雪・凍雪害防止)	主 盛岡横手線	西和賀町若畑の2	R3	R10	堆雪帯設置 L=1,150m	225,000	40,000	17.8%	a	30	15	0	20	11	76	b	A	2.0(3.3)
	一 花巻和賀線	北上市後藤	H30	R7	堆雪帯設置 L=3,000m	700,000	169,418	24.2%	a	25	10	0	20	13	68	b	A	2.0(2.9)
22 地域連携道路整備事業(市町村道代行整備)	八幡平市道柧沢線	八幡平市柧沢	R3	R7	道路改良(橋梁) L=40m	663,632	480,412	72.4%	a	18	15	8	10	20	71	b	A	0.8(1.2)

県土整備部河川課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和6年度までの進捗見込み			継続評価結果								特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費①(千円)	事業費②(千円)	進捗率②/①(%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価						総合評価	(参考) B/C	
										必要性(30)	重要性(5)	緊急性(15)	効率性(40)	熟度(10)	計(100)			
23 広域河川改修事業	瀬月内川	九戸村	H9	R15	築堤、掘削、護岸 L=1,790m	1,200,000	392,000	32.7%	a	29	5	2	40	10	86	a	AA	14.3
	夏川	一関市	H20	R10	築堤、掘削、護岸 L=5,725m	4,912,300	3,650,000	66.5%	b	28	5	12	40	10	95	a	A	5.8
	千厩川(上流)	一関市	H8	R8	築堤、掘削、護岸 L=6,800m	3,383,000	2,368,800	70.0%	a	16	5	7	20	10	58	c	C	1.4

県土整備部河川課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和6年度までの進捗見込み			継続評価結果								特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価						総合評価	(参考) B/C	
										必要性(30)	重要性(5)	緊急性(15)	効率性(40)	熟度(10)	計(100)			
24 総合流域防災事業(河川)	明内川	野田村	H11	R17	本川改修、分水路、放水路 L=2,610m	3,504,000	2,330,000	66.5%	a	28	5	7	40	10	90	a	AA	14.5
	広瀬川	奥州市	H3	R15	築堤、掘削、護岸 L=5,600m	4,321,000	1,182,000	27.4%	a	23	5	7	20	10	65	b	A	1.0
	金流川	一関市	H29	R10	築堤L=2,020m	1,301,000	1,187,000	81.6%	a	19	5	7	20	10	61	b	A	1.0
25 治水施設整備事業	和賀川	西和賀町	H26	R25	築堤護岸 L=7,700m	2,340,000	895,000	38.2%	a	28	5	1	35	10	79	b	A	4.2
	砂鉄川・曾慶川	一関市 大東町	H28	R9	築堤、掘削、護岸 L=1,600m	850,000	164,000	19.3%	a	29	5	2	20	10	66	b	A	1.3
	安比川	八幡平市 浅沢	H13	R13	築堤護岸 L=3,800m	990,000	529,000	53.4%	a	23	5	7	20	10	65	b	A	1.5
	久慈川	久慈市 大川目	R2	R11	築堤、樋門 L=281m	380,000	106,000	27.9%	b	18	5	7	25	5	60	b	B	2.7
	本郷川	北上市 鷹鳥羽	H21	R10	築堤 L=400m	240,000	90,000	37.5%	b	19	5	1	20	10	55	c	C	1.9

県土整備部砂防災課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和6年度までの進捗見込み			継続評価結果								特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価						総合評価	(参考) B/C	
										必要性(20)	重要性(10)	緊急性(40)	効率性(30)	熟度(-)	計(100)			
26 通常砂防事業	片岸川水系	釜石市 川目の沢	R3	R7	砂防堰堤1基	350,000	215,000	61.4%	a	18	10	37	25	-	90	a	AA	4.0
	小本川水系	岩泉町 浅内の沢	R2	R8	既設砂防堰堤のスリット化	500,000	245,000	49.0%	a	18	10	34	25	-	87	a	AA	8.7
	その他水系	山田町 大浦の沢(3)	R4	R9	砂防堰堤2基	400,000	119,000	29.8%	a	20	10	32	25	-	87	a	AA	12.3
	北上川水系	紫波町 内方の沢(1)	R6	R10	砂防堰堤1基	400,000	40,000	10.0%	a	18	10	32	25	-	85	a	AA	4.8
	その他水系	大槌町 赤浜の沢-3	R4	R9	砂防堰堤1基	480,000	80,000	16.7%	a	20	10	29	25	-	84	a	AA	8.3
	北上川水系	花巻市 下中居の沢2	R1	R8	砂防堰堤1基 溪流保全工1式	500,000	203,200	40.6%	a	18	10	29	25	-	82	a	AA	6.4
	気仙川水系	釜石市 佐須の沢(3)	R6	R10	砂防堰堤1基	376,000	25,000	6.6%	a	18	10	29	25	-	82	a	AA	3.6
	北上川水系	平泉町 日照田の沢	R3	R7	砂防堰堤1基	200,000	99,000	49.5%	a	18	10	22	30	-	80	a	AA	5.8
	小本川水系	岩泉町 日蔭の沢(2)	R2	R7	砂防堰堤1基	500,000	289,000	57.8%	a	18	10	31	20	-	79	b	A	3.7

県土整備部砂防災課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和6年度までの進捗見込み		継続評価結果									特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価						総合評価	(参考) B/C	
										必要性(20)	重要性(10)	緊急性(40)	効率性(30)	熟度(-)	計(100)			
26 通常砂防事業	閉伊川水系	宮古市北井沢	R6	R12	砂防堰堤1基	550,000	56,000	10.2%	a	18	10	29	20	-	77	b	A	3.0
	馬淵川水系	一戸町中屋敷の沢(2)	R5	R9	砂防堰堤1基	420,000	61,000	14.5%	a	20	10	16	30	-	76	b	A	12.8
	北上川水系	遠野市熊ノ洞沢(4)	R5	R9	砂防堰堤1基	500,000	55,000	11.0%	a	18	10	16	30	-	74	b	A	6.7
	北上川水系	岩手町民部田の沢(2)	R4	R9	砂防堰堤1基	430,000	70,000	16.3%	a	20	10	19	25	-	74	b	A	10.2
	小本川水系	岩泉町国境の沢8	R5	R9	砂防堰堤1基	270,000	66,000	24.4%	a	14	5	34	20	-	73	b	A	1.0
	馬淵川水系	二戸市石切所の沢	H30	R8	砂防堰堤1基	500,000	152,546	30.5%	a	18	10	19	25	-	72	b	A	7.6
	大槌川水系	大槌町安渡の沢(3)	R5	R9	砂防堰堤1基	390,000	50,000	12.8%	a	18	10	19	25	-	72	b	A	4.9
	その他水系	大船渡市下船渡の沢	R4	R9	砂防堰堤1基	500,000	86,000	17.2%	a	20	10	16	25	-	71	b	A	18.3
	普代川水系	田野畑村小バタケ沢	R4	R9	砂防堰堤2基	540,000	91,000	16.9%	a	18	5	31	15	-	69	b	A	2.3
	小本川水系	岩泉町穴沢	R4	R9	砂防堰堤1基	500,000	80,000	16.0%	a	18	5	31	15	-	69	b	A	1.2
	その他水系	陸前高田市久連坪の沢(2)	R6	R10	砂防堰堤1基 溪流保全工1式	320,000	35,000	10.9%	a	18	10	16	25	-	69	b	A	4.8
	北上川水系	花巻市岩の目の沢	H30	R7	砂防堰堤1基 溪流保全工1式	400,000	280,000	70.0%	a	14	10	29	15	-	68	b	A	1.2
	馬淵川水系	葛巻町小平沢(2)	R5	R9	砂防堰堤1基	500,000	80,000	16.0%	a	18	5	19	25	-	67	b	A	3.3
	小本川水系	岩泉町宮本の沢2	R6	R11	砂防堰堤1基 溪流保全工1式	500,000	30,000	6.0%	a	18	5	29	15	-	67	b	A	2.5
	北上川水系	滝沢市上鶴飼の沢	R2	R7	砂防堰堤1基	400,000	277,000	69.3%	a	20	5	16	25	-	66	b	A	25.9
	北上川水系	滝沢市高森の沢	R2	R9	砂防堰堤1基	300,000	209,180	69.7%	a	20	5	16	25	-	66	b	A	36.9
	北上川水系	八幡平市外水沢	H30	R8	砂防堰堤1基	750,000	676,300	90.2%	a	18	5	16	25	-	64	b	A	8.8
	北上川水系	奥州市地藏壇(1)	R4	R9	砂防堰堤1基	550,000	87,000	15.8%	a	18	10	19	15	-	62	b	A	2.1
	津谷川水系	一関市上川原の沢	R4	R9	砂防堰堤2基	530,000	130,000	24.5%	a	18	10	14	20	-	62	b	A	4.5
	北上川水系	八幡平市屋敷沢	R4	R10	砂防堰堤1基	850,000	135,000	15.9%	a	18	10	17	15	-	60	b	A	1.8
北上川水系	滝沢市白山の沢	R4	R9	砂防堰堤1基	400,000	99,900	25.0%	a	18	5	17	20	-	60	b	A	4.2	

県土整備部砂防災課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画			令和6年度までの進捗見込み			継続評価結果									特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価						総合評価	(参考) B/C	
										必要性(20)	重要性(10)	緊急性(40)	効率性(30)	熟度(-)	計(100)			
27 火山砂防事業	北上川水系	八幡平市 スキー場南沢	H29	R8	砂防堰堤1基	500,000	287,000	57.4%	a	18	5	19	25	-	67	b	A	7.8
28 県単砂防事業	小本川水系	岩泉町 沢川目の沢(2)	H26	R9	砂防堰堤1基 溪流保全工1式	300,000	243,900	81.3%	a	18	5	29	10	-	62	b	A	2.2
29 急傾斜地崩壊対策事業	釜石市	源太沢・源太沢(3)	R4	R9	法面保護工 A=3,968m <sup>2</sup>	280,000	66,000	23.6%	a	20	10	37	25	-	92	a	AA	12.5
	釜石市	本郷(2)	R5	R9	簡易吹付法砕工A=3,250m <sup>2</sup>	200,000	35,000	17.5%	a	10	10	35	30	-	85	a	AA	13.6
	盛岡市	下米内二丁目	H20	R10	簡易吹付法砕工L=243m	220,000	4,100	1.9%	b	20	10	35	20	-	85	a	A	18.2
	住田町	赤畑	R5	R10	落石防護柵工L=320m	500,000	45,000	9.0%	a	20	5	29	15	-	69	b	A	2.4
	一関市	兵沢	R4	R9	法面工A=1,126m <sup>2</sup>	340,000	65,000	19.1%	a	14	10	30	15	-	69	b	A	2.1
	宮古市	太田二丁目	R6	R13	法面工1式	730,000	30,000	4.1%	a	10	5	34	15	-	64	b	A	3.0

県土整備部都市計画課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画			令和6年度までの進捗見込み			継続評価結果									特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価						総合評価	(参考) B/C	
										必要性(20)	重要性(35)	緊急性(10)	効率性(20)	熟度(15)	計(100)			
30 都市計画道路整備事業	上野西法寺線	一戸町 高善寺	H29	R7	道路改築 L=580m	2,800,000	1,617,489	57.8%	a	14	26	5	20	10	75	b	A	2.2

県土整備部建築住宅課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画			令和6年度までの進捗見込み			継続評価結果									特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価						総合評価	(参考) B/C	
										必要性(20)	重要性(20)	緊急性(10)	効率性(30)	熟度(20)	計(100)			
31 公営住宅建設事業 (公営住宅)	盛岡市	緑が丘アパート	R6	R11	個別改善 4棟82戸	1,021,507	7,139	0.7%	b	20	12	10	25	10	77	b	B	1.15
	一関市	銅谷アパート	R4	R8	個別改善 3棟48戸	695,601	242,881	34.9%	b	20	12	10	20	10	72	b	B	0.96

令和6年度公共事業 継続評価調書(箇所別) 目次

【農林水産部】

事業の種類	事業名	担当課	箇所名	掲載ページ
農業農村整備事業	経営体育成基盤整備事業	農村建設課	小猪岡	138
	経営体育成基盤整備事業	農村建設課	清田	140
	農村地域防災減災事業	農村建設課	樋茂井	142
林道事業	林道整備事業	森林保全課	ナイヨウ沢線	144

【県土整備部】

事業の種類	事業名	担当課	箇所名	掲載ページ
道路事業用	地域連携道路整備事業(地域密着型)	道路建設課	中村～青ノ木 (主 釜石遠野線)	146
	地域連携道路整備事業(地域密着型)	道路建設課	金田一 (一 金田一温泉線)	148
河川事業	広域河川改修事業	河川課	瀬月内川	150
	広域河川改修事業	河川課	千厩川(上流)	152



事業名	経営体育成基盤整備事業		補助・単独	担当部課名	農林水産部農村建設課																							
路線名等	—		地区名	このおか 小猪岡	市町村	一関市																						
事業概要	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題 本地区の水田は、10a程度の小区画不整形で農道も狭小のため、大型機械導入を阻害している。また、水路は用排兼用の土水路であるため、安定的な用水確保ができず維持管理に多大な労力を要しているほか、排水不良をきたし水田の汎用化を阻害している。 これらのことが、農地利用集積の推進を妨げ、担い手の経営規模拡大や地域農業経営の合理化を阻害する要因となっている。</p> <p>○整備によって得られる効果 ほ場の大区画化により大型農業用機械の導入が可能になるとともに、用水路のパイプライン化により用水管理の省力化が図られ、また、排水路の装工及び暗渠排水の整備により水田の汎用化が図られることから、農作業効率が向上し担い手への農地利用集積が加速される。 これにより、担い手の経営規模拡大が進むとともに、地域農業経営の複合化が促進され、地域全体の収益向上が図られる。</p> <p>(2) 事業内容 区画整理 96.6ha</p> <p>(3) 事業計画期間及び総事業費</p>																											
	事業計画期間		総事業費		令和6年度までの進捗見込み																							
	着手年度	完了予定年度	① [千円]	② 事業費 [千円]	進捗率 ③ = ②/①																							
	平成28年度	令和10年度	3,059,000	1,900,793	62.1%																							
事業の進捗状況	<p>(1) 整備効果の発現状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区画整理は、令和6年度までに55.0ha（概ね6割）の整備を完了する見込み。</li> <li>区画拡大や道水路の整備により生産条件の向上が図られ、担い手への集積が進んでいる。 集積率 H27(事業実施前)14.1%、R11(目標年度)100%、R5時点59.8% (45.7ポイント増)</li> </ul> <p>(2) 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工事着手後、想定以上に発生した転石及び湧水の処理のため工事費が増となったことや、昨今の物価高騰による事業費増（自然増）に加え、厳しい公共事業予算の現状を踏まえ、工程の見直しが生じたことにより、工事が遅延している。</li> <li>こうした状況を踏まえ工程の見直しを行い、残工事や換地業務等を計画的に進め、令和10年度の事業完了に向け事業を推進していく。</li> </ul>																											
	<p>(1) 事業に関する社会経済情勢</p> <p>ア 本県内又は施工地域における状況</p> <p>「いわて農業農村整備の展開方向（2023～2026）」においては、「地域の特性に応じた収益力の高い農業の実現」を重点施策の一つに位置付け、①水田の大区画化と汎用化の推進、②ほ場整備の導入による担い手への農地集積の促進、③特色ある産地形成に向けた高収益作物等の導入促進、④中山間地域等における地域の特性に応じた基盤整備を推進することとしている。</p> <p>(参考) 予算の動向 [百万円]</p> <table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>25</td> <td>168</td> <td>265</td> <td>136</td> <td>256</td> <td>310</td> <td>200</td> <td>495</td> <td>46</td> <td>1,901</td> </tr> </table> <p>(2) 自然環境等の状況</p> <p>ア 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岩手県自然環境保全指針による環境保全区分 <input type="text" value="D"/></li> <li>希少野生動植物の生息の有無 <input type="text" value="有"/> 県レッドデータブックC及びDランクの種が生息</li> <li>埋蔵文化財包蔵地の有無 <input type="text" value="無"/></li> </ul>						年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	計	事業費	25	168	265	136	256	310	200	495	46	1,901
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	計																		
事業費	25	168	265	136	256	310	200	495	46	1,901																		
社会経済情勢等の状況	<p>(1) 事業に関する社会経済情勢</p> <p>ア 本県内又は施工地域における状況</p> <p>「いわて農業農村整備の展開方向（2023～2026）」においては、「地域の特性に応じた収益力の高い農業の実現」を重点施策の一つに位置付け、①水田の大区画化と汎用化の推進、②ほ場整備の導入による担い手への農地集積の促進、③特色ある産地形成に向けた高収益作物等の導入促進、④中山間地域等における地域の特性に応じた基盤整備を推進することとしている。</p> <p>(参考) 予算の動向 [百万円]</p> <table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>25</td> <td>168</td> <td>265</td> <td>136</td> <td>256</td> <td>310</td> <td>200</td> <td>495</td> <td>46</td> <td>1,901</td> </tr> </table> <p>(2) 自然環境等の状況</p> <p>ア 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岩手県自然環境保全指針による環境保全区分 <input type="text" value="D"/></li> <li>希少野生動植物の生息の有無 <input type="text" value="有"/> 県レッドデータブックC及びDランクの種が生息</li> <li>埋蔵文化財包蔵地の有無 <input type="text" value="無"/></li> </ul>						年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	計	事業費	25	168	265	136	256	310	200	495	46	1,901
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	計																		
事業費	25	168	265	136	256	310	200	495	46	1,901																		

社会  
経済  
情勢  
等の  
状況

イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費

事業実施に当たっては、広域振興局で開催される一関地区希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進めている。

①動物に対する配慮

対象動物について、工事に先立ち隣接地に移動。

②植物に対する配慮

対象植物について、工事に先立ち同種が自生する隣接地に移植。

《環境等への配慮に要する経費》

- ・再生AS合材や再生砕石を使用 (6,500千円)

○自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分ごとの保全方向に沿って積極的に対応していることから「a」とした。

項目評価	a	b	c
------	---	---	---

(3) 事業に関する指標からみた評価

	必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	＜参考＞ 費用便益比 (B/C)
配点	25	15	20	20	20	100	
評点	25	13	10	12	16.25	76.25	1.20

○事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。

項目評価	a	b	c
------	---	---	---

○ 関連する開発プロジェクト等の状況

特になし。

(1) 総合評価

総合評価	AA	A	B	C
------	----	---	---	---

総合  
評価

○総合評価に係るコメント

・本地区は、小区画に加え末端水路が素堀の用排兼用で、地区内耕作道も狭小であるため農作業に多大な支障を来しており、本事業による水田の大区画化等の農業生産条件向上を契機に、「意欲と能力のある経営体」への農地利用集積、効率的かつ安定的な農業経営の確立を図るものである。

・「自然環境等の状況」については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的に対応をしていることから「a」評価、また「事業に関する指標からみた評価」については、評価指標の評点の合計が60点以上80点未満となっていることから「b」評価としており、総合評価を「A」とした。

・本事業の目的を達成するためには、現時点で社会経済情勢等の状況や代替案を検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、事業の継続が妥当であると判断したものである。

(2) その他特記事項

特になし。



公共事業 継続評価調書(箇所別)

令和6年10月3日作成

事業名	経営体育成基盤整備事業		補助・単独	担当部課名	農林水産部農村建設課																					
路線名等	—	地区名	きよた 清田	市町村	一関市																					
事業概要	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題                      本地区の水田は、10a程度の小区画不整形で農道も狭小のため、大型機械導入を阻害している。また、水路は用排兼用の土水路であるため、安定的な用水確保ができず維持管理に多大な労力を要しているほか、排水不良をきたし水田の汎用化を阻害している。                      これらのことが、農地利用集積の推進を妨げ、担い手の経営規模拡大や地域農業経営の合理化を阻害する要因となっている。</p> <p>○整備によって得られる効果                      ほ場の大区画化により大型農業用機械の導入が可能になるとともに、用水路のパイプライン化により用水管理の省力化が図られ、また、排水路の装工及び暗渠排水の整備により水田の汎用化が図られることから、農作業効率が向上し担い手への農地利用集積が加速される。                      これにより、担い手の経営規模拡大が進むとともに、地域農業経営の複合化が促進され、地域全体の収益向上が図られる。</p>																									
	<p>(2) 事業内容</p> <p>区画整理 65.7ha (当初計画：区画整理 65.6ha)</p>																									
	<p>(3) 事業計画期間及び総事業費</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">事業計画期間</th> <th>総事業費</th> <th colspan="2">令和6年度までの進捗見込み</th> </tr> <tr> <th>着手年度</th> <th>完了予定年度</th> <th>① [千円]</th> <th>② 事業費 [千円]</th> <th>進捗率 ③ = ②/①</th> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>令和9年度</td> <td>2,650,400</td> <td>2,205,700</td> <td>83.2%</td> </tr> </table>					事業計画期間		総事業費	令和6年度までの進捗見込み		着手年度	完了予定年度	① [千円]	② 事業費 [千円]	進捗率 ③ = ②/①	平成28年度	令和9年度	2,650,400	2,205,700	83.2%						
	事業計画期間		総事業費	令和6年度までの進捗見込み																						
着手年度	完了予定年度	① [千円]	② 事業費 [千円]	進捗率 ③ = ②/①																						
平成28年度	令和9年度	2,650,400	2,205,700	83.2%																						
<p>(1) 整備効果の発現状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区画整理は令和6年度までに完了する見込み。</li> <li>区画拡大や導水路の整備により生産条件の向上が図られ、担い手への集積が進んでいる。 集積率 H27(事業実施前)71.9%、R10(目標年度)100%、R5時点83.1% (11.2ポイント増)</li> </ul> <p>(2) 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地元要望による地区編入、及び、想定以上に発生した湧水の処理のため工事費が増となったことや、昨今の物価高騰による事業費増(自然増)に加え、厳しい公共事業予算の現状を踏まえ、工程の見直しが生じたことにより、工事が遅延している。</li> <li>こうした状況を踏まえ工程の見直しを行い、残工事や換地事務等を計画的に進め、令和9年度の事業完了に向け事業を推進していく。</li> </ul>																										
社会経済情勢等の状況	<p>(1) 事業に関する社会経済情勢</p> <p>ア 本県内又は施工地域における状況</p> <p>「いわて農業農村整備の展開方向(2023~2026)」においては、「地域の特性に応じた収益力の高い農業の実現」を重点施策の一つに位置付け、①水田の大区画化と汎用化の推進、②ほ場整備の導入による担い手への農地集積の促進、③特色ある産地形成に向けた高収益作物等の導入促進、④中山間地域等における地域の特性に応じた基盤整備を推進することとしている。</p>																									
	<p>(参考) 予算の動向 [百万円]</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>19</td> <td>484</td> <td>356</td> <td>93</td> <td>448</td> <td>244</td> <td>181</td> <td>357</td> <td>25</td> <td>2,207</td> </tr> </table> <p>(2) 自然環境等の状況</p> <p>ア 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岩手県自然環境保全指針による環境保全区分 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">D</span></li> <li>希少野生動植物の生息の有無 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">有</span> 県レッドデータブックC及びDランクの種が生息</li> <li>埋蔵文化財包蔵地の有無 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">無</span></li> </ul>					年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	計	事業費	19	484	356	93	448	244	181	357	25
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	計																
事業費	19	484	356	93	448	244	181	357	25	2,207																

社会  
経済  
情勢  
等の  
状況

イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費

事業実施に当たっては、広域振興局で開催される一関地区希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進めている。

①動物に対する配慮

対象動物について、工事に先立ち隣接地に移動。

②植物に対する配慮

対象植物について、工事に先立ち同種が自生する隣接地に移植。

《環境等への配慮に要する経費》

- ・再生AS合材や再生砕石を使用 (3,000千円)

○自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分ごとの保全方向に沿って積極的に対応していることから「a」とした。

項目評価 a . b . c

(3) 事業に関する指標からみた評価

	必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	<参考> 費用便益比 (B/C)
配点	25	15	20	20	20	100	
評点	25	13	10	12	16.25	76.25	1.67

○事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。

項目評価 a . (b) . c

○ 関連する開発プロジェクト等の状況

特になし。

(1) 総合評価

総合評価 AA . (A) . B . C

○総合評価に係るコメント

・本地区は、小区画に加え末端水路が素堀の用排兼用で、地区内耕作道も狭小であるため農作業に多大な支障を来しており、本事業による水田の大区画化等の農業生産条件向上を契機に、「意欲と能力のある経営体」への農地利用集積、効率的かつ安定的な農業経営の確立を図るものである。

・「自然環境等の状況」については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的に対応をしていることから「a」評価、また「事業に関する指標からみた評価」については、評価指標の評点の合計が60点以上80点未満となっていることから「b」評価としており、総合評価を「A」とした。

・本事業の目的を達成するためには、現時点で社会経済情勢等の状況や代替案を検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、事業の継続が妥当であると判断したものである。

(2) その他特記事項

特になし。

総合  
評価

事業名	農村地域防災減災事業		補助・単独	担当部課名	農林水産部農村建設課																				
路線名等	—	地区名	ひもい 樋茂井	市町村	奥州市																				
事業概要	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題 本地区は総延長16kmのうち11.7kmがS49～55にかけて非補助かんがい排水事業又は災害復旧事業により装工されているが、未改修区間は断面狭小な素掘り側溝のため、大雨の際には溢水し家屋等にも浸水の被害を与えていることから、早急に対策を講じる必要がある。</p> <p>○整備によって得られる効果 土水路区間が装工されることにより、下流域の農地や農業用施設及び公共施設等への災害を未然に防止する。</p> <p>(2) 事業内容 開渠工 4,990m</p> <p>(3) 事業計画期間及び総事業費</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">事業計画期間</th> <th rowspan="2">総事業費 〔千円〕</th> <th colspan="2">令和6年度までの進捗見込み</th> </tr> <tr> <th>着手年度</th> <th>完了予定年度</th> <th>② 事業費〔千円〕</th> <th>進捗率 ③ = ②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年度</td> <td>令和8年度</td> <td>661,800</td> <td>617,485</td> <td>93.3%</td> </tr> </tbody> </table>					事業計画期間		総事業費 〔千円〕	令和6年度までの進捗見込み		着手年度	完了予定年度	② 事業費〔千円〕	進捗率 ③ = ②/①	平成29年度	令和8年度	661,800	617,485	93.3%						
	事業計画期間		総事業費 〔千円〕	令和6年度までの進捗見込み																					
	着手年度	完了予定年度		② 事業費〔千円〕	進捗率 ③ = ②/①																				
	平成29年度	令和8年度	661,800	617,485	93.3%																				
事業の進捗状況	<p>(1) 整備効果の発現状況 令和6年度において、路線全体の61%に当たる3,055mの水路工事を完了する見込みであり、整備済区間においては大雨等による当該水路の決壊が防止され、周辺農地及び農業用施設の他、人家や公共資産に係る自然災害の発生防止効果が発現されている。</p> <p>(2) 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し ・工事实施に係る仮設工法の検討及び用地の確保等に不測の時間を要したことや、昨今の物価高騰による事業費増に加え、厳しい公共事業予算の現状を踏まえ、工程の見直しが必要になったことにより工期が遅延している。 ・こうした状況を踏まえ、工程の見直しを行い、残工事を計画的に進め、令和8年度の事業完了に向け事業を推進していく。</p>																								
	社会経済情勢等の状況	<p>(1) 事業に関する社会経済情勢</p> <p>ア 本県内又は施工地域における状況 近年、大規模な地震や局地的豪雨が頻発しており、県内及び本事業地域においても農地や農業用施設に甚大な被害が発生している。 このことから、農村住民の生命、財産及び生活を守ることを目的とする本事業の実施は急務であり、事業の実施による早期の効果の発現が望まれている。</p> <p>(参考) 予算の動向 <span style="float:right">〔百万円〕</span></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th>R03</th> <th>R04</th> <th>R05</th> <th>R06</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>133</td> <td>101.9</td> <td>58</td> <td>87.6</td> <td>51</td> <td>87</td> <td>83</td> <td>16</td> <td>617.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 自然環境等の状況</p> <p>ア 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岩手県自然環境保全指針による環境保全区分 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">D, E</span></li> <li>希少野生動植物の生息の有無 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">有</span> 県レッドデータブックB～Dランクの種が生息</li> <li>埋蔵文化財包蔵地の有無 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">無</span></li> </ul>					年度	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	計	事業費	133	101.9	58	87.6	51	87	83	16
年度		H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	計															
事業費	133	101.9	58	87.6	51	87	83	16	617.5																

社 会 経 済 情 勢 等 の 状 況	<p><b>イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</b></p> <p>事業実施に当たっては、広域振興局で開催される奥州地区希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進める。</p> <p>① 動物に対する配慮 工事期間中は隣接地に移動し工事完了後に元の付近に戻す。</p> <p>② 植物に対する配慮 近傍で同種の植物が自生している場所に移植する。</p> <p>○自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分ごとの保全方向に沿って積極的に対応していることから「a」とした。</p>																							
	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="padding: 2px 10px;">項目評価</td> <td style="padding: 2px 10px;">a . b . c</td> </tr> </table>	項目評価	a . b . c																					
	項目評価	a . b . c																						
<p><b>(3) 事業に関する指標からみた評価</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 10%;">必要性</th> <th style="width: 10%;">重要性</th> <th style="width: 10%;">緊急性</th> <th style="width: 10%;">効率性</th> <th style="width: 10%;">熟度</th> <th style="width: 10%;">計</th> <th style="width: 10%;"><small>&lt;参 考&gt;</small></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: left;">配点</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>30</td> <td>20</td> <td>10</td> <td>100</td> <td style="text-align: left;">費用便益比 (B/C)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">評点</td> <td>4.5</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>8.75</td> <td>73.25</td> <td style="text-align: center;">1.28</td> </tr> </tbody> </table> <p>○事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満であることから「b」とした。</p>		必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	<small>&lt;参 考&gt;</small>	配点	20	20	30	20	10	100	費用便益比 (B/C)	評点	4.5	20	20	20	8.75	73.25	1.28
	必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	<small>&lt;参 考&gt;</small>																	
配点	20	20	30	20	10	100	費用便益比 (B/C)																	
評点	4.5	20	20	20	8.75	73.25	1.28																	
<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="padding: 2px 10px;">項目評価</td> <td style="padding: 2px 10px;">a . b . c</td> </tr> </table> <p>○ 関連する開発プロジェクト等の状況 特になし。</p>	項目評価	a . b . c																						
項目評価	a . b . c																							
総 合 評 価	<p><b>(1) 総合評価</b></p> <table border="1" style="margin: auto; width: 80%;"> <tr> <td style="padding: 5px; text-align: center;">総 合 評 価</td> <td style="padding: 5px; text-align: center;">AA . A . B . C</td> </tr> </table> <p>○総合評価に係るコメント</p> <p>・本施設は、凍害や地震等により施設機能が低下しており、大型化・頻発化する集中豪雨により決壊した場合には、流域の農地・農業用施設のみならず人家等に被害を及ぼす 危険性があることから、早急な対策の実施が求められている。</p> <p>・「自然環境等の状況」については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」評価、また「事業計画の妥当性」については、評価指標の評点の合計が60点以上80点未満となっていることから「b」評価としており、総合評価を「A」とした。</p> <p>・本事業の目的を達成するためには、現時点で社会経済情勢等の状況や代替案を検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、本事業の継続が妥当であると判断したものである。</p>	総 合 評 価	AA . A . B . C																					
	総 合 評 価	AA . A . B . C																						
<p><b>(2) その他特記事項</b></p> <p>特になし。</p>																								

事業名	林道整備事業		補助・単独	担当部課名	農林水産部森林保全課	
路線名等	ナイヨウ <sup>サフン</sup> 沢線	地区名	—	市町村	岩泉町	
事業概要	〔事業根拠法令等：森林法第 4 条〕					
	(1) 事業目的					
	<p>○解決すべき課題 本路線の利用区域の森林は、人工林が65.6%で、その半数以上が主伐期を迎えているものの、林内路網の整備が遅れ、間伐などの森林整備の支障となっている。</p> <p>○整備によって得られる効果 森林整備や木材生産の低コスト化・効率化を図ることで、木材生産量の増加、水源涵養、県土の保全等の森林の有する多面的機能の持続的な発揮が期待される。</p>					
	(2) 事業内容 全体計画 L=1,520m 幅員 W=4.0m					
事業概要	(3) 事業計画期間及び総事業費					
	事業計画期間		総事業費	令和 6 年度までの進捗見込み		
	着手年度	完了予定年度	① [千円]	② 事業費 [千円]	進捗率 ③ = ②/①	
令和 2 年度	令和 8 年度	290,000.0	14,358.0	5.0%		
事業の進捗状況	(1) 整備効果の発現状況 全体計画延長1.5kmの全体計画調査が終了しているが、現在は一時休工としている。					
	(2) 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し					
社会経済情勢等の状況	①理由 当該事業は、令和 2 年度に事業に着手したが、令和 3 年度に施工箇所の土地所有者間における用地問題が発生し、現在まで用地問題が未解決の状況。					
	②解決の見通し 今後も申請主体である岩泉町が、事業再開に向け、所有者から同意を得られるよう交渉を続けていく。					
社会経済情勢等の状況	(1) 事業に関する社会経済情勢					
	<p>ア 本県内における状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県では、計画的な林道整備を推進するため、実効性の高い中期的なアクションプランとして、令和 4 年度に「林道整備事業中期実施計画（第 5 期）」を策定し、年間10kmの林道整備を目標に、路網密度の向上に向けて、事業実施路線の早期完成に取り組んでいる。</li> <li>・国が示している「林道整備における路網密度の水準」では、本県が目安としている中傾斜地（林地斜面の傾斜角15～30度）での林道等の林内道路密度が25～40m/haとされているが、本県の林内道路密度は、令和 4 年度末時点で16.8m/haであるため、目指すべき水準への到達に向け、路網整備の一層の推進が必要となっている。</li> <li>・また、県内では、大型の製材・集成材・合板工場の稼働により、安定した素材の供給が求められているほか、木質バイオマス発電施設の整備が進み、燃料用素材の需要も増大していることから、木材の安定供給体制の整備に向け、木材生産の基盤である林道等の路網整備が急務となっている。</li> </ul> <p>イ 施工地域における状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接する宮古市には大型の製材工場があることから、森林資源を有効に利用できる条件が整っている。</li> </ul>					

社 会 経 済 情 勢 等 の 状 況	<p>(2) 自然環境等の状況</p> <p>ア 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手県自然環境保全指針による保全区分 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">B</span></li> <li>・希少野生動植物生息の有無 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">あり</span></li> <li>・埋蔵文化財包蔵地の有無 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">なし</span></li> </ul> <p>イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「希少野生動植物検討委員会」に付議し、有識者等の助言をうけながら審議・検討並びに現地調査を行い、環境に配慮した事業を実施することとする。</li> </ul> <p>《環境等への配慮に要する経費》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土工の範囲を必要最小限とし、新たな土地の改変を抑えることや、再生砕石等の再生資源を活用することで、環境不可軽減に取り組む。</li> </ul> <p>○自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る評価については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</p> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">項目評価 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">a</span> . b . c</div> <p>(3) 事業に関する指標からみた評価</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 12.5%;">必要性</th> <th style="width: 12.5%;">重要性</th> <th style="width: 12.5%;">緊急性</th> <th style="width: 12.5%;">効率性</th> <th style="width: 12.5%;">熟度</th> <th style="width: 12.5%;">計</th> <th style="width: 12.5%; text-align: center;">&lt;参 考&gt;</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">配点</td> <td style="text-align: center;">30</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">30</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">費用便益比 (B/C)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">評点</td> <td style="text-align: center;">23</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">64</td> <td style="text-align: center;">1.31</td> </tr> </tbody> </table> <p>○事業に関する指標からみた評価については、各評価指標の合計が60点以上80点未満のため「b」とした。</p> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">項目評価 a . <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">b</span> . c</div> <p>○ 関連する開発プロジェクト等の状況 特になし</p>		必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	<参 考>	配点	30	20	10	30	10	100	費用便益比 (B/C)	評点	23	10	8	20	3	64	1.31
	必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	<参 考>																		
配点	30	20	10	30	10	100	費用便益比 (B/C)																		
評点	23	10	8	20	3	64	1.31																		
総 合 評 価	<p>(1) 総合評価</p> <div style="border: 3px double black; padding: 10px; margin: 10px 0; display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">総 合 評 価</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">AA . <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">A</span> . B . C</span> </div> <p>○総合評価に係るコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本地区は、林内路網の整備の遅れのため、森林整備に支障をきたしているが、本事業により基幹的な林内路網である林道を整備することで林内路網密度が向上し、森林施業の低コスト化の効果が期待される。</li> <li>・「自然環境等の状況に係る評価結果」については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿った対応をしていることから「a」評価、また、「事業計画の妥当性」については、評価指標の評点の合計が60点以上80点未満であることから「b」評価としており、総合評価を「A」とした。</li> <li>・本事業の目的を達成するためには、現時点で社会経済情勢等の状況や代替案を検討した結果、本計画が最適であると考えられることから、事業の実施が妥当であると判断した。</li> </ul> <p>(2) その他特記事項</p>																								

事業名	地域連携道路整備事業 (地域密着型)	補助 単独	担当部課名	県土整備部 道路建設課															
路線名等	主要地方道 <small>かまいしとおの</small> 釜石遠野線	地区名	<small>なかむら あおき</small> 中村～青ノ木	市町村 釜石市															
事業概要	〔事業根拠法令等：道路法第15条、第56条〕																		
	(1) 事業目的																		
	○路線の位置付け ・ 主要地方道釜石遠野線は、釜石市と遠野市を結ぶ主要地方道であり、沿線には世界遺産橋野鉄鉱山が位置することから観光路線として重要な位置づけとなっている。 ・ 当該区間は、幅員狭小であり車両のすれ違いが困難であるなど、交通のあい路区間となっている。 ○整備によって得られる効果 ・ 交通あい路区間の解消により、安全で円滑な交通の確保を図る。																		
	(2) 事業内容																		
(3) 整備目標等																			
・ あい路区間の解消：1,100m ・ 安全性、快適性の向上：1,100m																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">事業計画期間</th> <th>総事業費</th> <th colspan="2">令和 6 年度 までの進捗見込み</th> </tr> <tr> <th>着手年度</th> <th>完了予定年度</th> <th>① [千円]</th> <th>② 事業費 [千円]</th> <th>進捗率 ③=②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和 2 年度</td> <td>令和 7 年度</td> <td>990,000</td> <td>801,711</td> <td>81 %</td> </tr> </tbody> </table>					事業計画期間		総事業費	令和 6 年度 までの進捗見込み		着手年度	完了予定年度	① [千円]	② 事業費 [千円]	進捗率 ③=②/①	令和 2 年度	令和 7 年度	990,000	801,711	81 %
事業計画期間		総事業費	令和 6 年度 までの進捗見込み																
着手年度	完了予定年度	① [千円]	② 事業費 [千円]	進捗率 ③=②/①															
令和 2 年度	令和 7 年度	990,000	801,711	81 %															
事業の進捗状況	(1) 整備効果の発現状況																		
	・ 令和 6 年度内に青ノ木地区580mの供用を予定している。 (2) 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し ・ 用地の取得が全て完了しており、事業の進捗率が約80%であることから事業完了の見通しが立っている。																		
社会経済情勢等の変化	(1) 事業に関する社会経済情勢																		
	ア 本県内または施工地域における状況 ・ 「いわて県民計画（2019～2028）」において、社会基盤分野として『防災対策や産業振興など幸福の追求を支える社会基盤が整っている岩手』を政策推進の基本的な考え方としている。 ・ この中で道路分野では、災害に強い道路ネットワークを構築するため幹線道路の整備や緊急輸送道路等の防災機能の強化及び、日常生活を支える安全・安心な道づくりのため救急搬送ルート等の整備や地域の実情に応じた道路整備等を進めることとしている。 ・ 併せて、物流の効率化など生産性向上を図るため内陸部と港湾を結ぶ道路や工業団地、インターチェンジへのアクセス道路の整備及び、観光の振興を図るため都市間の主要な観光地を結ぶ道路の整備を進めることとしている。 ・ 釜石市より当該地区の整備促進について要望がある。																		
	イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費 ・ 事業実施に当たっては、振興局で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら、必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なるよう配慮しながら進めることとする。 ・ 施工にあたっては、排ガス対策及び低騒音型建設機械の使用、再生アスファルト合材及び再生砕石の使用を基本とする。 ○ 自然環境の状況及び環境配慮事項に係る評価においては、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全方針に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。																		
中項目評価 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">a</span> , b , c																			

(2) 事業に関する指標からみた評価

	必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	〈参考〉 費用便益費 (B/C)
配点	30	30	15	20	5	100	
評点	17	17	10	7	15	66	0.8

○各評価指標の配点の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。

中項目評価 a , **b** , c

○関連する開発プロジェクト等の状況

- ・特になし

(1) 総合評価

総合評価	AA · <b>A</b> · B · C
------	-----------------------

○総合評価に係るコメント

- ・「自然環境等の状況及び環境配慮事項」及び「事業に関する指標から見た評価」の評価項目が、「a」、「b」であることから、総合評価を「A」とした。
- ・「事業の進捗状況等」については、用地の取得が完了しており、令和6年度内に一部区間の供用開始予定であること、事業の進捗率が約80%であることから、令和7年度内での事業完了の目処が立っている。
- ・「社会経済情勢の変化」について、大きな変化は見られない。
- ・以上のことから「事業継続」としたものである。

(2) その他特記事項

- ・特になし

総  
合  
評  
価



事業名	地域連携道路整備事業 (地域密着型)	補助 単独	担当部課名	道路建設課														
路線名等	一般県道 <small>きんたいちおんせん</small> 金田一温泉線	地区名	<small>きんたいち</small> 金田一	市町村 二戸市														
事業概要	〔事業根拠法令等：道路法第15条、第56条〕																	
	<p>(1) 事業目的</p> <p>○路線の位置付け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般県道金田一温泉線は、地域住民の生活道路及び金田一温泉へのアクセス道路としての役割を担っている。</li> <li>当該区間は、幅員狭小であり車両のすれ違いが困難であることや、急カーブが連続し見通しも悪いため、安全で円滑な交通の支障となっている。</li> </ul> <p>○整備によって得られる効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通あい路区間の解消による安全で円滑な交通の確保及び施設周辺を二戸市と一体的に整備することにより、金田一温泉周辺地区の利便性向上を図る。</li> </ul>																	
	<p>(2) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計画延長：L=500m、計画幅員：W=4.0(5.0)m (1.5車線の道路整備)</li> </ul>																	
	<p>(3) 整備目標等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>隘路区間の解消：500m</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2">事業計画期間</th> <th>総事業費</th> <th colspan="2">令和6年度 までの進捗見込み</th> </tr> <tr> <th>着手年度</th> <th>完了予定年度</th> <th>① [千円]</th> <th>② 事業費 [千円]</th> <th>進捗率 ③=②/①</th> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>令和10年度</td> <td>245,000</td> <td>52,679</td> <td>21.5 %</td> </tr> </table>				事業計画期間		総事業費	令和6年度 までの進捗見込み		着手年度	完了予定年度	① [千円]	② 事業費 [千円]	進捗率 ③=②/①	令和4年度	令和10年度	245,000	52,679
事業計画期間		総事業費	令和6年度 までの進捗見込み															
着手年度	完了予定年度	① [千円]	② 事業費 [千円]	進捗率 ③=②/①														
令和4年度	令和10年度	245,000	52,679	21.5 %														
事業の進捗状況	<p>(1) 整備効果の発現状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>未供用であるため、整備効果の発現はない。</li> </ul> <p>(2) 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業化後に、当初想定していなかった既設温泉管の移設が必要となり、事業期間延伸及び事業費増額となったもの。 なお、温泉管の管理者と移設に向けた打合せ行い、既設温泉管の調査を開始したところであり、今後の移設や工事实施のスケジュールの見通しが立っている。</li> </ul>																	
社会経済情勢等の変化	<p>(1) 事業に関する社会経済情勢</p> <p>ア 本県内または施工地域における状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「いわて県民計画（2019～2028）」において、社会基盤分野として『防災対策や産業振興など幸福の追求を支える社会基盤が整っている岩手』を政策推進の基本的な考え方としている。</li> <li>この中で道路分野では、災害に強い道路ネットワークを構築するため幹線道路の整備や緊急輸送道路等の防災機能の強化及び、日常生活を支える安全・安心な道づくりのため救急搬送ルートの整備や地域の実情に応じた道路整備等を進めることとしている。</li> <li>併せて、物流の効率化など生産性向上を図るため内陸部と港湾を結ぶ道路や工業団地、インター八幡平市より当該地区の整備促進について要望がある。</li> </ul> <p>イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施に当たっては、振興局で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者等の助言を受けながら、必要に応じて現地調査を行うなど、環境への影響が極力少なるよう配慮しながら進めることとする。</li> <li>施工にあたっては、排ガス対策及び低騒音型建設機械の使用、再生アスファルト合材及び再生砕石の使用を基本とする。</li> </ul> <p>○ 自然環境の状況及び環境配慮事項に係る評価においては、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全方針に沿って積極的な対応をしていることから「a」とした。</p>																	
		<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding: 2px;">中項目評価</td> <td style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">a</td> <td style="padding: 2px;">,</td> <td style="padding: 2px;">b</td> <td style="padding: 2px;">,</td> <td style="padding: 2px;">c</td> </tr> </table>			中項目評価	a	,	b	,	c								
中項目評価	a	,	b	,	c													

(2) 事業に関する指標からみた評価

	必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	〈参考〉 費用便益費 (B/C)
配点	30	30	15	20	5	100	
評点	13	17	12	7	12	61	0.7

○ 各評価指標の配点の合計が、60点以上80点未満であることから「b」とした。

中項目評価	a	b	c
-------	---	---	---

○ 関連する開発プロジェクト等の状況

- ・ 特になし

(1) 総合評価

総合評価	AA	A	B	C
------	----	---	---	---

○ 総合評価に係るコメント

- ・ 「自然環境等の状況及び環境配慮事項」及び「事業に関する指標から見た評価」の評価項目が、「a」、「b」であることから、総合評価を「A」とした。
- ・ 「事業の進捗状況等」については、温泉管の管理者と移設に向けた打合せ行い、既設温泉管の調査を開始したところであり、今後の移設や工事実施のスケジュールの見通しが立っている。
- ・ 「社会経済情勢の変化」について、大きな変化は見られない。
- ・ 以上のことから「事業継続」としたものである。

総  
合  
評  
価

(2) その他特記事項

- ・ 特になし

事業名	広域河川改修事業		補助	担当部課名	県土整備部河川課															
路線名等	二級河川 瀬月内川	地区名	伊保内	市町村	九戸村															
事業概要	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題 瀬月内川は、九戸村の中心市街地を貫流する河川であり、断面が狭小で流下能力が不足していることから、平成5年7月の豪雨においては、家屋20戸の浸水被害が発生するなど甚大な被害が発生している。</p> <p>○整備によって得られる効果 本事業により、100年に1度の確率による降雨で発生すると考えられる洪水被害からの解消が図られる。</p> <p>(2) 事業内容 全体計画延長 L=1,790m、築堤工 L=630m、掘削工 V=200,000m<sup>3</sup>、護岸工 A=13,900m<sup>2</sup></p> <p>(3) 事業計画期間及び総事業費</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">事業計画期間</th> <th>総事業費</th> <th colspan="2">R6年度までの進捗見込み</th> </tr> <tr> <th>着手年度</th> <th>完了予定年度</th> <th>① [千円]</th> <th>② 事業費 [千円]</th> <th>③ 進捗率 ③ = ② / ①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H9</td> <td>R15</td> <td>1,200,000</td> <td>392,000</td> <td>32.7%</td> </tr> </tbody> </table>					事業計画期間		総事業費	R6年度までの進捗見込み		着手年度	完了予定年度	① [千円]	② 事業費 [千円]	③ 進捗率 ③ = ② / ①	H9	R15	1,200,000	392,000	32.7%
	事業計画期間		総事業費	R6年度までの進捗見込み																
	着手年度	完了予定年度	① [千円]	② 事業費 [千円]	③ 進捗率 ③ = ② / ①															
	H9	R15	1,200,000	392,000	32.7%															
事業の進捗状況	<p>(1) 整備効果の発現状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>洪水時の流下阻害部となっていた国道340号の蒔田橋の架替え及び南田頭首工の撤去を行ったことにより、平成5年7月豪雨と同規模の浸水被害の軽減が図られている。</li> </ul> <p>(2) 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>理由：近年の社会経済情勢の影響から予算を十分確保できない状況の中、県内他地域で発生した洪水被害対応に優先して予算を投入する必要が生じたことによるものである。</li> <li>解決の見通し（難易度）：予算確保に努めるとともに、更なるコスト縮減に取り組んでいく。</li> <li>解決までの対応及び時間：洪水浸水想定区域図の公表、河川監視カメラ画像やリアルタイム水位情報の提供、ホットラインによる村長への水位情報の伝達などのソフト施策に取り組んでいるところ。</li> </ol>																			
	社会経済情勢等の状況	<p>(1) 事業に関する社会経済情勢</p> <p>ア 本県内又は施工地域における状況</p> <p>近年、本県では、令和4年8月の馬淵川（一戸町）や、令和元年10月の小屋畑川・沢川（久慈市）、平成28年8月の小本川（岩泉町）、平成25年7月の砂鉄川（一関市）、8月の岩崎川（矢巾町）及び雫石川（雫石町）など、各地で大規模な浸水被害が発生しており、治水事業に対する関心度は依然として高く、効率的・効果的な事業の進捗に努める必要がある。</p> <p>県では、近年浸水被害が発生した河川や背後地に資産の集中している河川について重点的に整備を進めることとしており、過去の被災流量相当の洪水被害から地域を守ることを当面の目標として、段階的な整備により治水安全度の向上を図ることとしている。</p> <p>当事業区間は、平成5年に洪水被害を受けており、地域住民の治水事業に対する関心も非常に高く、県に対し村から早期改修の要望が行われている。</p> <p>(参考) 予算の動向</p> <p>県内の河川改修事業に対する国庫補助金はここ数年は横ばいの傾向であり、近年大規模な被害が発生した箇所など、緊急性が高い事業に予算を重点的に配分した場合、その他の箇所に十分な予算を配分できない状況となっている。</p> <p>(2) 自然環境等の状況</p> <p>ア 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <table border="1"> <tr> <td>・岩手県自然環境保全指針による保全区分</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>・希少野生動植物生息の有無</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>・埋蔵文化財包蔵地の有無</td> <td>なし</td> </tr> </table>					・岩手県自然環境保全指針による保全区分	E	・希少野生動植物生息の有無	なし	・埋蔵文化財包蔵地の有無	なし								
・岩手県自然環境保全指針による保全区分		E																		
・希少野生動植物生息の有無	なし																			
・埋蔵文化財包蔵地の有無	なし																			

社 会 経 済 情 勢 等 の 状 況	<p><b>イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会への付議状況 <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">付議している</span></li> <li>①主な助言内容             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし</li> </ul> </li> <li>②対応状況             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業実施にあたっては、希少野生動植物等保護検討会に諮り、有識者等の意見を取り入れて、必要に応じて現地確認や希少野生動植物等の対策を講じることとしている。</li> </ul> </li> </ul> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">項目評価</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">a</span> . b . c         </div>																							
	<p><b>(3) 事業に関する指標からみた評価</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 10%;">必要性</th> <th style="width: 10%;">重要性</th> <th style="width: 10%;">緊急性</th> <th style="width: 10%;">効率性</th> <th style="width: 10%;">熟度</th> <th style="width: 10%;">計</th> <th style="width: 10%;"><small>&lt;参考&gt;</small></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>30</td> <td>5</td> <td>15</td> <td>40</td> <td>10</td> <td>100</td> <td rowspan="2" style="text-align: left; vertical-align: middle;">費用便益比 (B/C)</td> </tr> <tr> <td>評点</td> <td>29</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>40</td> <td>10</td> <td>86</td> <td style="text-align: center;">14.3</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">項目評価</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">a</span> . b . c         </div> <p>○ 関連する開発プロジェクト等の状況 なし</p>		必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	<small>&lt;参考&gt;</small>	配点	30	5	15	40	10	100	費用便益比 (B/C)	評点	29	5	2	40	10	86
	必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	<small>&lt;参考&gt;</small>																	
配点	30	5	15	40	10	100	費用便益比 (B/C)																	
評点	29	5	2	40	10	86		14.3																
総 合 評 価	<p><b>(1) 総合評価</b></p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">総 合 評 価</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">AA</span> . A . B . C         </div> <p>○総合評価に係るコメント</p> <p>本事業により、洪水時の流下阻害となっていた蒔田橋及び南田頭首工の架替え及び撤去を実施した結果、事業区間において浸水被害が減少していることから、治水安全度が一定程度向上したものと考えられる。</p> <p>一方、県内では洪水による浸水被害が多発している状況であり、被害が発生した箇所の治水安全度の早期向上を図るため予算を重点的に配分する必要がある、当該区間の残事業を一時休工としているものである。</p> <p>しかし、本事業区間近傍には、九戸村役場や県立二戸病院九戸地域診療センター、伊保内小学校などの多くの公共施設があり、地元からも事業推進の要望を受けていることから、事業計画に掲げる治水安全度を目指し、引き続き河川改修を実施する必要がある。</p> <p><b>(2) その他特記事項</b> なし</p>																							

事業名	広域河川改修事業		補助	担当部課名	県土整備部河川課															
路線名等	一級河川 千厩川	地区名	千厩川（上流）	市町村	一関市															
事業概要	<p>(1) 事業目的</p> <p>○解決すべき課題 千厩川（上流）地区は、断面が狭小で流下能力が不足しており、豪雨の都度、家屋等への浸水被害が発生している。近年においては平成14年7月の台風6号により家屋3戸の浸水被害が発生するなど、地元から早期改修を要望されている。</p> <p>○整備によって得られる効果 河川改修工事を行うことにより、10年に1度の確率の降雨で発生すると考えられる洪水による被害の軽減を図ることが出来る。</p> <p>(2) 事業内容 全体計画延長 L=6,800m、築堤工 L=12,000m、掘削工 V=208,200m<sup>3</sup>、護岸工 A=12,511m<sup>2</sup></p> <p>(3) 事業計画期間及び総事業費</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">事業計画期間</th> <th>総事業費</th> <th colspan="2">R6年度までの進捗見込み</th> </tr> <tr> <th>着手年度</th> <th>完了予定年度</th> <th>① [千円]</th> <th>② 事業費 [千円]</th> <th>進捗率 ③ = ②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H8</td> <td>R8</td> <td>3,383,000</td> <td>2,368,800</td> <td>70.0%</td> </tr> </tbody> </table>					事業計画期間		総事業費	R6年度までの進捗見込み		着手年度	完了予定年度	① [千円]	② 事業費 [千円]	進捗率 ③ = ②/①	H8	R8	3,383,000	2,368,800	70.0%
	事業計画期間		総事業費	R6年度までの進捗見込み																
	着手年度	完了予定年度	① [千円]	② 事業費 [千円]	進捗率 ③ = ②/①															
	H8	R8	3,383,000	2,368,800	70.0%															
事業の進捗状況	<p>(1) 整備効果の発現状況 ほ場整備事業と河川改修工事を一体的に実施した結果、4,500mの区間は暫定改修済みであり、平成14年と同規模の洪水（1/10）の対応が図られている。</p> <p>(2) 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し ①理由：近年の社会経済情勢から河川改修事業等の予算が縮減傾向であることから、河川改修の手法上、事業区間下流の河川改修（千厩川中流工区）を先行して進めていることによる。 ②解決の見通し（難易度）：今後の河川改修事業の予算状況及び下流の河川改修の進捗により工事を再開することは可能であり、解決の見通しは立っている。 ③解決までの対応及び時間：洪水浸水想定区域図の公表、河川監視カメラ画像やリアルタイム水位情報の提供、ホットラインによる市長への水位情報の伝達などのソフト施策に取り組んでいるところ。</p>																			
	社会経済情勢等の状況	<p>(1) 事業に関する社会経済情勢 ア 本県内又は施工地域における状況 近年、本県では、令和4年8月の馬淵川（一戸町）や、令和元年10月の小屋畑川・沢川（久慈市）、平成28年8月の小本川（岩泉町）、平成25年7月の砂鉄川（一関市）、8月の岩崎川（矢巾町）及び雫石川（雫石町）など、各地で大規模な浸水被害が発生しており、治水事業に対する関心度は依然として高く、効率的・効果的な事業の進捗に努める必要がある。 県では、近年洪水被害が発生した河川や背後地に資産の集中している河川について重点的に整備を進めることとしており、過去の被災流量相当の洪水被害から地域を守ることを当面の目標として、段階的な整備により治水安全度の向上を図ることとしている。 本事業区間は、平成14年7月に被災してから20年以上経過しているが、近年、全国的に豪雨災害が多発している状況から、現在でも地域住民及び一関市から事業推進の要望がある。 (参考) 予算の動向 県内の河川改修事業に対する国庫補助金はここ数年は横ばいの傾向であり、近年大規模な被害が発生した箇所など、緊急性が高い事業に予算を重点的に配分した場合、その他の箇所に十分な予算を配分できない状況となっている。</p> <p>(2) 自然環境等の状況 ア 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分</p> <table border="1"> <tr> <td>・岩手県自然環境保全指針による保全区分</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>・希少野生動植物生息の有無</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>・埋蔵文化財包蔵地の有無</td> <td>なし</td> </tr> </table>					・岩手県自然環境保全指針による保全区分	D	・希少野生動植物生息の有無	なし	・埋蔵文化財包蔵地の有無	なし								
・岩手県自然環境保全指針による保全区分		D																		
・希少野生動植物生息の有無	なし																			
・埋蔵文化財包蔵地の有無	なし																			

社 会 経 済 情 勢 等 の 状 況	<b>イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費</b> ・ 振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会への付議状況 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">付議している</span> ①主な助言内容 ・ 特になし ②対応状況 ・ 事業実施にあたっては、希少野生動植物等保護検討会に諮り、有識者等の意見を取り入れて、必要に応じて現地確認や希少野生動植物等の対策を講じることとしている。																								
	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px;">項目評価 (a) . b . c</div>																								
総 合 評 価	<b>(3) 事業に関する指標からみた評価</b> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 10%;">必要性</th> <th style="width: 10%;">重要性</th> <th style="width: 10%;">緊急性</th> <th style="width: 10%;">効率性</th> <th style="width: 10%;">熟度</th> <th style="width: 10%;">計</th> <th style="width: 10%;"><small>&lt;参考&gt; 費用便益比 (B/C)</small></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>30</td> <td>5</td> <td>15</td> <td>40</td> <td>10</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>評点</td> <td>16</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>20</td> <td>10</td> <td>58</td> <td>1.4</td> </tr> </tbody> </table>		必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	<small>&lt;参考&gt; 費用便益比 (B/C)</small>	配点	30	5	15	40	10	100		評点	16	5	7	20	10	58	1.4
		必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	<small>&lt;参考&gt; 費用便益比 (B/C)</small>																	
配点	30	5	15	40	10	100																			
評点	16	5	7	20	10	58	1.4																		
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px;">項目評価 a . b . (c)</div>																									
	<b>○ 関連する開発プロジェクト等の状況</b> 経営体育成基盤整備事業 奥玉地区（平成7年度～平成18年度）																								
	<b>(1) 総合評価</b> <div style="border: 3px double black; display: inline-block; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <span style="margin-right: 20px;">総合評価</span> <span style="font-size: 1.2em;">AA . A . B . (C)</span> </div>																								
	<b>○総合評価に係るコメント</b> 本事業では、早期治水効果の発現を図るため、計画規模に満たない暫定断面による河川改修を先行して実施している。 この結果、事業区間において浸水被害が減少していることから、治水安全度が一定程度向上したものと考えられる。 一方、県内では洪水による浸水被害が多発している状況であり、被害が発生した箇所の治水安全度の早期向上を図るため予算を重点的に配分する必要がある、当該区間の残事業を一時休工としているものである。 しかし、地元から事業推進の要望・協力があること、及び、近年多発する豪雨災害への対応を図る必要があることから、事業計画に掲げる治水安全度の向上を目指し、引き続き河川改修を実施する必要がある。																								
	<b>(2) その他特記事項</b> なし																								